

第3章 子供の学び

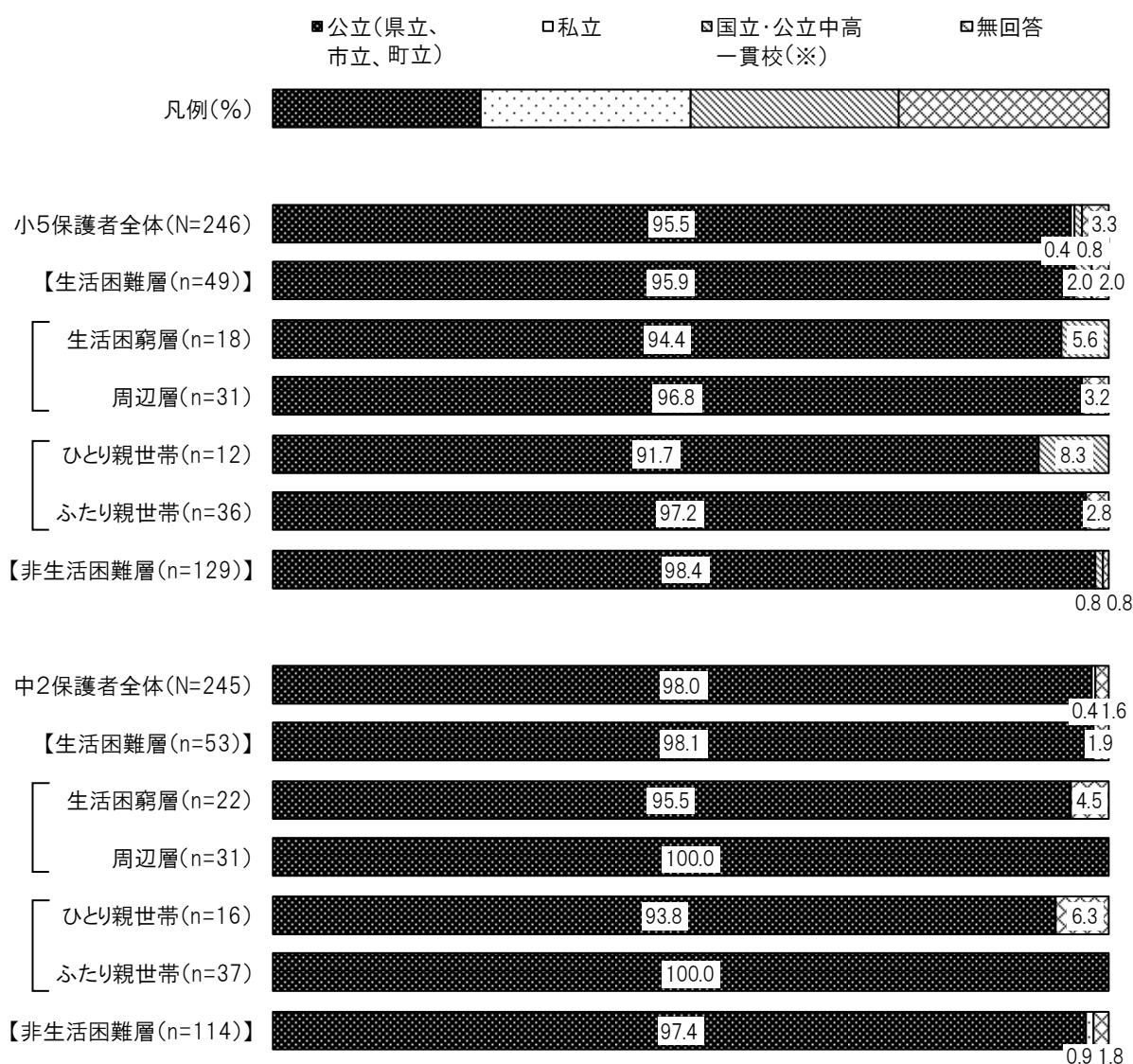
【1】学校について

（1）学校の種類

保／問1 お子さんが通学している学校の種類は、次のどれになりますか。
(あてはまる番号1つに○)

学校の種類については、小学5年保護者全体では、「公立（県立、市立、町立）」の割合が95.5%、「私立」が0.4%、「国立」が0.8%となっている。中学2年保護者全体では、「公立（県立、市立、町立）」の割合が98.0%、「私立」が0.4%となっている。

生活困難度別では、小学5年保護者の生活困窮層で「公立（県立、市立、町立）」が94.4%、「国立」が5.6%、中学2年保護者で「公立（県立、市立、町立）」が95.5%となっている。



※小学生保護者票では「国立」

【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「公立（県立、市立、町立）」が約 9 割を占めている。

問1 子供が通学している学校の種類	回答割合(%)	回答件数
公立(県立、市立、町立)	89.8	44
私立	0.0	0
国立・公立中高一貫校	4.1	2
無回答	6.1	3
全体	100.0	49

(2) 私立選択の理由

【問1で「2 私立」を選んだ方におうかがいします。】

保／問1-1 私立の中学校に進学したのは、なぜですか。（あてはまる番号1つに○）

私立選択の理由については、小学5年保護者では「近くによい公立小学校がなかった」が1名、中学2年保護者では「その他」が1名みられた。

【2】学校の成績

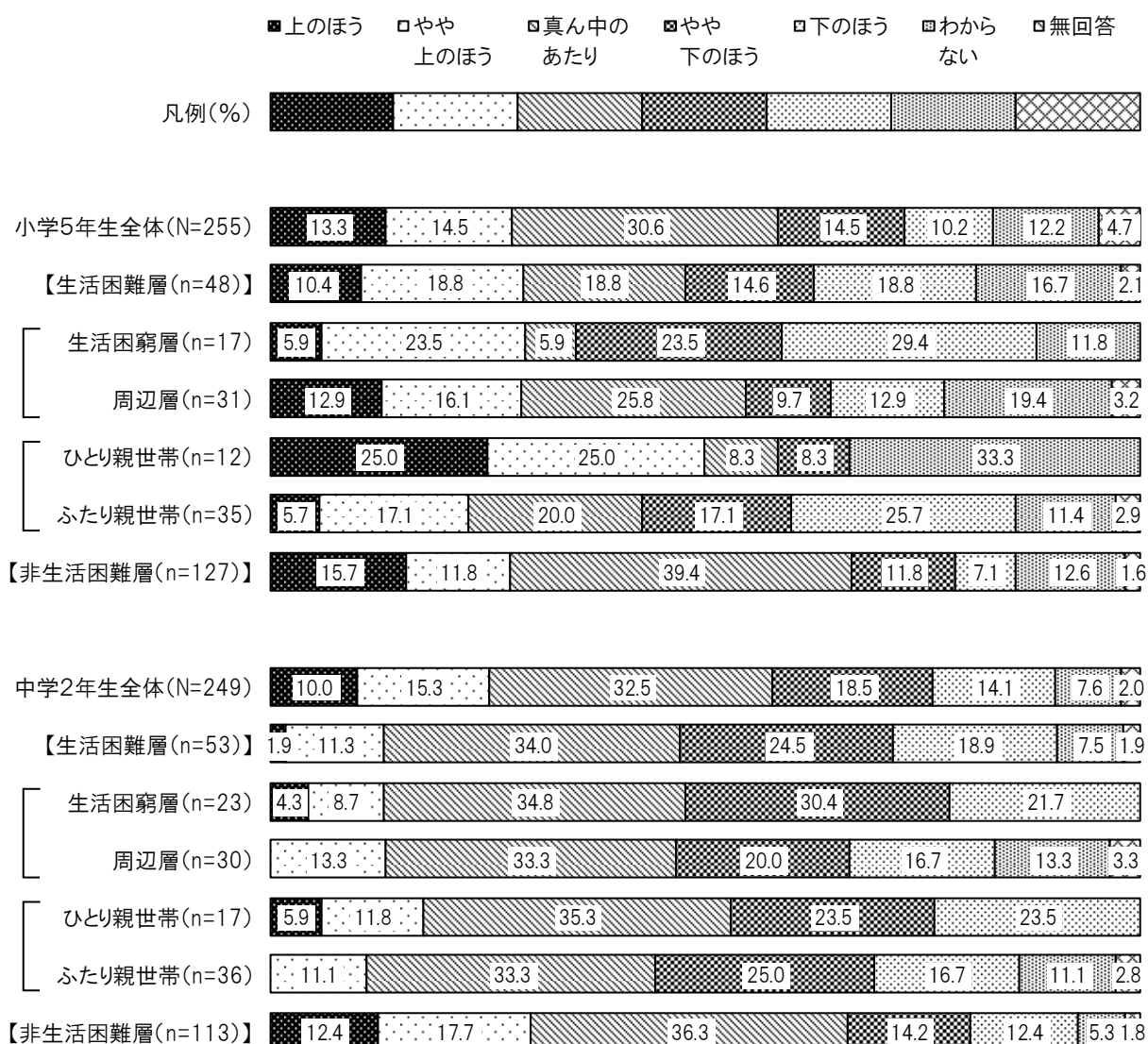
（１）成績の主観的評価

子／問 30 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
（あてはまる番号１つに○）

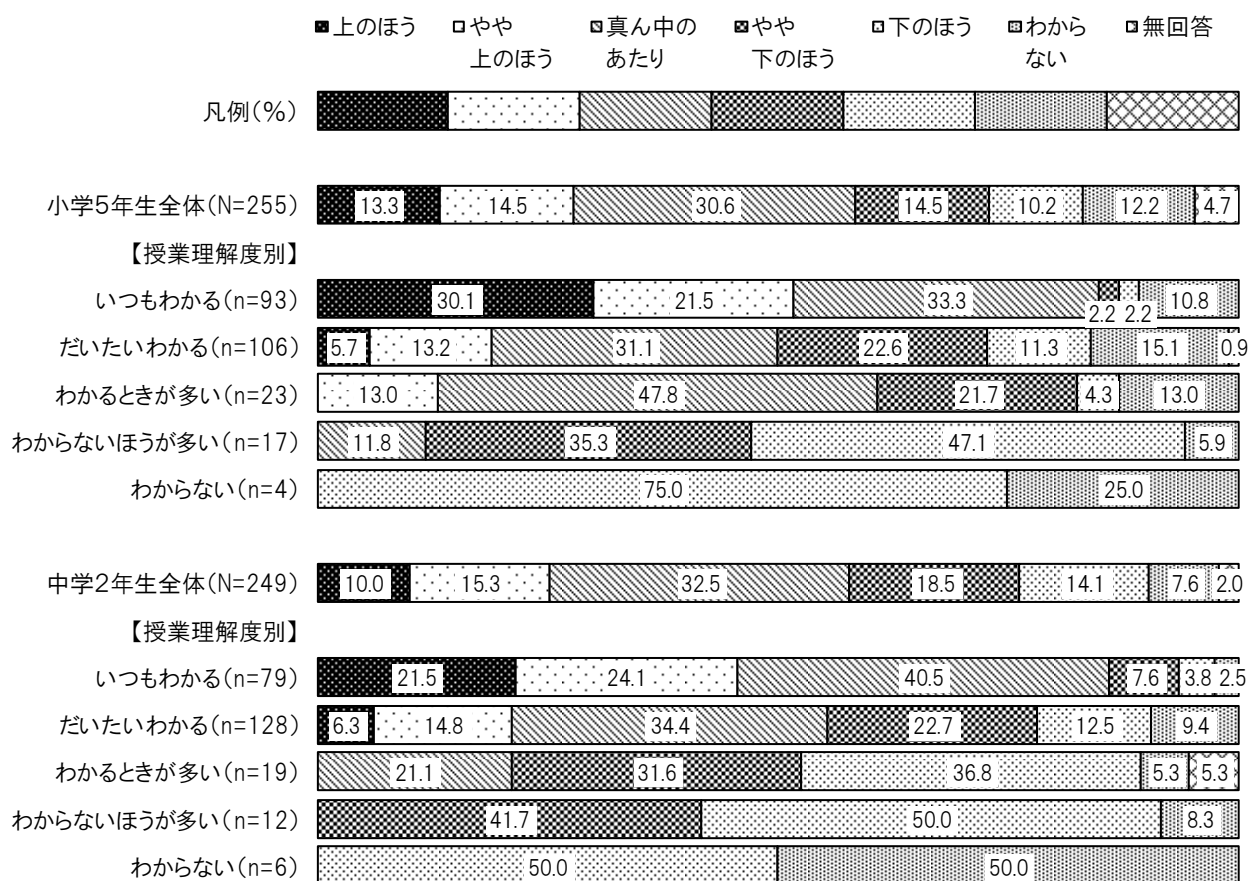
成績の主観的評価については、小学5年生全体では、「上のほう」「やや上のほう」の合計が 27.8%、中学2年生全体では 25.3%となっている。一方、「やや下のほう」「下のほう」の合計は、小学5年生全体では 24.7%、中学2年生全体では 32.6%となっている。

生活困難度別にみた『下のほう（合計）』の割合は、小学5年生の生活困窮層で 52.9%、中学2年生で 52.1%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で『下のほう（合計）』の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



授業理解度別（問 28）でみると、小学5年生、中学2年生ともに理解度が高い層ほど「上のほう」「やや上のほう」の割合が高く、理解度が低い層ほど「やや下のほう」「下のほう」の割合が高い傾向にある。



注：件数(n)が10未満の項目については、参考値として参照

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者6名中「わからない」が3名、「やや上のほう」「真ん中のあたり」「下のほう」が各1名となっている。

問29 クラスの中での成績評価	回答割合(%)	回答件数
上のほう	0.0	0
やや上のほう	16.7	1
真ん中のあたり	16.7	1
やや下のほう	0.0	0
下のほう	16.7	1
わからない	50.0	3
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者10名中「真ん中のあたり」が4名、「下のほう」が2名となっている。

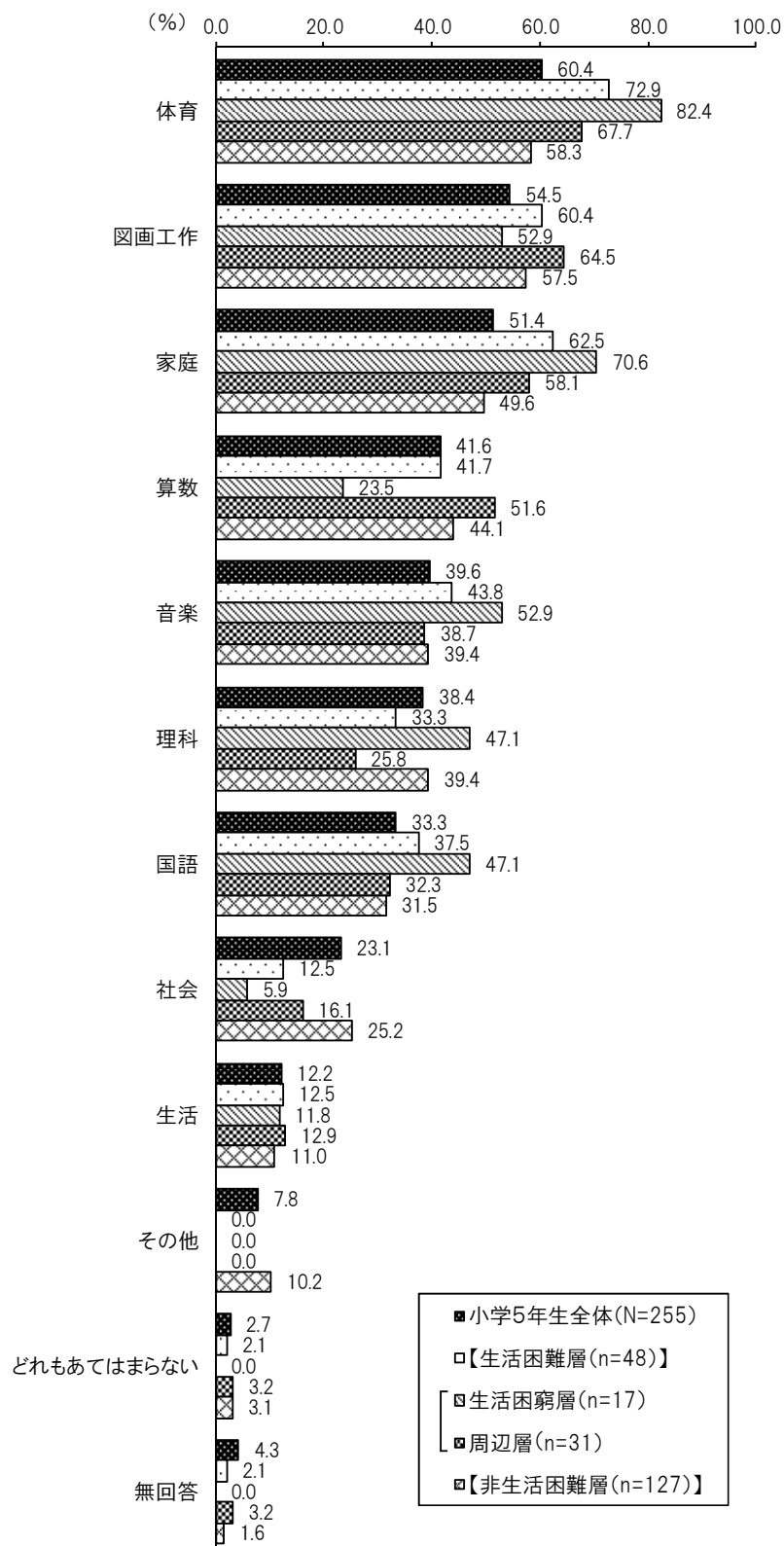
問29 クラスの中での成績評価	回答割合(%)	回答件数
上のほう	0.0	0
やや上のほう	10.0	1
真ん中のあたり	40.0	4
やや下のほう	10.0	1
下のほう	20.0	2
わからない	10.0	1
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

(2) 得意教科

子／問 31 あなたの得意な教科は、どれですか。（あてはまる番号すべてに○）

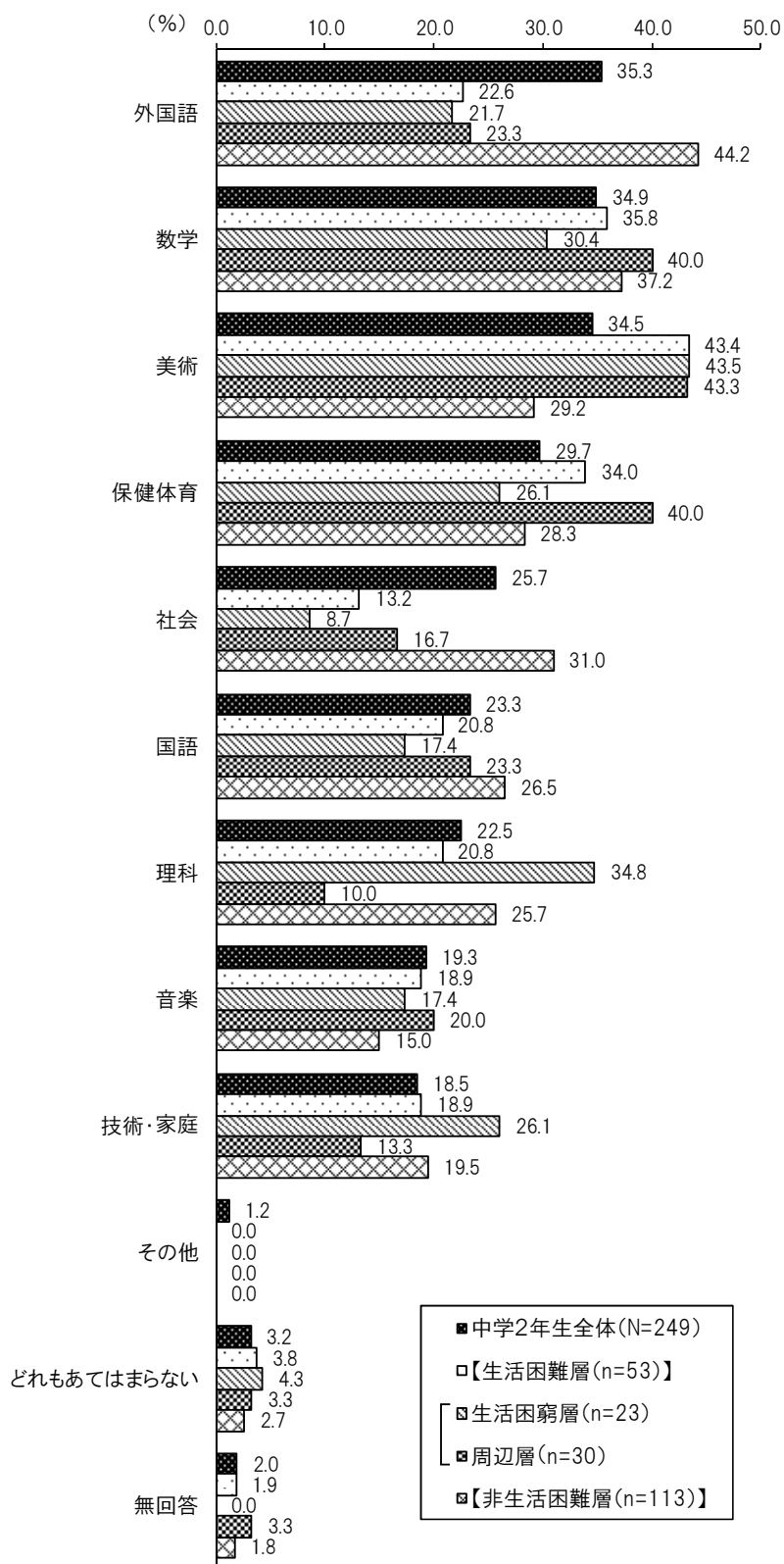
得意教科については、小学5年生全体の割合が高い順に、「体育」（60.4%）、「図画工作」（54.5%）、「家庭」（51.4%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「体育」「家庭」「音楽」などの割合が高く、「算数」「社会」などの割合が低くなっている。



中学2年生全体の割合が高い順に、「外国語」(35.3%)、「数学」(34.9%)、「美術」(34.5%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「理科」「技術・家庭」の割合が高く、「外国語」「数学」「保健体育」「社会」などの割合が低くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「音楽」「図画工作」が各 3 名、「算数」「理科」「家庭」「体育」が各 2 名となっている。

問30 得意教科	回答割合(%)	回答件数
音楽	 50.0	3
図画工作	 50.0	3
算数	 33.3	2
理科	 33.3	2
家庭	 33.3	2
体育	 33.3	2
国語	 16.7	1
社会	 16.7	1
生活	 16.7	1
その他	0.0	0
どれもあてはまらない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「国語」「保健体育」が各 4 名、「社会」「音楽」「美術」「外国語」が各 3 名となっている。

問30 得意教科	回答割合(%)	回答件数
国語	 40.0	4
保健体育	 40.0	4
社会	 30.0	3
音楽	 30.0	3
美術	 30.0	3
外国語	 30.0	3
理科	 20.0	2
技術・家庭	 20.0	2
数学	 10.0	1
その他	0.0	0
どれもあてはまらない	0.0	0
無回答	 10.0	1
全体	100.0	10

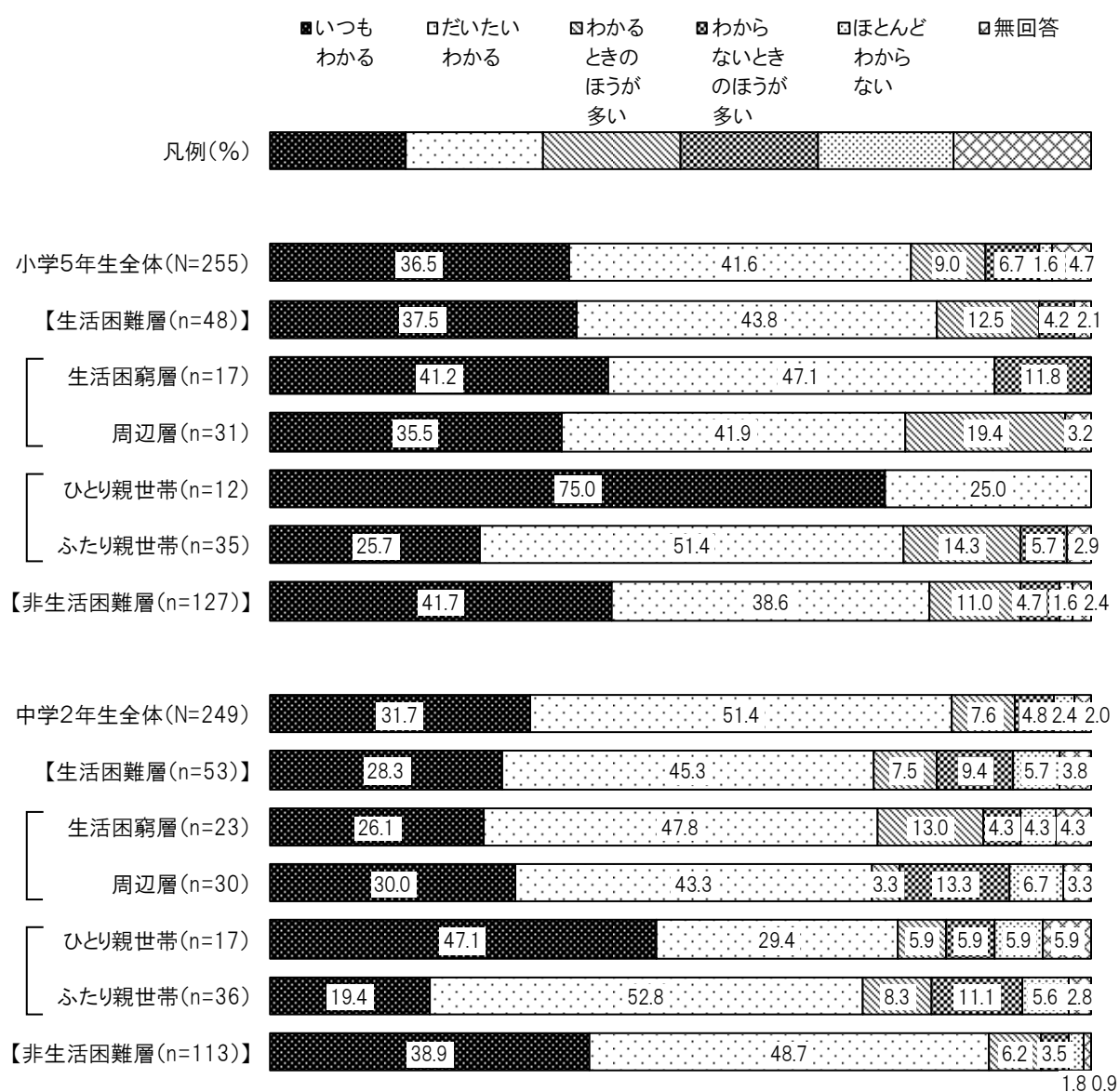
【3】授業の理解や学習の状況

（１）授業の理解度

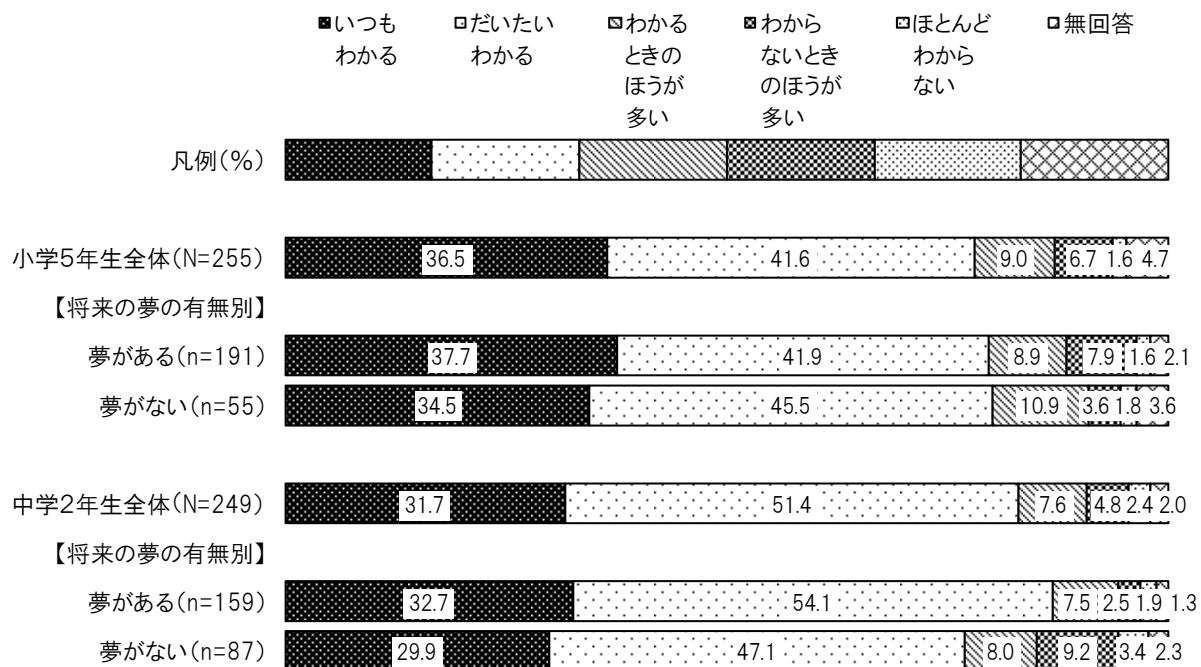
子／問 28 あなたは、学校の授業がわかりますか。（あてはまる番号 1 つに○）

授業の理解度については、小学 5 年生全体では「いつもわかる」は 36.5%、中学 2 年生全体では 31.7%となっている。一方、「わからないときのほうが多い」「ほとんどわからない」の合計は、小学 5 年生全体では 8.3%、中学 2 年生全体では 7.2%となっている。

生活困難度別にみると、小学 5 年生の生活困窮層で「わからないときのほうが多い」が 11.8%となっている。中学 2 年生の生活困窮層で『わからない（合計）』は 8.6%、周辺層で 20.0%となっており、周辺層で高くなっている。



中学2年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がある層では、夢がない層に比べ「だいたいわかる」の割合が高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者6名中「だいたいわかる」が3名、「いつもわかる」が2名、「わからないときのほうが多い」が1名となっている。

問27 学校の授業の理解度	回答割合(%)	回答件数
いつもわかる	33.3	2
だいたいわかる	50.0	3
わかるときのほうが多い	0.0	0
わからないときのほうが多い	16.7	1
ほとんどわからない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者10名中「だいたいわかる」が8名、「わからないときのほうが多い」が1名となっている。

問27 学校の授業の理解度	回答割合(%)	回答件数
いつもわかる	0.0	0
だいたいわかる	80.0	8
わかるときのほうが多い	0.0	0
わからないときのほうが多い	10.0	1
ほとんどわからない	0.0	0
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

(2) 授業がわからなくなった時期

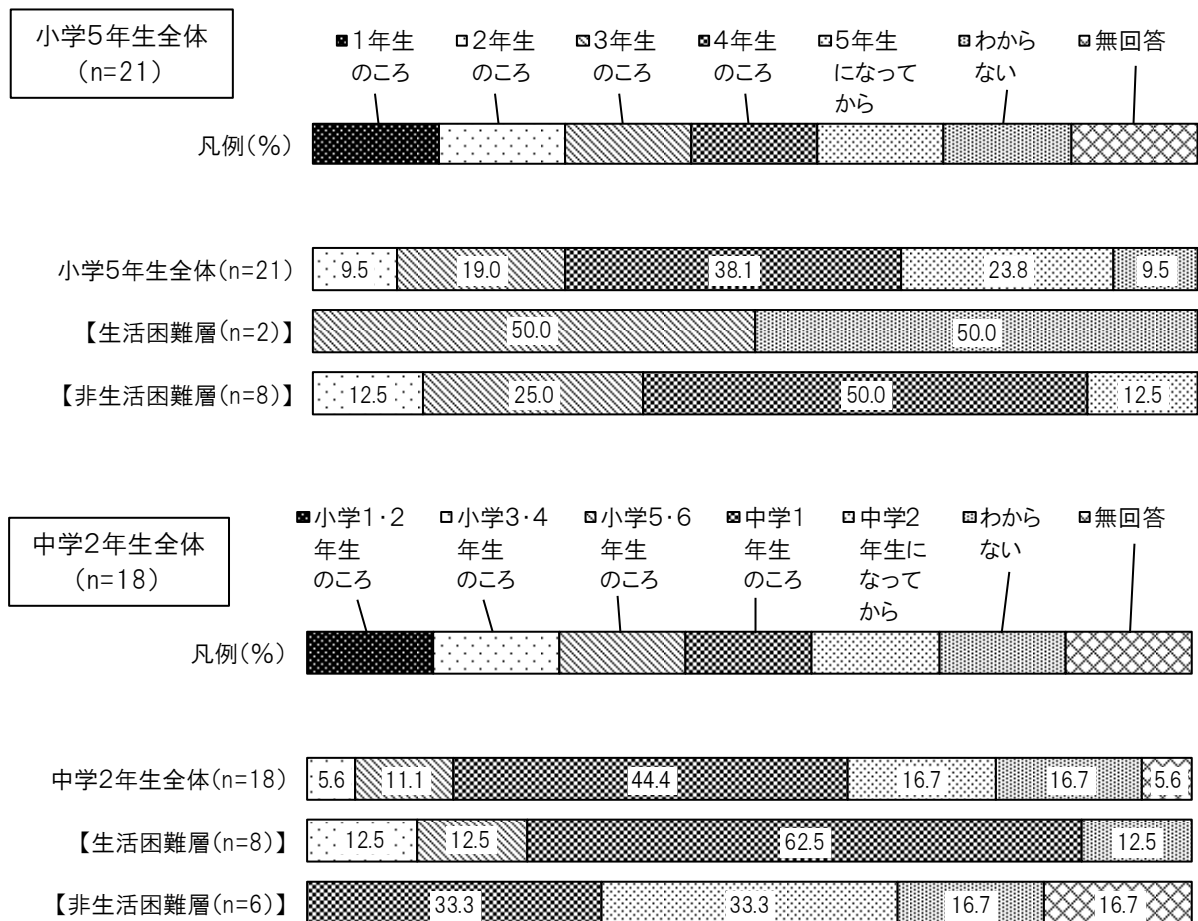
【学校の授業が「4 わからないときのほうが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人におききします。】

子／問 28-1 いつごろから、授業がわからなくなりましたか。

(あてはまる番号1つに○)

授業がわからなくなった時期については、小学5年生全体では、「4年生のころ」が38.1%と最も高く、次いで「5年生になってから」(23.8%)、「3年生のころ」(19.0%)となっている。

中学2年生全体では、「中学1年生のころ」が44.4%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」「わからない」(各16.7%)となっている。

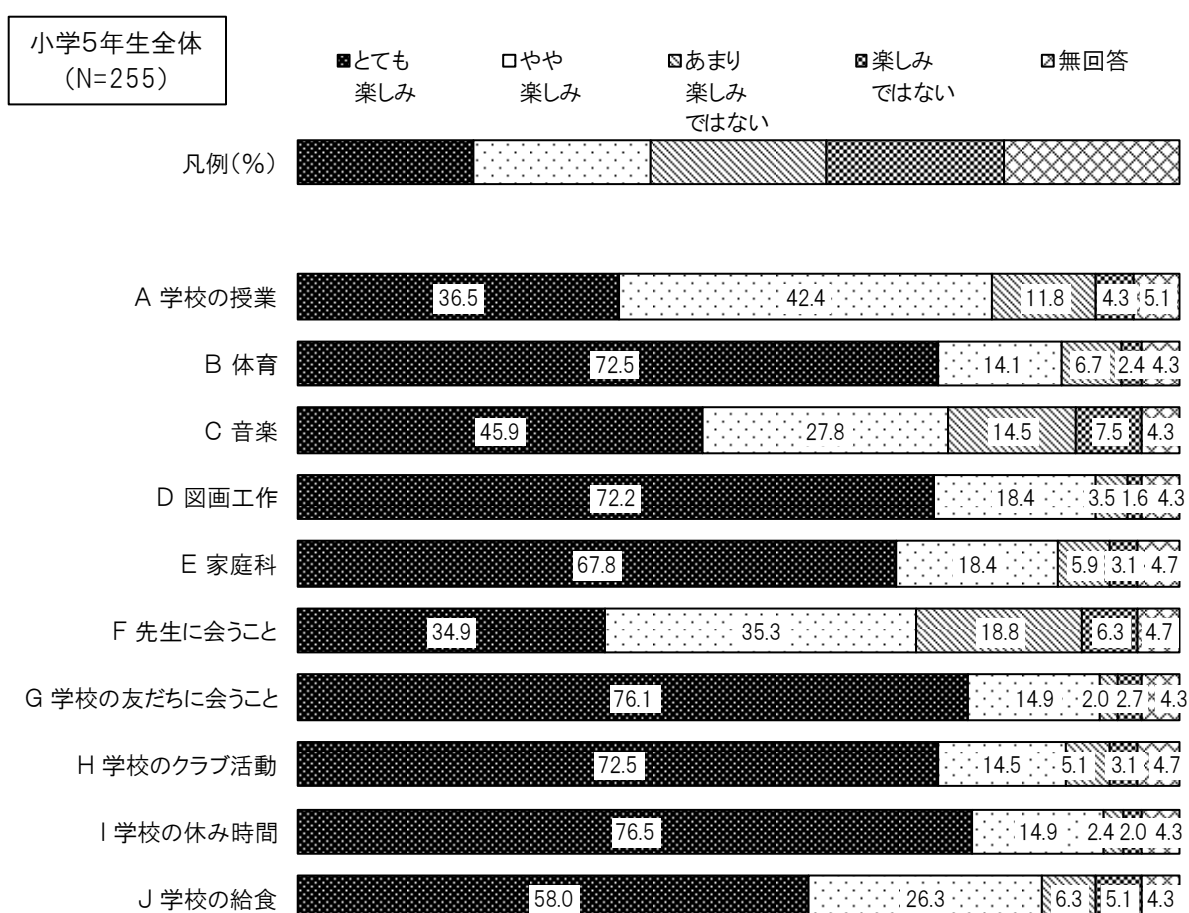


注:生活困難層、非生活困難層については、件数(n)が少ないため参考値として参照

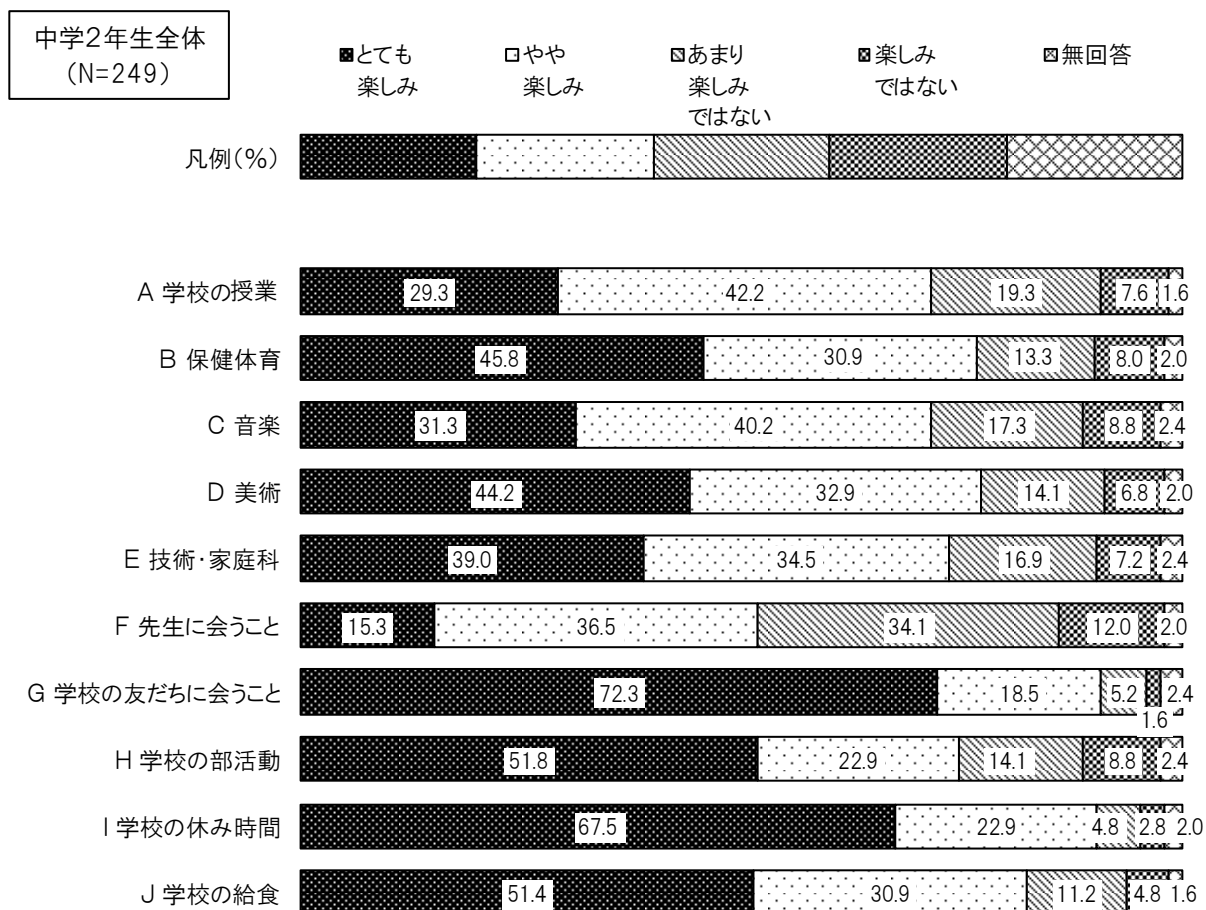
【4】学校生活の楽しみ

子／問 27 あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

学校生活の楽しみについては、小学5年生全体では「とても楽しみ」の割合が高い順に「I 学校の休み時間」(76.5%)、「G 学校の友だちに会うこと」(76.1%)、「B 体育」「H 学校のクラブ活動」(各 72.5%) となっている。また、「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が高い順に「F 先生に会うこと」(25.1%)、「C 音楽」(22.0%)、「A 学校の授業」(16.1%) となっている。



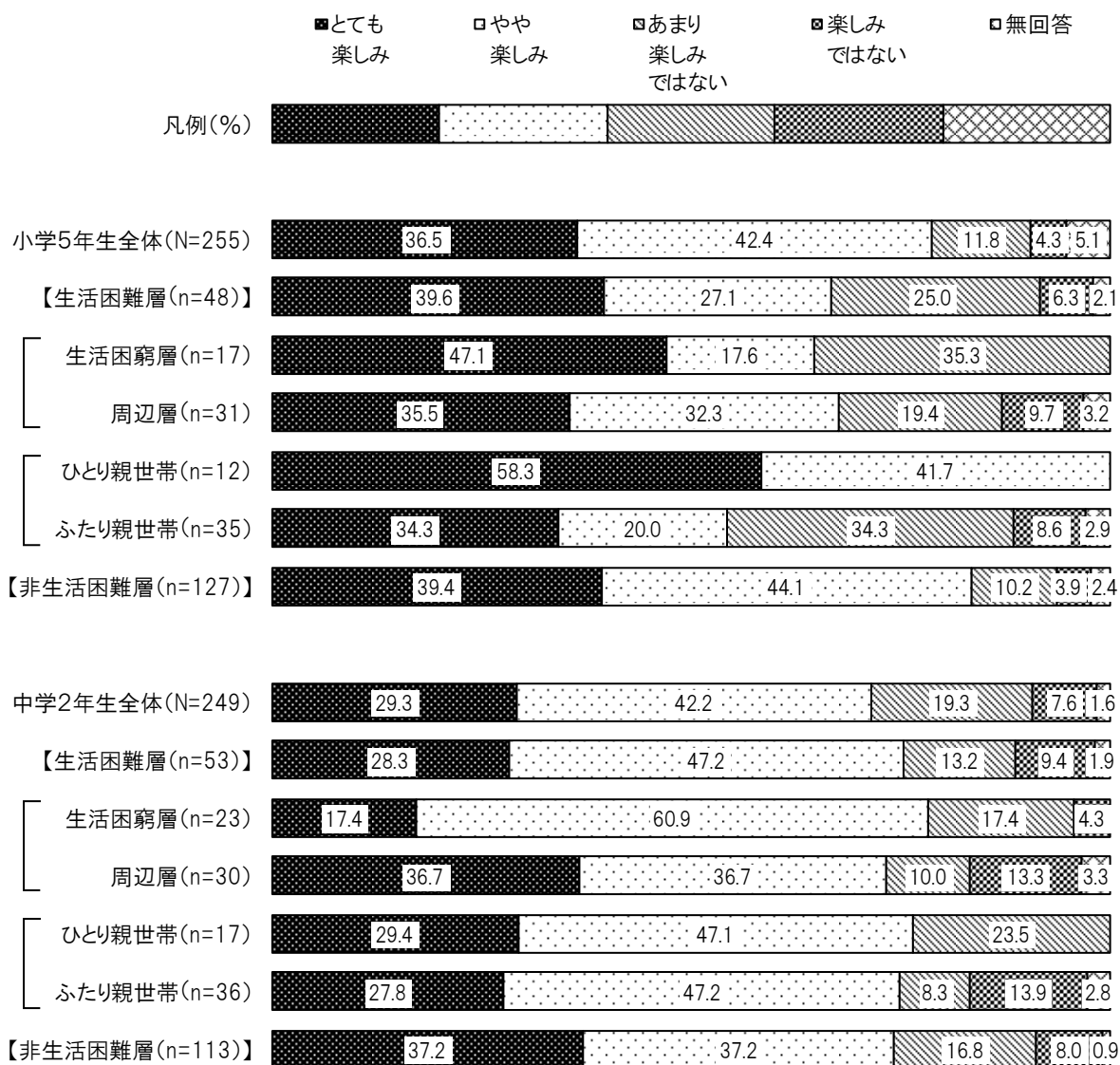
中学2年生全体では、「とても楽しみ」の割合が高い順に「G 学校の友だちに会うこと」(72.3%)、「I 学校の休み時間」(67.5%)、「H 学校の部活動」(51.8%)となっている。また、「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が高い順に「F 先生に会うこと」(46.1%)、「A 学校の授業」(26.9%)、「C 音楽」(26.1%)となっている。



A 学校の授業※（保健体育・音楽・美術・技術・家庭科以外で道徳、総合学習の時間を含む。）

学校の授業について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で35.3%、周辺層で29.1%となっている。中学2年生では、生活困窮層で21.7%、周辺層で23.3%となっている。

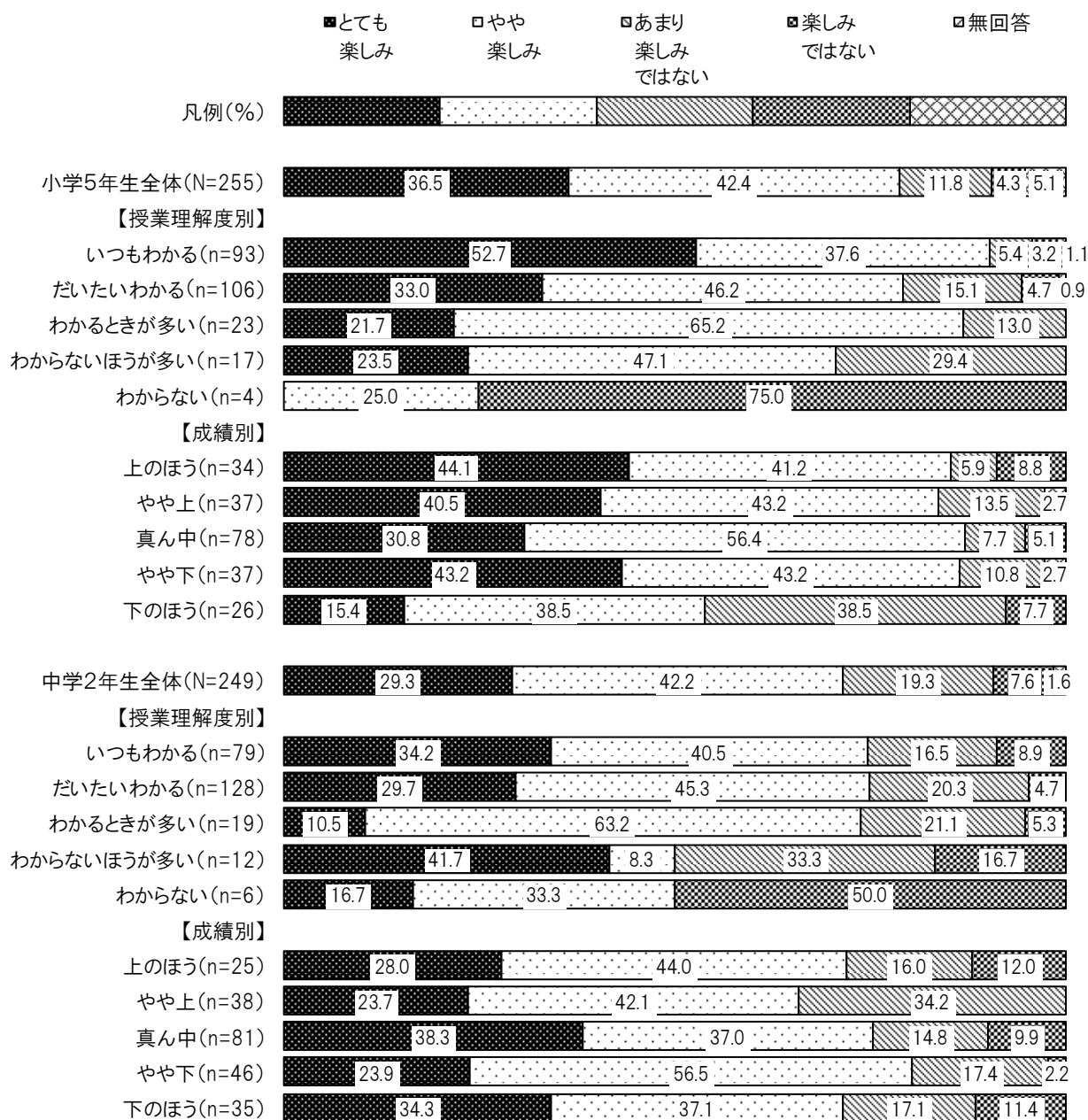
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



※小学生票では「学校の授業(体育・音楽・図工・家庭科以外で道徳、総合学習の時間をふくむ。)」

授業理解度別（問 28）でみると、小学 5 年生、中学 2 年生ともに理解度が高い層ほど「とても楽しみ」の割合が高い傾向にある。

成績別（問 30）でみると、小学 5 年生の成績が「下のほう」では、「とても楽しみ」の割合が低くなっている。

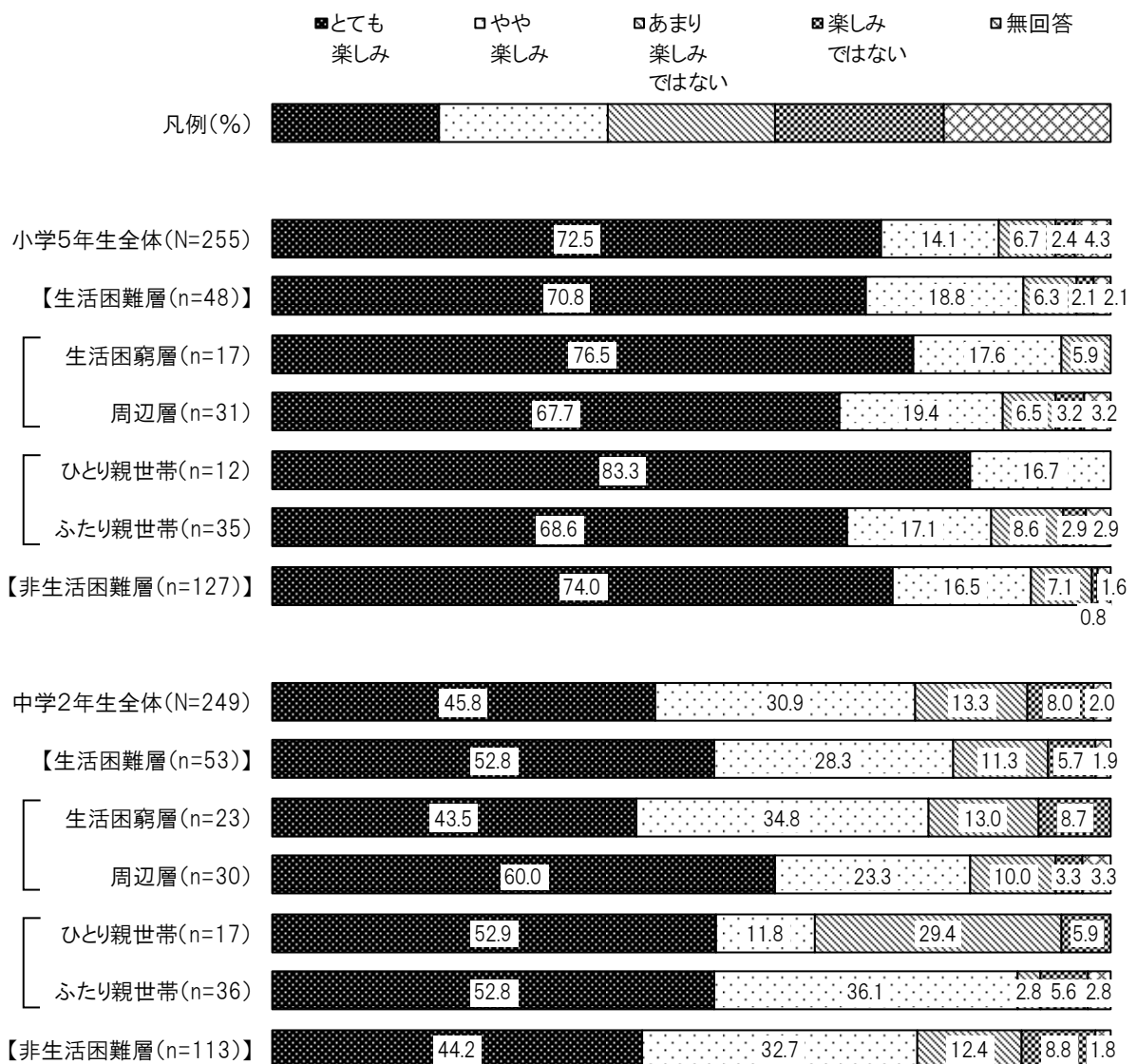


注：件数(n)が10未満の項目については、参考値として参照

B 保健体育※

保健体育について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で5.9%、周辺層で9.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で21.7%、周辺層で13.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「あまり楽しみではない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。

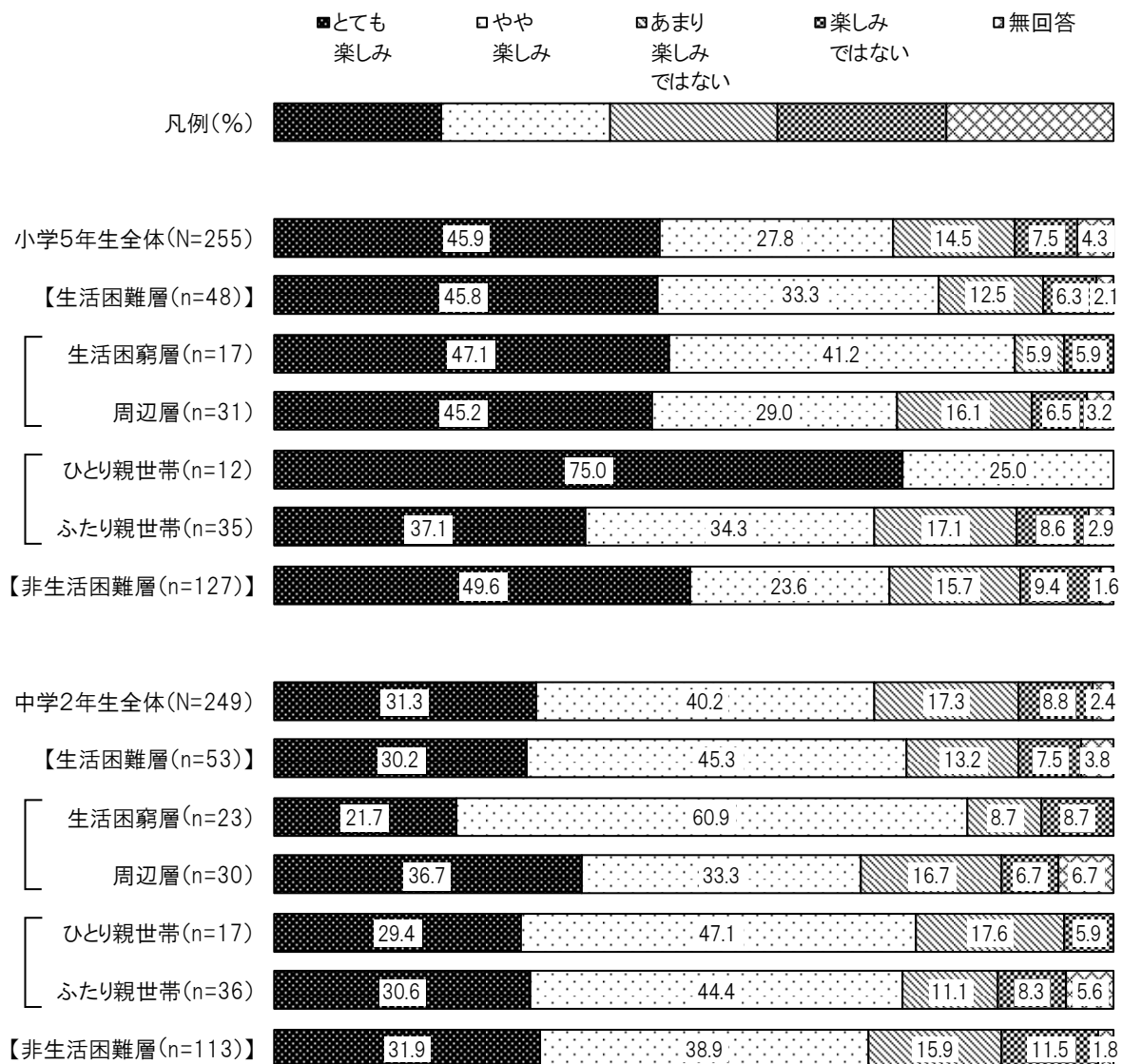


※小学生票では「体育」

C 音楽

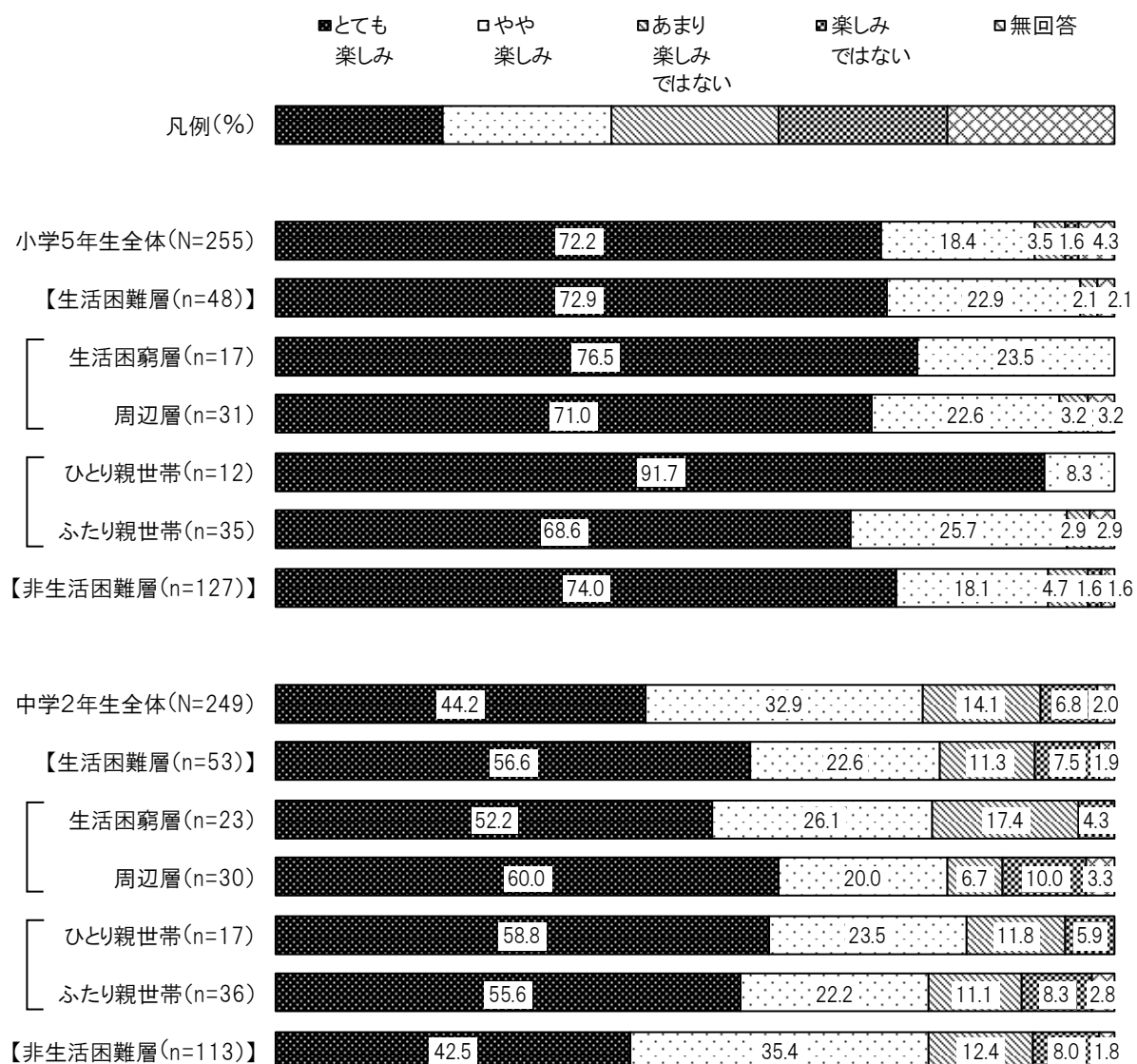
音楽について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で11.8%、周辺層で22.6%となっている。中学2年生では、生活困窮層で17.4%、周辺層で23.4%となっており、周辺層で「あまり楽しみではない」の割合が高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



D 美術※

美術について、小学5年生の周辺層で「あまり楽しみではない」が3.2%となっている。中学2年生の生活困窮層で「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が21.7%、周辺層で16.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。

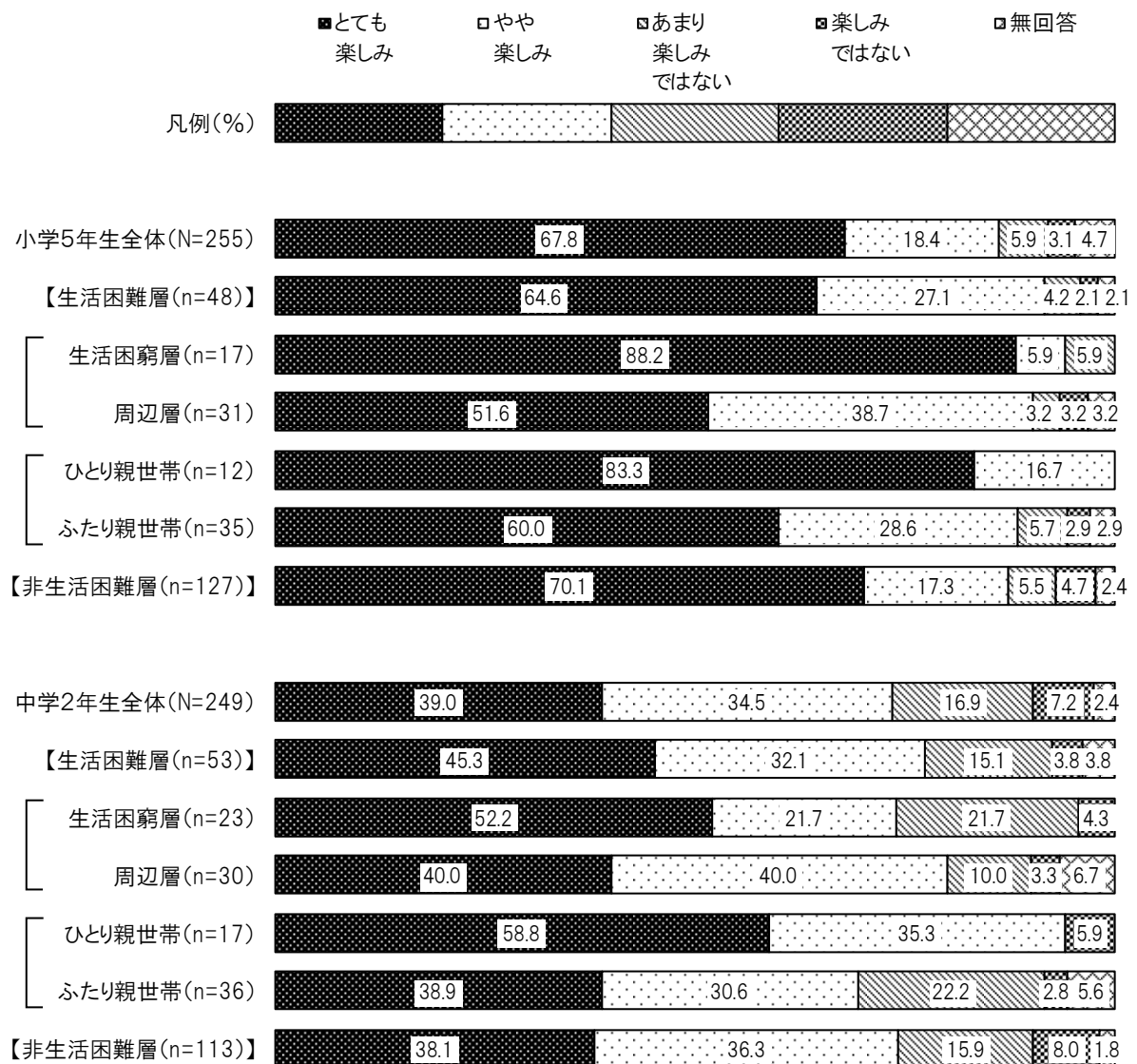


※小学生票では「図画工作」

E 技術・家庭科※

技術・家庭科について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で5.9%、周辺層で6.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で26.0%、周辺層で13.3%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のふたり親世帯で「あまり楽しみではない」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。

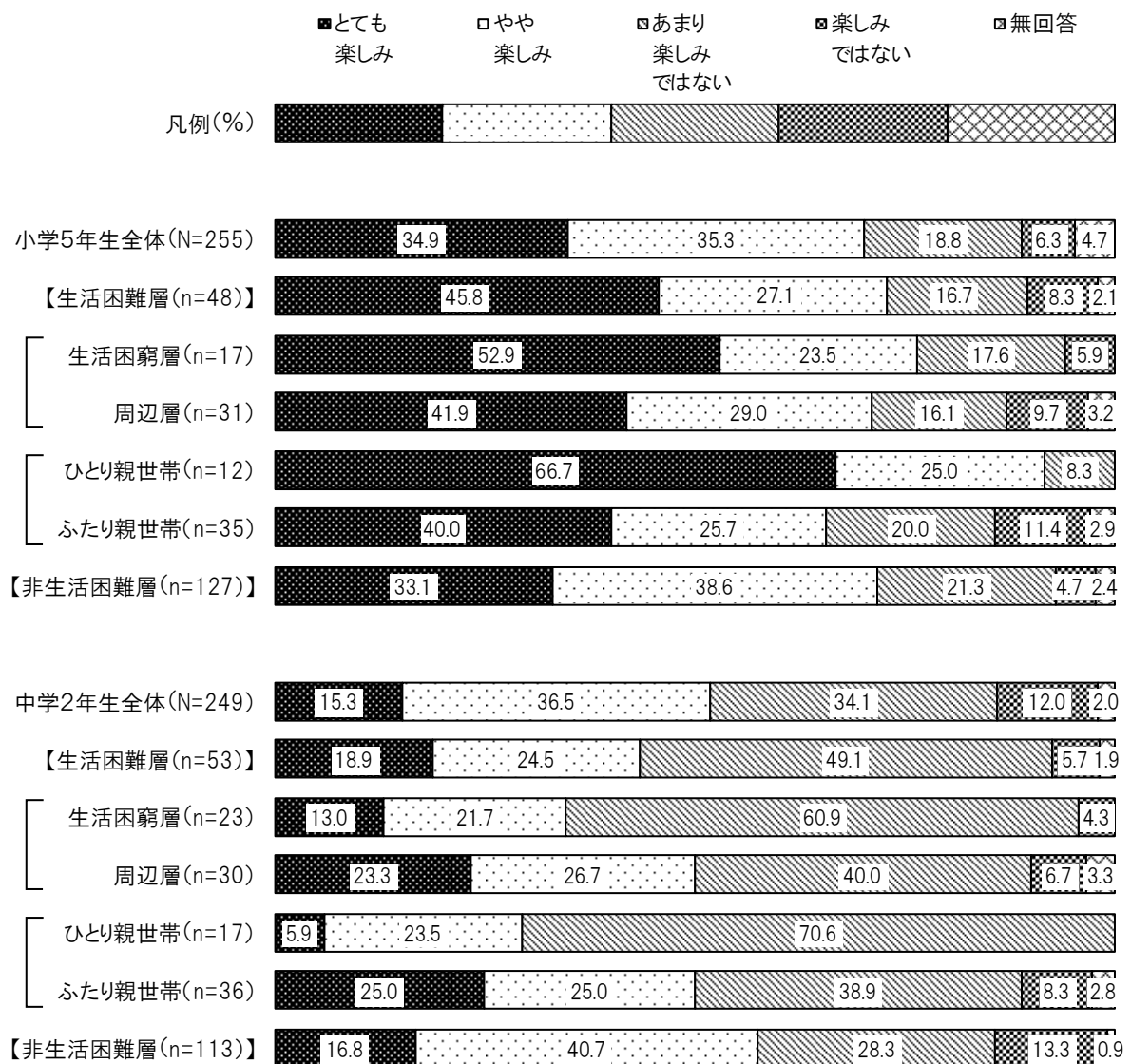


※小学生票では「家庭科」

F 先生に会うこと

先生に会うことについて「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 23.5%、周辺層で 25.8%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 65.2%、周辺層で 46.7%となっており、生活困窮層で「あまり楽しみではない」の割合が高くなっている。

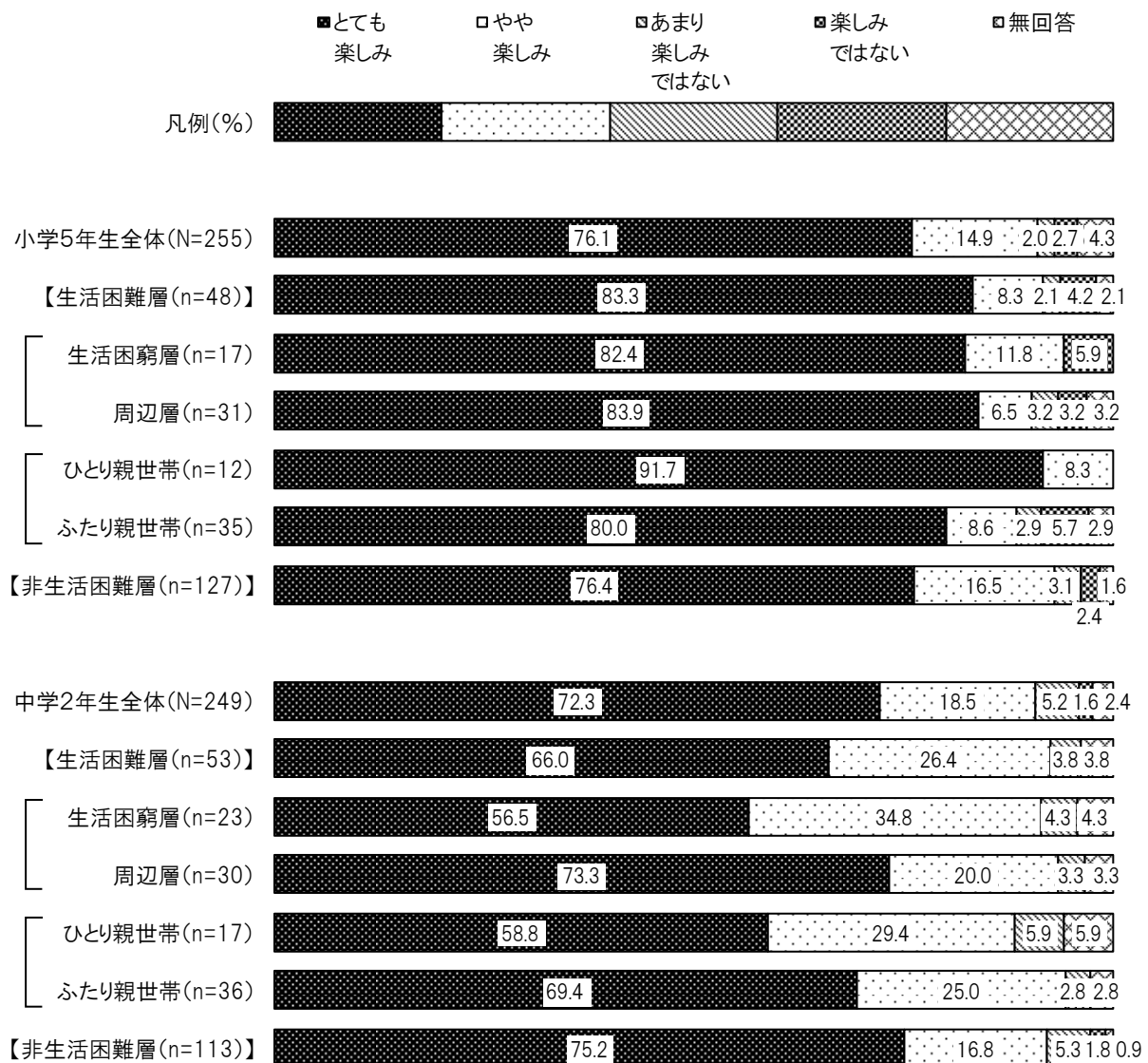
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「あまり楽しみではない」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



G 学校の友だちに会うこと

学校の友だちに会うことについて「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で 5.9%、周辺層で 6.4%となっている。中学2年生では「あまり楽しみではない」の割合が、生活困窮層で 4.3%、周辺層で 3.3%となっている。

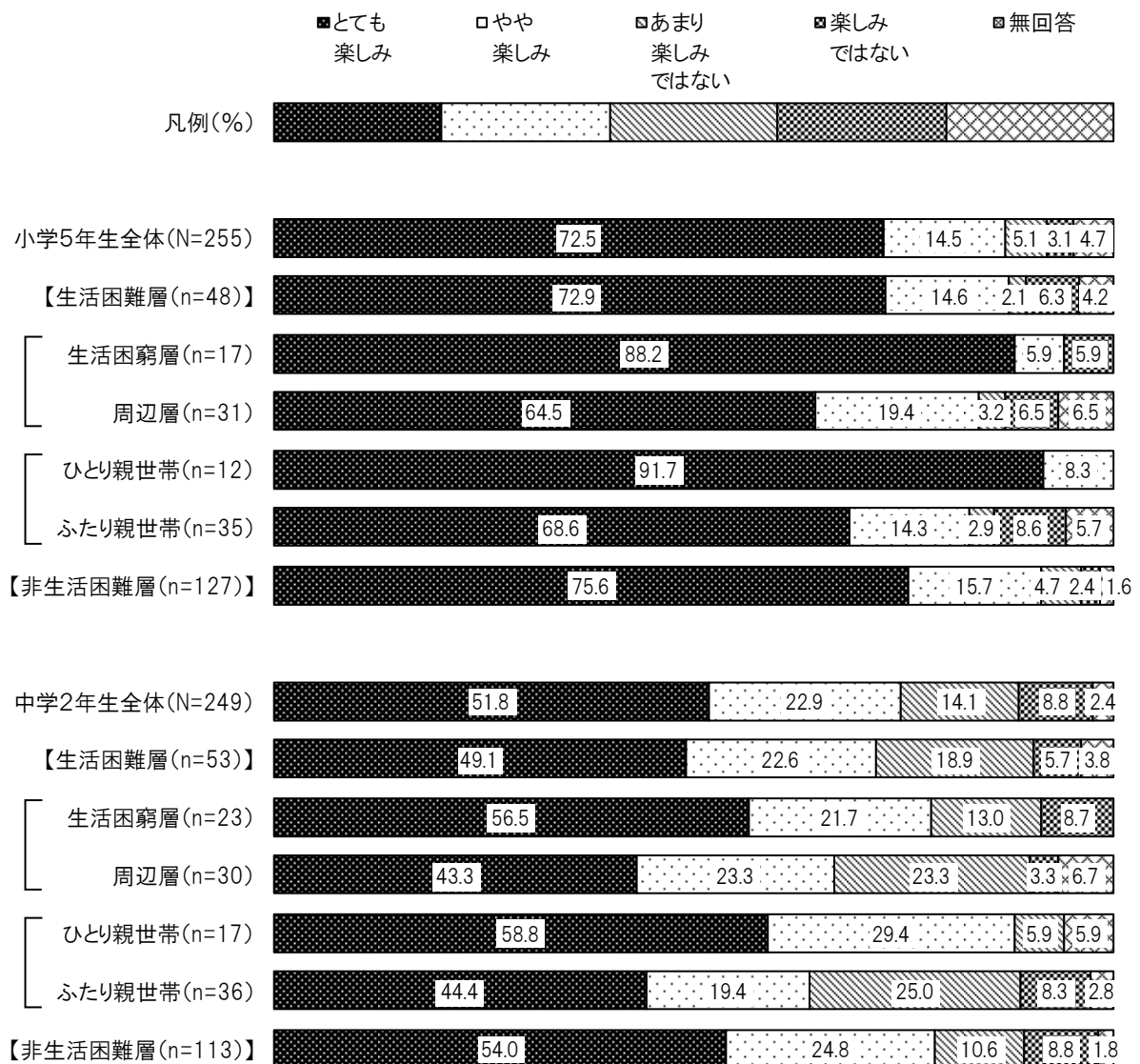
生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「とても楽しみ」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



H 学校の部活動※

学校の部活動について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で5.9%、周辺層で9.7%となっている。中学2年生では、生活困窮層で21.7%、周辺層で26.6%となっている。

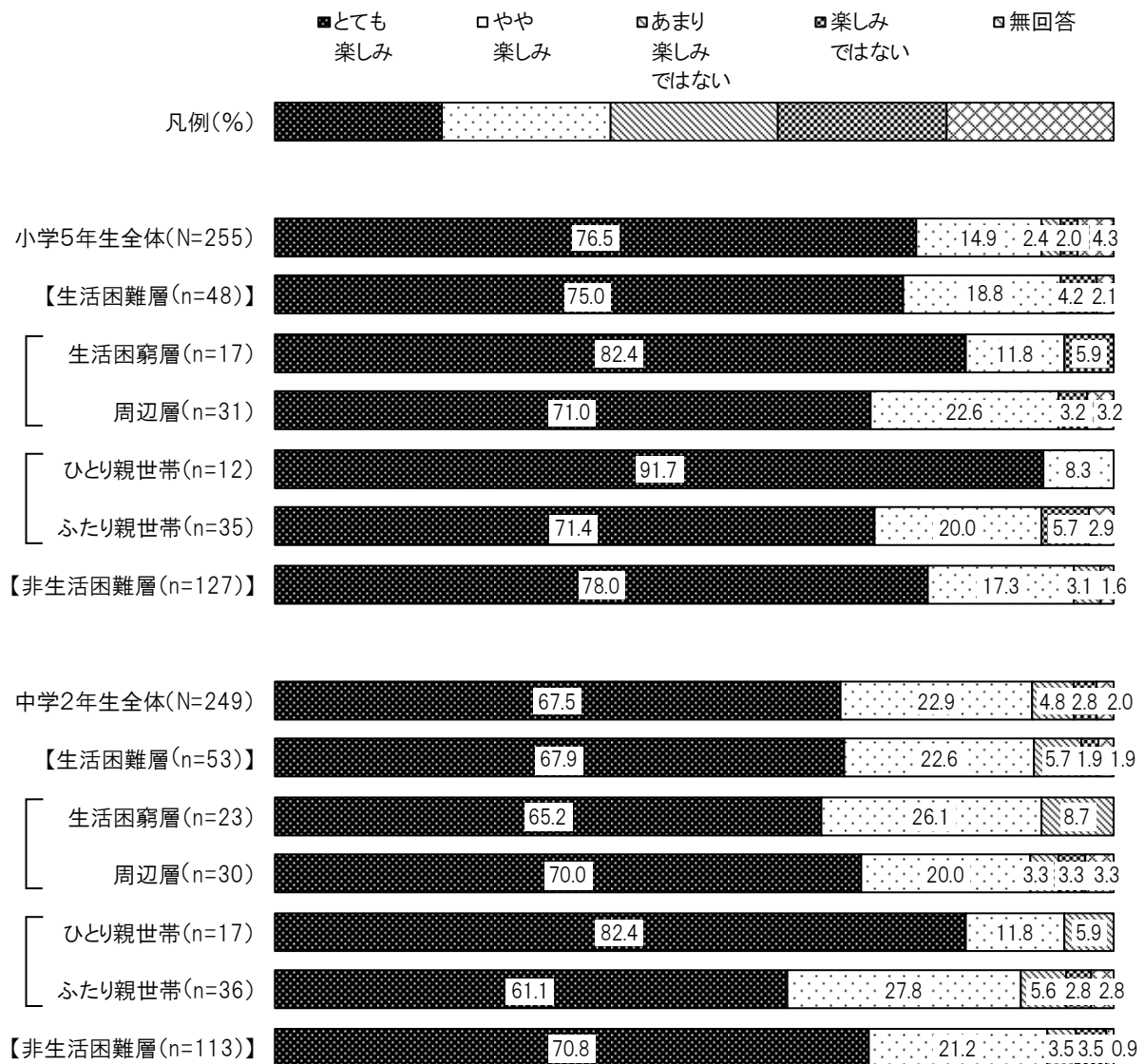
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ふたり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



※小学生票では「学校のクラブ活動」

I 学校の休み時間

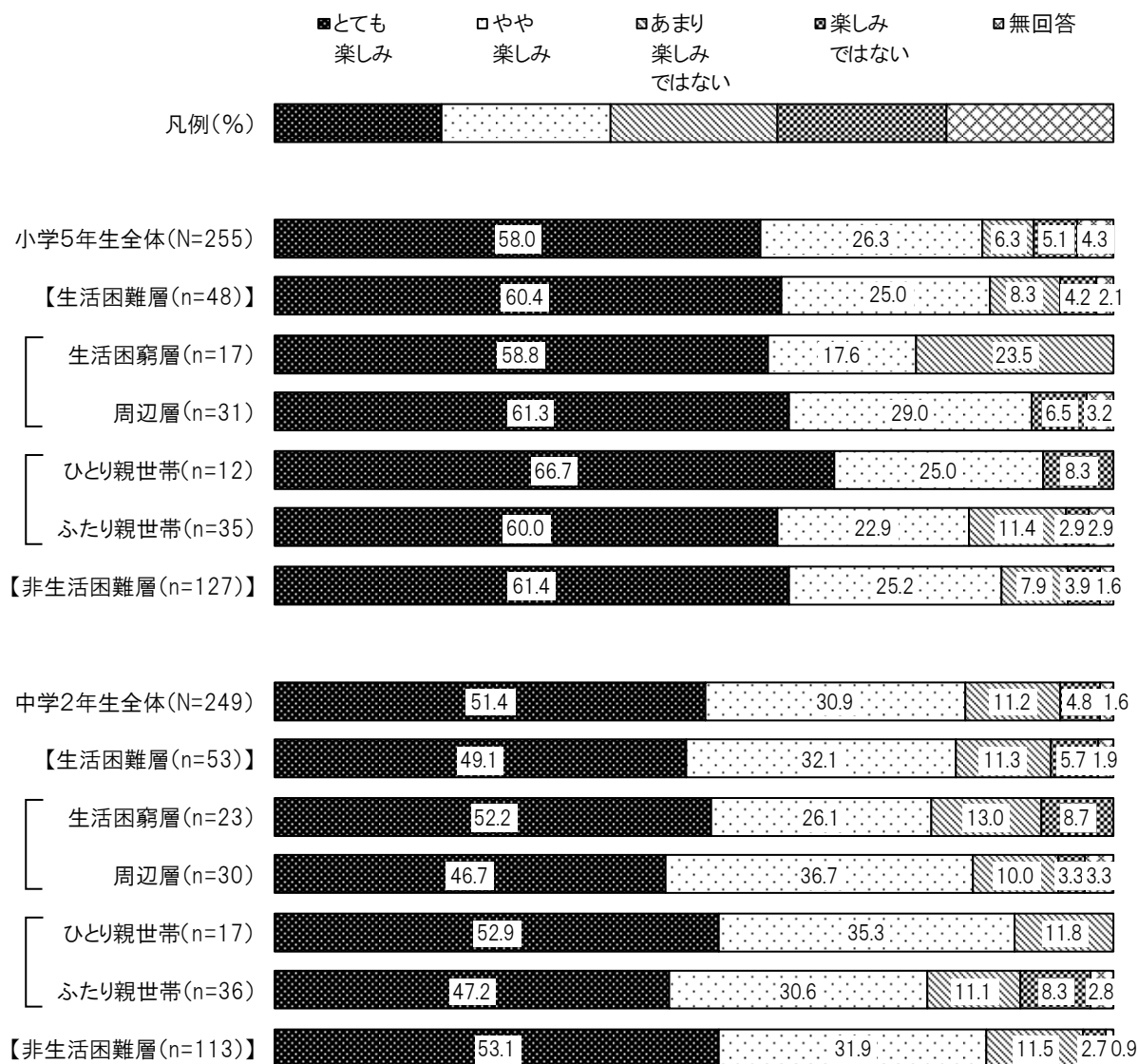
学校の休み時間について「楽しみではない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で5.9%、周辺層で3.2%となっている。中学2年生では「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計が、生活困窮層で8.7%、周辺層で6.6%となっている。



J 学校の給食（お弁当など）

学校の給食（お弁当など）について「あまり楽しみではない」「楽しみではない」の合計は、小学5年生の生活困窮層で23.5%、周辺層で6.5%となっている。中学2年生では、生活困窮層で21.7%、周辺層で13.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ふたり親世帯で『楽しみではない（合計）』の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者6名中「とても楽しみ」は、「I 学校の休み時間」が6名（全員）、「H 学校のクラブ活動」が5名、「G 学校の友だちに会うこと」が4名、「D 図画工作」が3名となっている。

問26 学校生活の楽しさ／A 学校の授業	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 16.7	1
やや楽しみ	 50.0	3
あまり楽しみではない	 16.7	1
楽しみではない	 16.7	1
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／B 体育	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 33.3	2
やや楽しみ	 66.7	4
あまり楽しみではない	0.0	0
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／C 音楽	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 16.7	1
やや楽しみ	 50.0	3
あまり楽しみではない	 33.3	2
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／D 図画工作	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 50.0	3
やや楽しみ	 33.3	2
あまり楽しみではない	 16.7	1
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／E 家庭科	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 16.7	1
やや楽しみ	 66.7	4
あまり楽しみではない	 16.7	1
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／F 先生に会うこと	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 16.7	1
やや楽しみ	 33.3	2
あまり楽しみではない	 33.3	2
楽しみではない	 16.7	1
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／G 学校の友だちに会うこと	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	66.7	4
やや楽しみ	16.7	1
あまり楽しみではない	16.7	1
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／H 学校のクラブ活動	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	83.3	5
やや楽しみ	16.7	1
あまり楽しみではない	0.0	0
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／I 学校の休み時間	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	100.0	6
やや楽しみ	0.0	0
あまり楽しみではない	0.0	0
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

問26 学校生活の楽しさ／J 学校の給食・お弁当	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	33.3	2
やや楽しみ	50.0	3
あまり楽しみではない	16.7	1
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	6

(中学生)

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「とても楽しみ」は、「E 技術・家庭科」「G 学校の友だちに会うこと」が各 7 名、「I 学校の休み時間」「J 学校の給食・お弁当」が各 6 名、「D 美術」が 5 名となっている。

問26 学校生活の楽しさ／A 学校の授業	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 30.0	3
やや楽しみ	 40.0	4
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	 10.0	1
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／B 保健体育	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 40.0	4
やや楽しみ	 30.0	3
あまり楽しみではない	 30.0	3
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／C 音楽	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 40.0	4
やや楽しみ	 30.0	3
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	 10.0	1
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／D 美術	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 50.0	5
やや楽しみ	 40.0	4
あまり楽しみではない	0.0	0
楽しみではない	 10.0	1
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／E 技術・家庭科	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 70.0	7
やや楽しみ	0.0	0
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	 10.0	1
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／F 先生に会うこと	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 30.0	3
やや楽しみ	 50.0	5
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／G 学校の友だちに会うこと	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 70.0	7
やや楽しみ	 10.0	1
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／H 学校の部活動	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 40.0	4
やや楽しみ	 50.0	5
あまり楽しみではない	 10.0	1
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／I 学校の休み時間	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 60.0	6
やや楽しみ	 10.0	1
あまり楽しみではない	 20.0	2
楽しみではない	 10.0	1
全体	100.0	10

問26 学校生活の楽しさ／J 学校の給食・お弁当	回答割合(%)	回答件数
とても楽しみ	 60.0	6
やや楽しみ	 40.0	4
あまり楽しみではない	0.0	0
楽しみではない	0.0	0
全体	100.0	10

【5】学校外での学習・勉強の状況

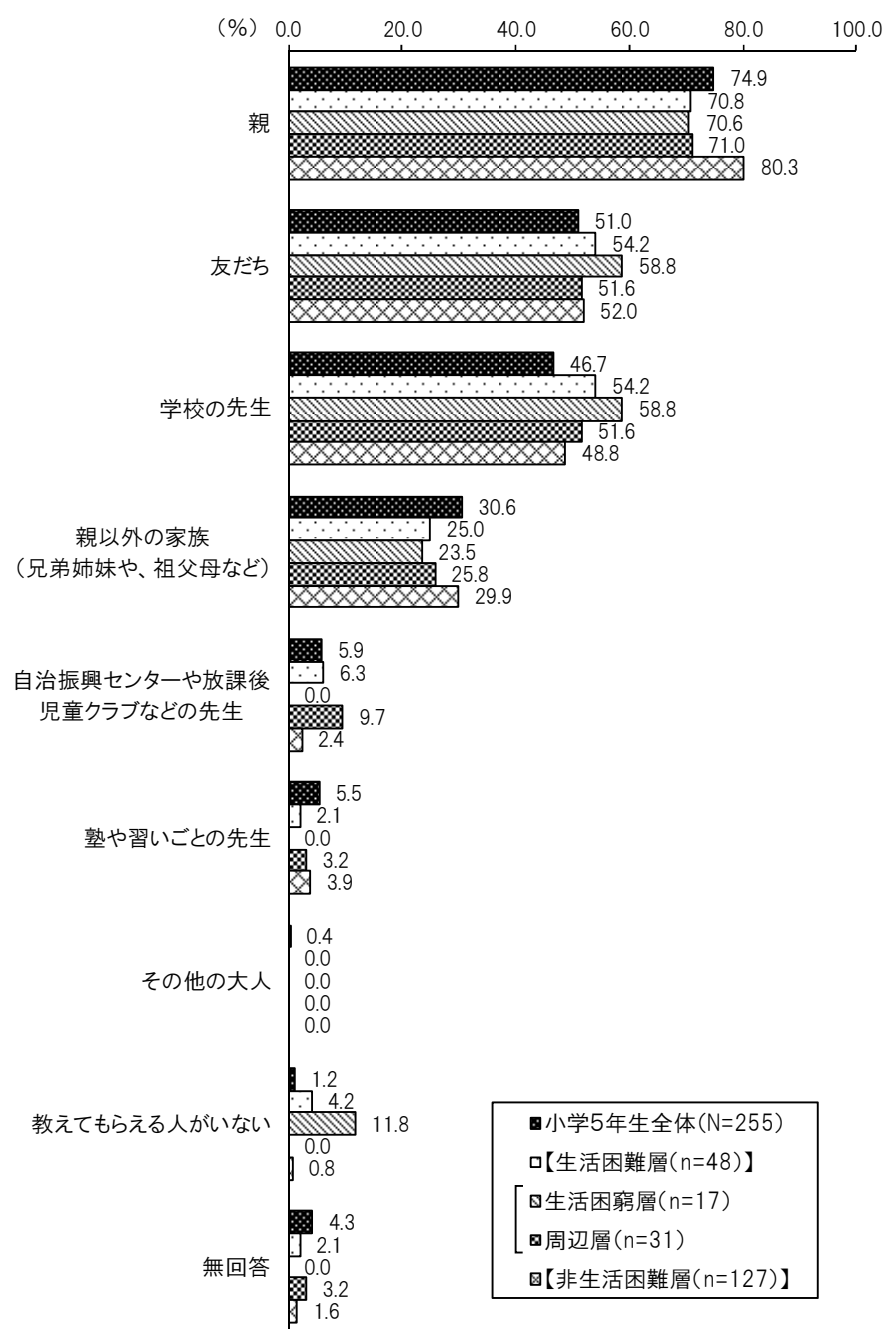
(1) 勉強を教えてくれる人

子／問 29 勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。

(あてはまる番号すべてに○)

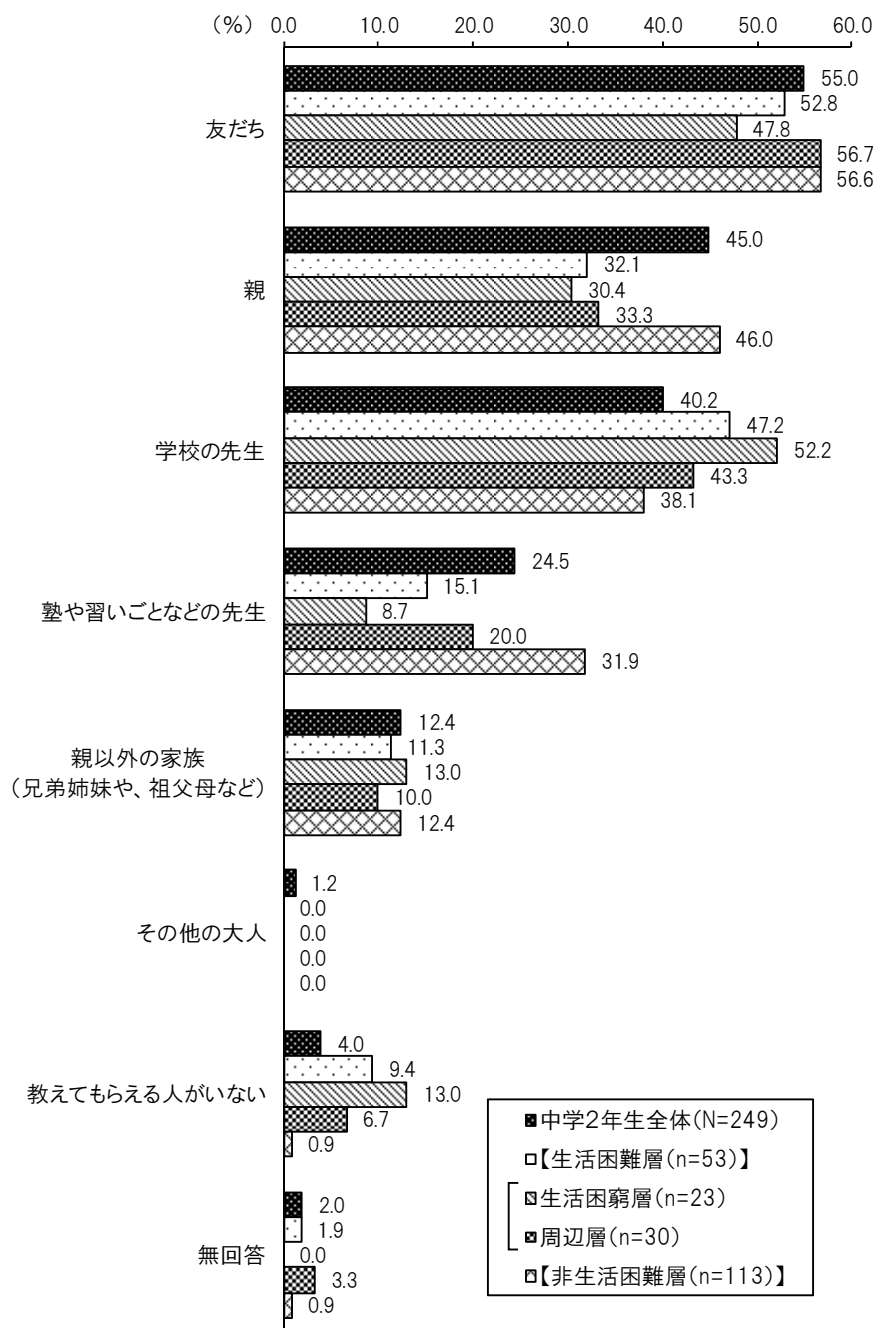
勉強を教えてくれる人について、小学5年生全体では「親」が74.9%と最も高く、次いで「友だち」(51.0%)、「学校の先生」(46.7%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「親以外の家族(兄弟姉妹や、祖父母など)」などの割合が低く、「友だち」「学校の先生」「教えてもらえる人がいない」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年生全体では、「友だち」が55.0%と最も高く、次いで「親」(45.0%)、「学校の先生」(40.2%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「友だち」「親」「塾や習いごとなどの先生」の割合が低く、「学校の先生」「教えてもらえる人がいない」などの割合が高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「親」が 4 名、「親以外の家族（兄弟姉妹や、祖父母など）」「学校の先生」が各 2 名、「友だち」が 1 名となっている。

問28 勉強を教えてくれる人	回答割合(%)	回答件数
親	66.7	4
親以外の家族(兄弟姉妹や、祖父母など)	33.3	2
学校の先生	33.3	2
友だち	16.7	1
自治振興センターや放課後児童クラブなどの先生	0.0	0
塾や習いごとの先生	0.0	0
その他の大人	0.0	0
教えてもらえる人がいない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「親」「友だち」が各 6 名、「学校の先生」が 5 名となっている。

問28 勉強を教えてくれる人	回答割合(%)	回答件数
親	60.0	6
友だち	60.0	6
学校の先生	50.0	5
親以外の家族(兄弟姉妹や、祖父母など)	20.0	2
塾や習いごとなどの先生	20.0	2
その他の大人	0.0	0
教えてもらえる人がいない	0.0	0
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

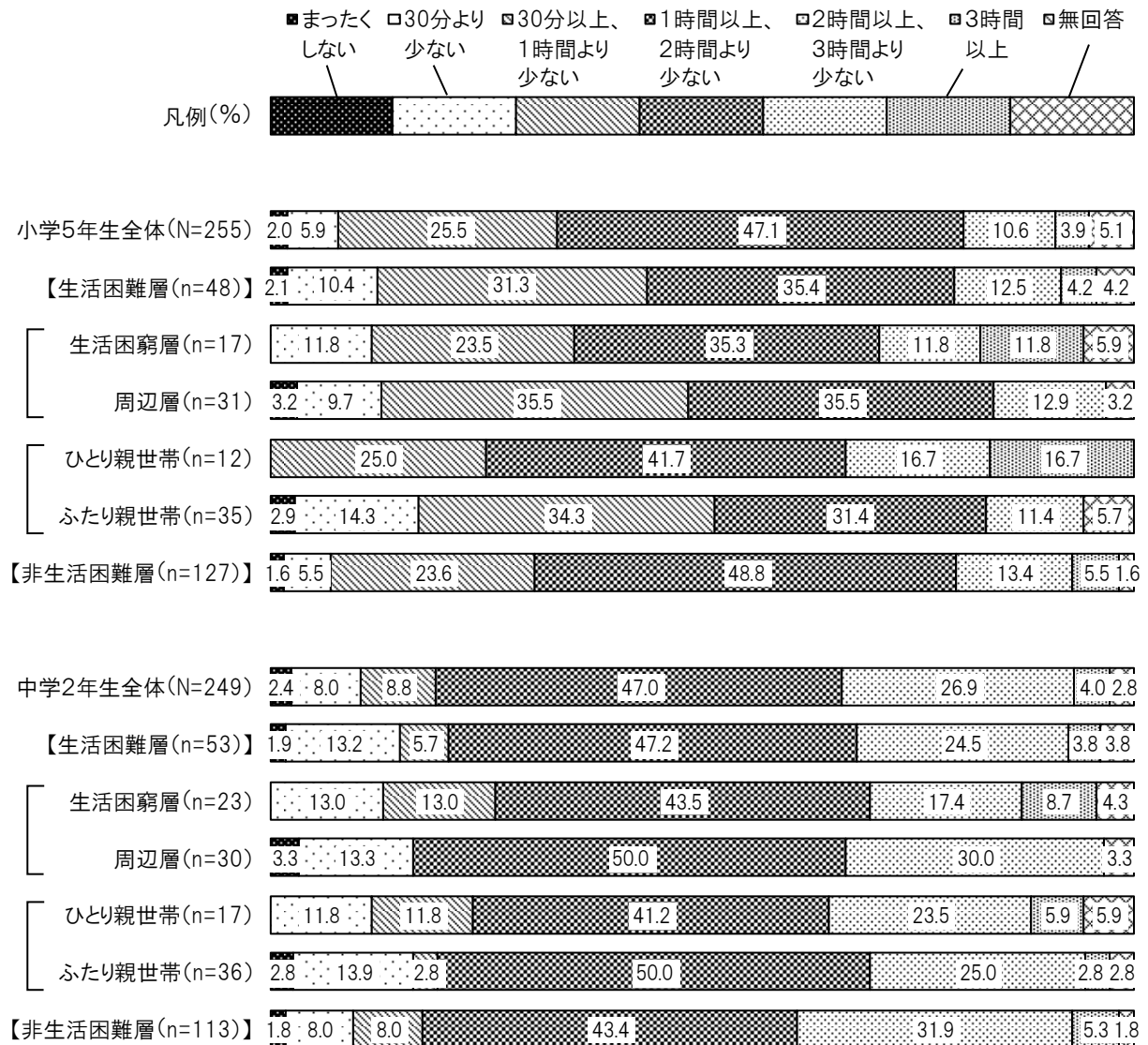
(2) 学校外での勉強時間

子／問 32 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。
(あてはまる番号1つに○)
※塾などでの時間も含まれます。

学校外での勉強時間については、小学5年生全体では、「まったくしない」「30分より少ない」の合計が7.9%、中学2年生全体では10.4%となっている。一方、「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」の合計は、小学5年生全体では14.5%、中学2年生全体では30.9%となっている。

生活困難度別にみた「30分より少ない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で11.8%、中学2年生で13.0%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ふたり親世帯で「まったくしない」「30分より少ない」の合計がひとり親世帯に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「1 時間以上、2 時間より少ない」が 4 名、「30 分より少ない」「2 時間以上、3 時間より少ない」が各 1 名となっている。

問31 学校の授業以外の勉強時間	回答割合(%)	回答件数
まったくしない	0.0	0
30分より少ない	 16.7	1
30分以上、1時間より少ない	0.0	0
1時間以上、2時間より少ない	 66.7	4
2時間以上、3時間より少ない	 16.7	1
3時間以上	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「1 時間以上、2 時間より少ない」が 4 名、「2 時間以上、3 時間より少ない」が 3 名、「30 分以上、1 時間より少ない」が 2 名となっている。

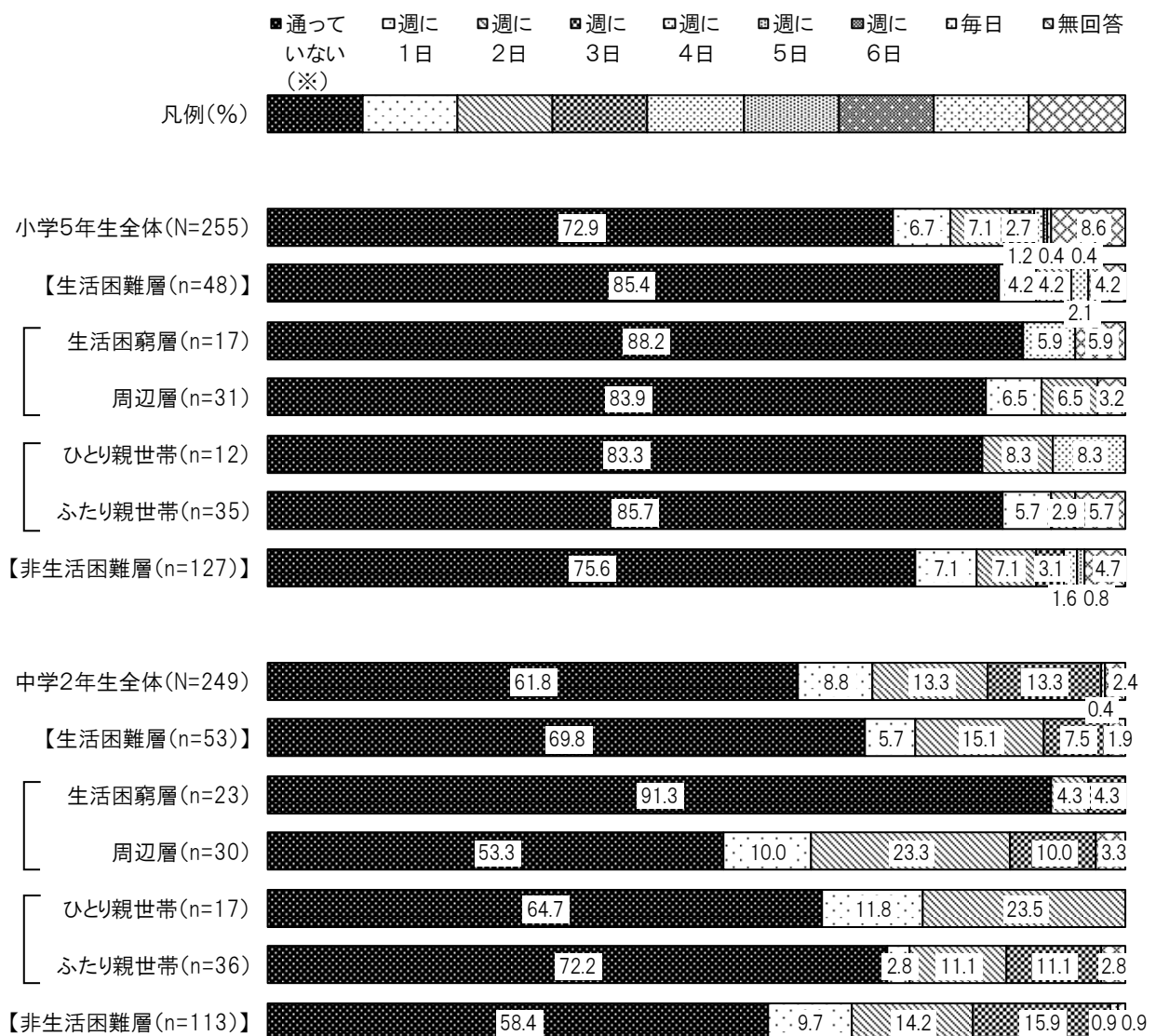
問31 学校の授業以外の勉強時間	回答割合(%)	回答件数
まったくしない	 10.0	1
30分より少ない	0.0	0
30分以上、1時間より少ない	 20.0	2
1時間以上、2時間より少ない	 40.0	4
2時間以上、3時間より少ない	 30.0	3
3時間以上	0.0	0
全体	100.0	10

(3) 学習塾・家庭教師の頻度

子／問 33 あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている（来てもらっている）場合、1週間に何日通って（来てもらって）いますか。（あてはまる番号1つに○）

学習塾・家庭教師の頻度については、小学5年生全体では「通って（来てもらって）いない」の割合が72.9%、中学2年生全体では61.8%となっている。一方、「週に1日」「週に2日」「週に3日」の合計は、小学5年生全体では16.5%、中学2年生全体では35.4%となっている。

生活困難度別にみた「通って（来てもらって）いない」割合は、小学5年生の生活困窮層で88.2%、中学2年生で91.3%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。



※通って(来てもらって)いない

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、全員が「通って（来てもらって）いない」と回答している。

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「通って（来てもらって）いない」が 5 名、「週に 2 日」が 4 名となっている。

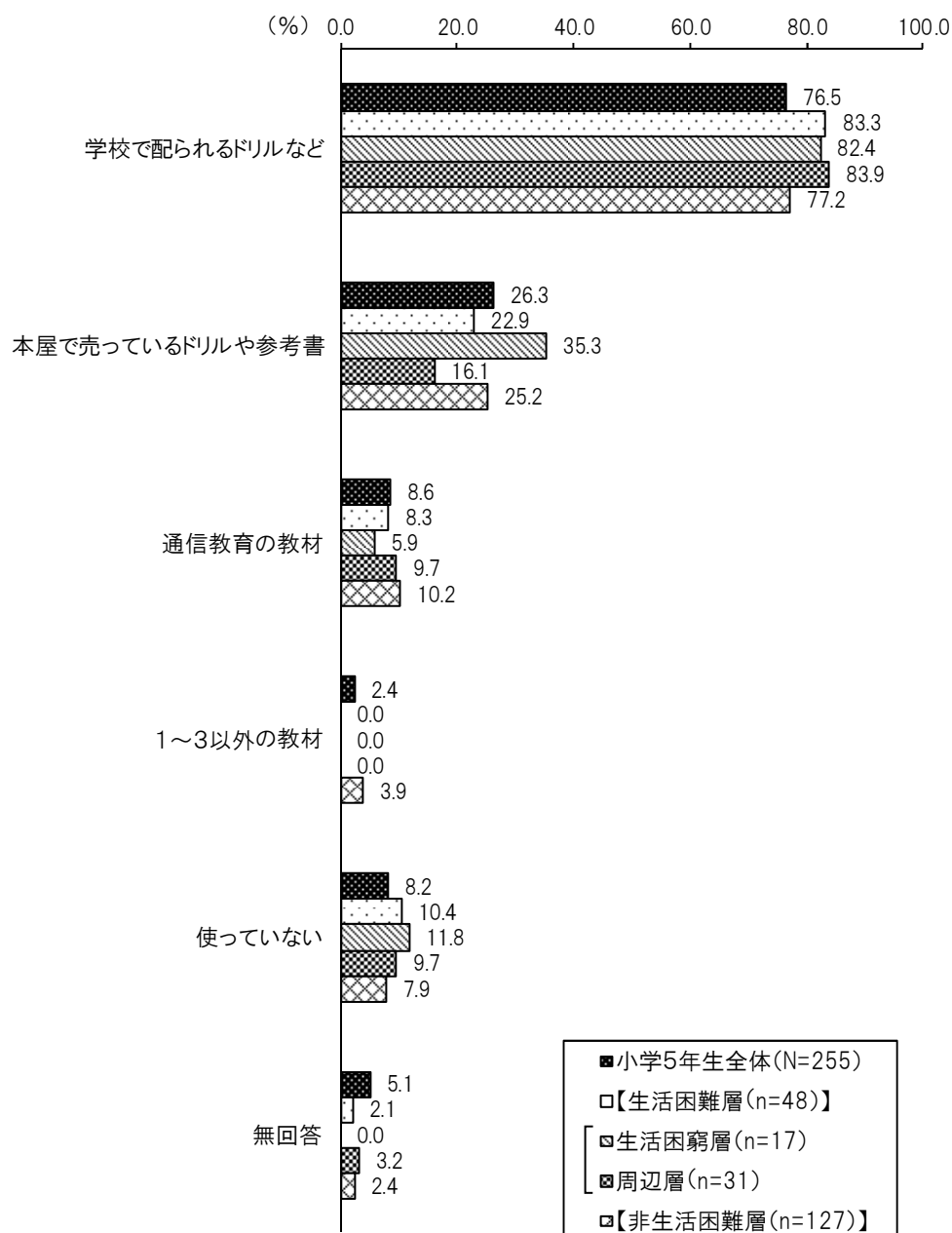
問32 学習塾や家庭教師の日数	回答割合(%)	回答件数
通って(来てもらって)いない	 50.0	5
週に1日	0.0	0
週に2日	 40.0	4
週に3日	0.0	0
週に4日	0.0	0
週に5日	0.0	0
週に6日	0.0	0
毎日	0.0	0
無回答	 10.0	1
全体	100.0	10

(4) 自宅での教材使用状況

子／問 34 あなたは、自宅で次の教材を使っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

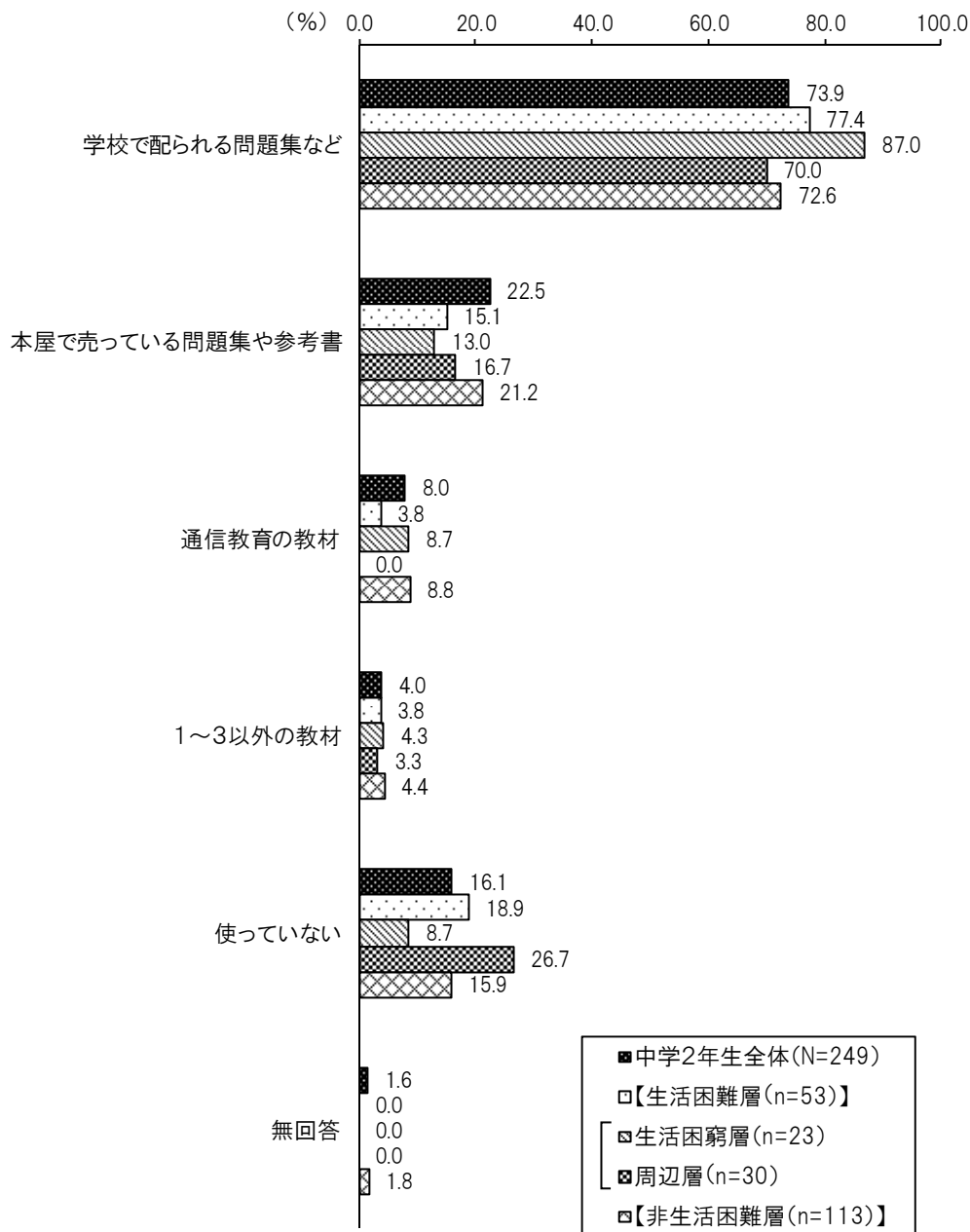
自宅での教材使用状況について、小学5年生全体では「学校で配られるドリルなど」が76.5%と最も高く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」(26.3%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「本屋で売っているドリルや参考書」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年生全体では、「学校で配られる問題集など」が73.9%と最も高く、次いで「本屋で売っている問題集や参考書」(22.5%)となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「本屋で売っている問題集や参考書」「使っていない」の割合が低く、「学校で配られる問題集など」の割合が高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「学校で配られるドリルなど」が 4 名、「使っていない」が 2 名となっている。

問33 自宅での使用教材	回答割合(%)	回答件数
学校で配られるドリルなど	66.7	4
本屋で売っているドリルや参考書	0.0	0
通信教育の教材	0.0	0
1～3以外の教材	0.0	0
使っていない	33.3	2
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「学校で配られる問題集など」が 7 名、「本屋で売っている問題集や参考書」が 5 名となっている。

問33 自宅での使用教材	回答割合(%)	回答件数
学校で配られる問題集など	70.0	7
本屋で売っている問題集や参考書	50.0	5
通信教育の教材	0.0	0
1～3以外の教材	0.0	0
使っていない	10.0	1
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

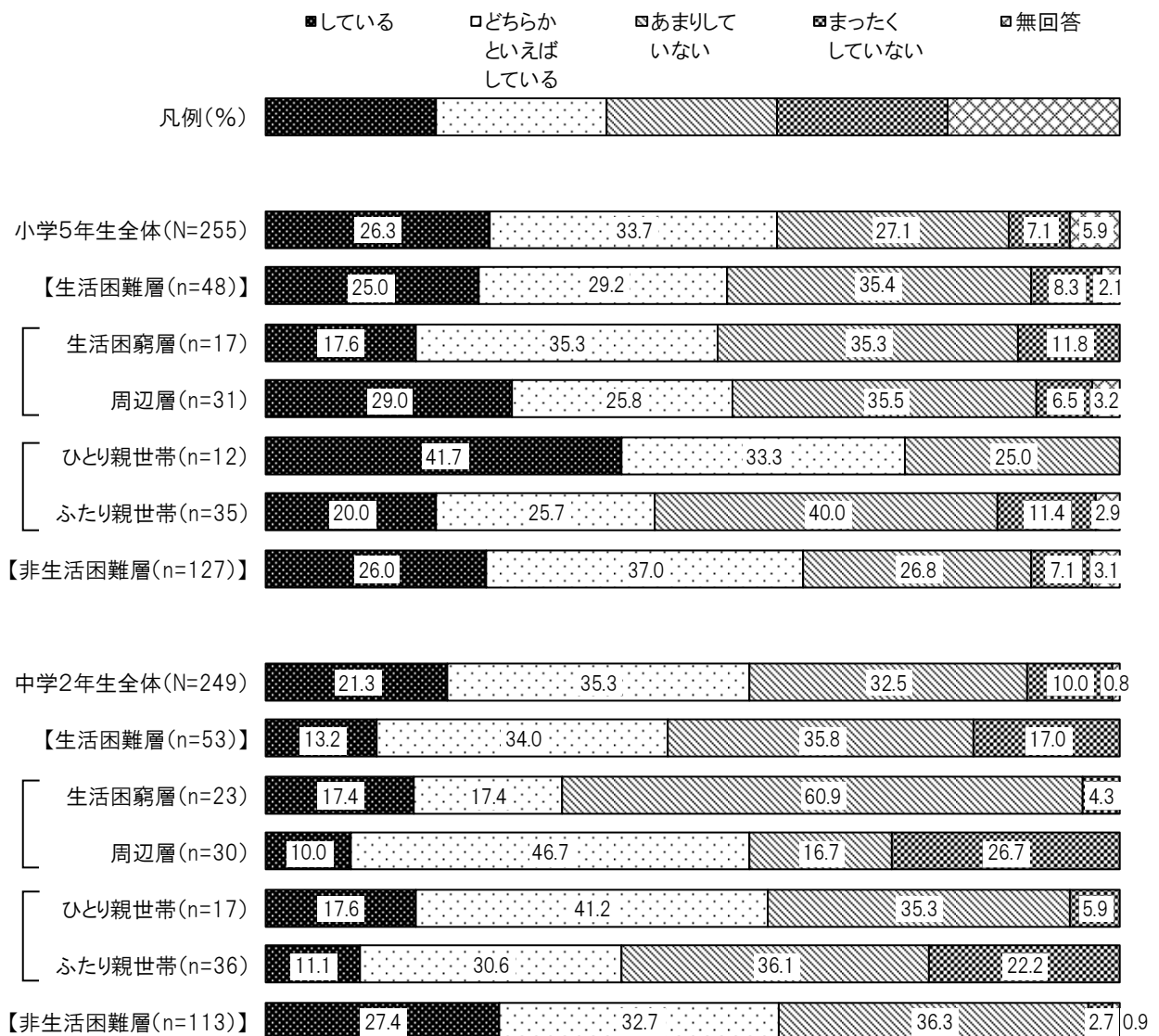
(5) 計画的な勉強実施状況

子／問 35 あなたは、ふだん、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

計画的な勉強実施状況については、小学5年生全体では「している」「どちらかといえばしている」の合計が60.0%、中学2年生全体では56.6%となっている。一方、「あまりしていない」「まったくしていない」の合計は、小学5年生全体では34.2%、中学2年生全体では42.5%となっている。

生活困難度別にみた『していない(合計)』の割合は、小学5年生の生活困窮層で47.1%、中学2年生で65.2%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では小学5年生、中学2年生ともに、ふたり親世帯で『していない(合計)』の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「どちらかといえばしている」が 3 名、「あまりしていない」が 2 名、「している」が 1 名となっている。

問34 自分で計画を立てて勉強しているか	回答割合(%)	回答件数
している	16.7	1
どちらかといえばしている	50.0	3
あまりしていない	33.3	2
まったくしていない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「どちらかといえばしている」「あまりしていない」が各 4 名、「している」が 1 名となっている。

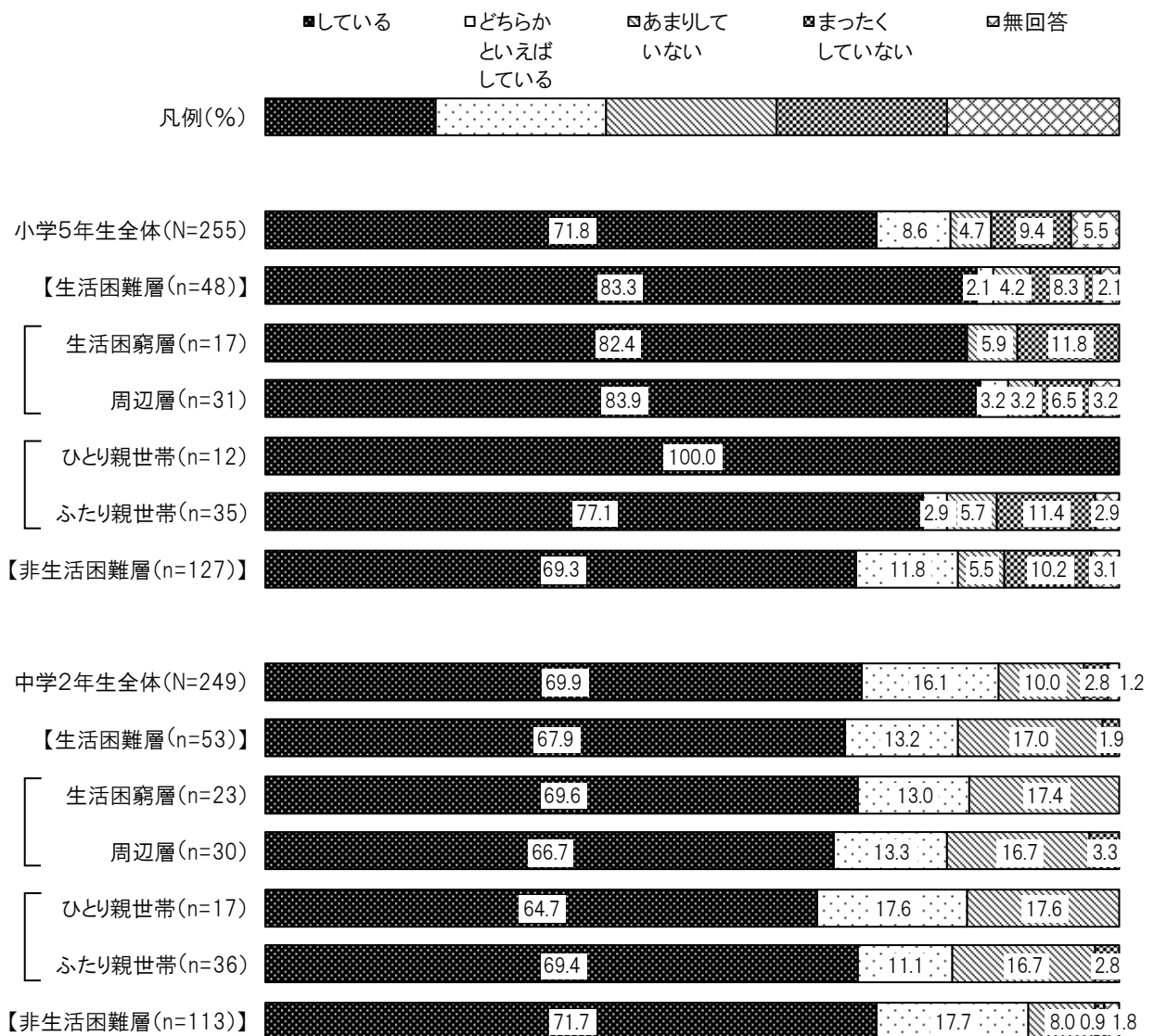
問34 自分で計画を立てて勉強しているか	回答割合(%)	回答件数
している	10.0	1
どちらかといえばしている	40.0	4
あまりしていない	40.0	4
まったくしていない	0.0	0
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

(6) 宿題への対応状況

子／問 36 あなたは、ふだん、自宅や学習塾などで学校の宿題をしていますか。
(あてはまる番号1つに○)

宿題への対応状況については、小学5年生全体では「している」の割合が71.8%、中学2年生全体では69.9%となっている。一方、「あまりしていない」「まったくしていない」の合計は、小学5年生全体では14.1%、中学2年生全体では12.8%となっている。

生活困難度別にみた『していない(合計)』の割合は、小学5年生の生活困窮層で17.7%、中学2年生で17.4%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「している」が 5 名、「まったくしていない」が 1 名となっている。

問35 学校の宿題をしているか	回答割合(%)	回答件数
している	83.3	5
どちらかといえばしている	0.0	0
あまりしていない	0.0	0
まったくしていない	16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「している」が 7 名、「どちらかといえばしている」「あまりしていない」が各 1 名となっている。

問35 学校の宿題をしているか	回答割合(%)	回答件数
している	70.0	7
どちらかといえばしている	10.0	1
あまりしていない	10.0	1
まったくしていない	0.0	0
無回答	10.0	1
全体	100.0	10

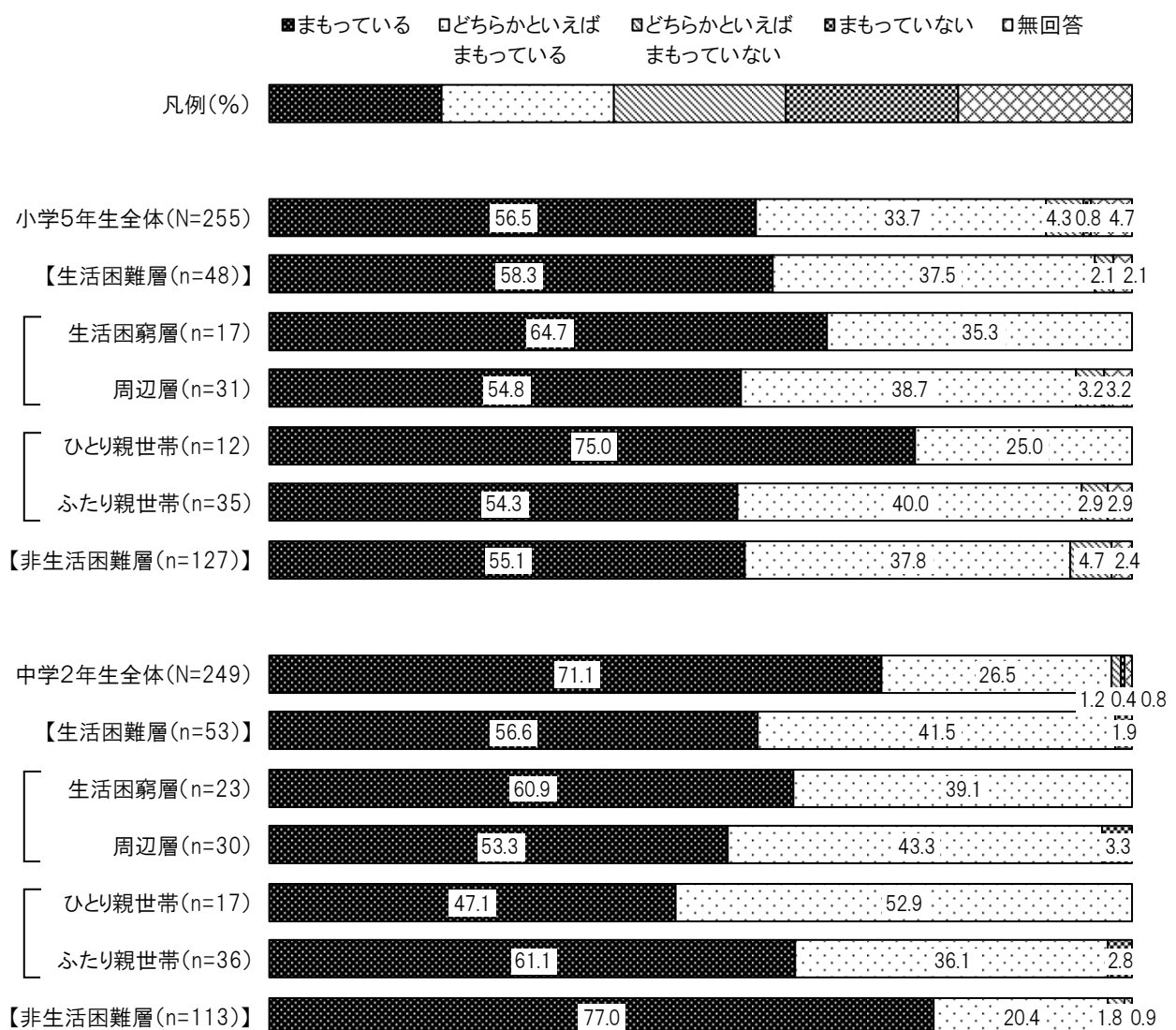
(7) 学校規則の遵守状況

子／問 37 あなたは、ふだん、学校の規則をまもっていますか。
(あてはまる番号1つに○)

学校規則の遵守状況については、小学5年生全体では「まもっている」の割合が56.5%、中学2年生全体では71.1%となっている。一方、「どちらかといえばまもっていない」「まもっていない」の合計は、小学5年生全体では5.1%、中学2年生全体では1.6%となっている。

生活困難度別にみた「まもっている」の割合は、小学5年生の生活困窮層で64.7%、中学2年生で60.9%となっており、生活困難度が高い層ほど増える傾向にある。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のひとり親世帯で「まもっている」の割合がふたり親世帯に比べて低くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者6名中「まもっている」「どちらかといえばまもっている」が各3名となっている。

問36 学校の規則遵守	回答割合(%)	回答件数
まもっている	 50.0	3
どちらかといえばまもっている	 50.0	3
どちらかといえばまもっていない	0.0	0
まもっていない	0.0	0
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者10名中「まもっている」が7名、「どちらかといえばまもっている」「どちらかといえばまもっていない」が各1名となっている。

問36 学校の規則遵守	回答割合(%)	回答件数
まもっている	 70.0	7
どちらかといえばまもっている	 10.0	1
どちらかといえばまもっていない	 10.0	1
まもっていない	0.0	0
無回答	 10.0	1
全体	100.0	10

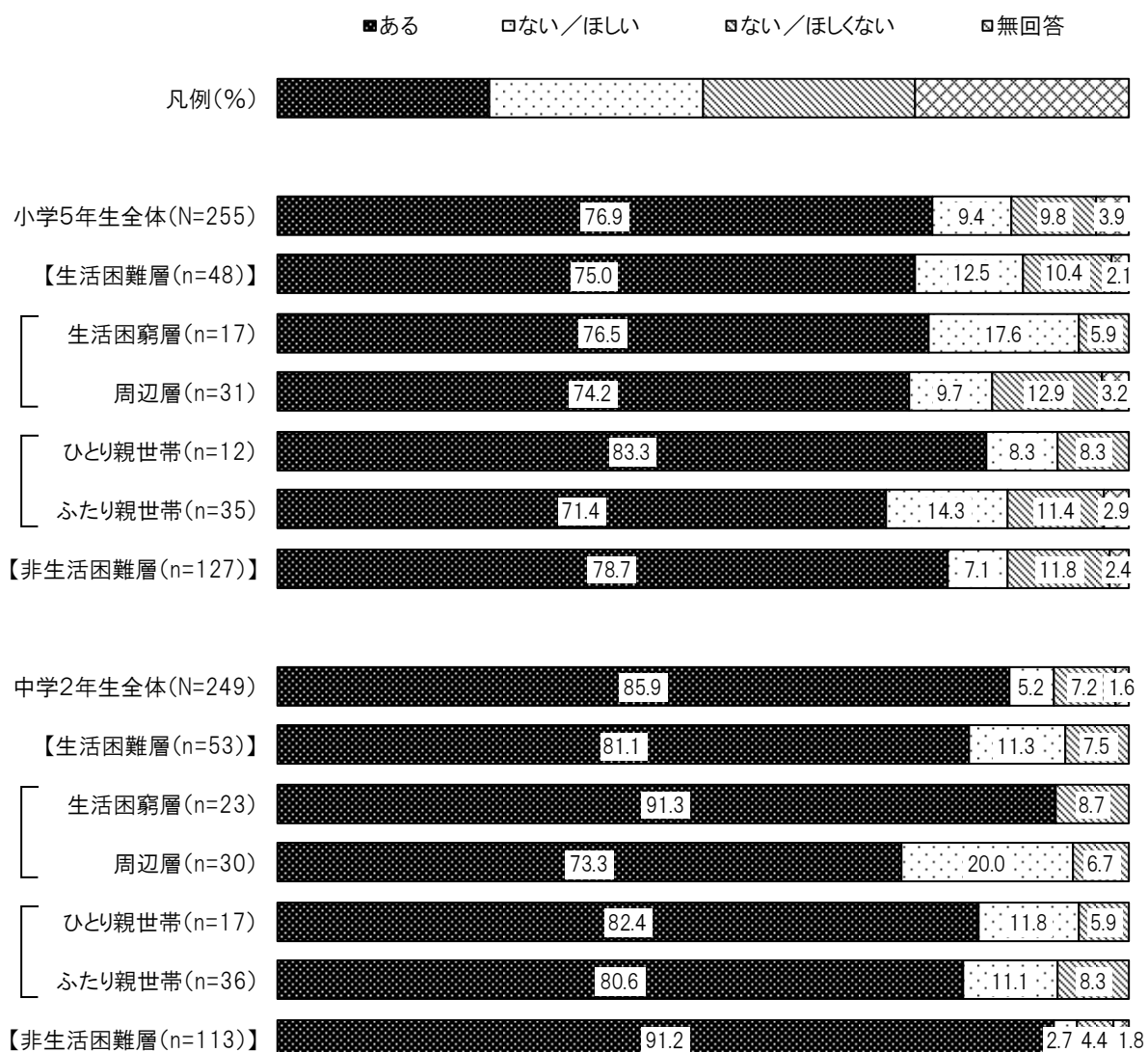
【6】学習環境

子／問4 あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）（再掲）

自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で17.6%、周辺層で9.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。中学2年生では、周辺層で20.0%となっている。

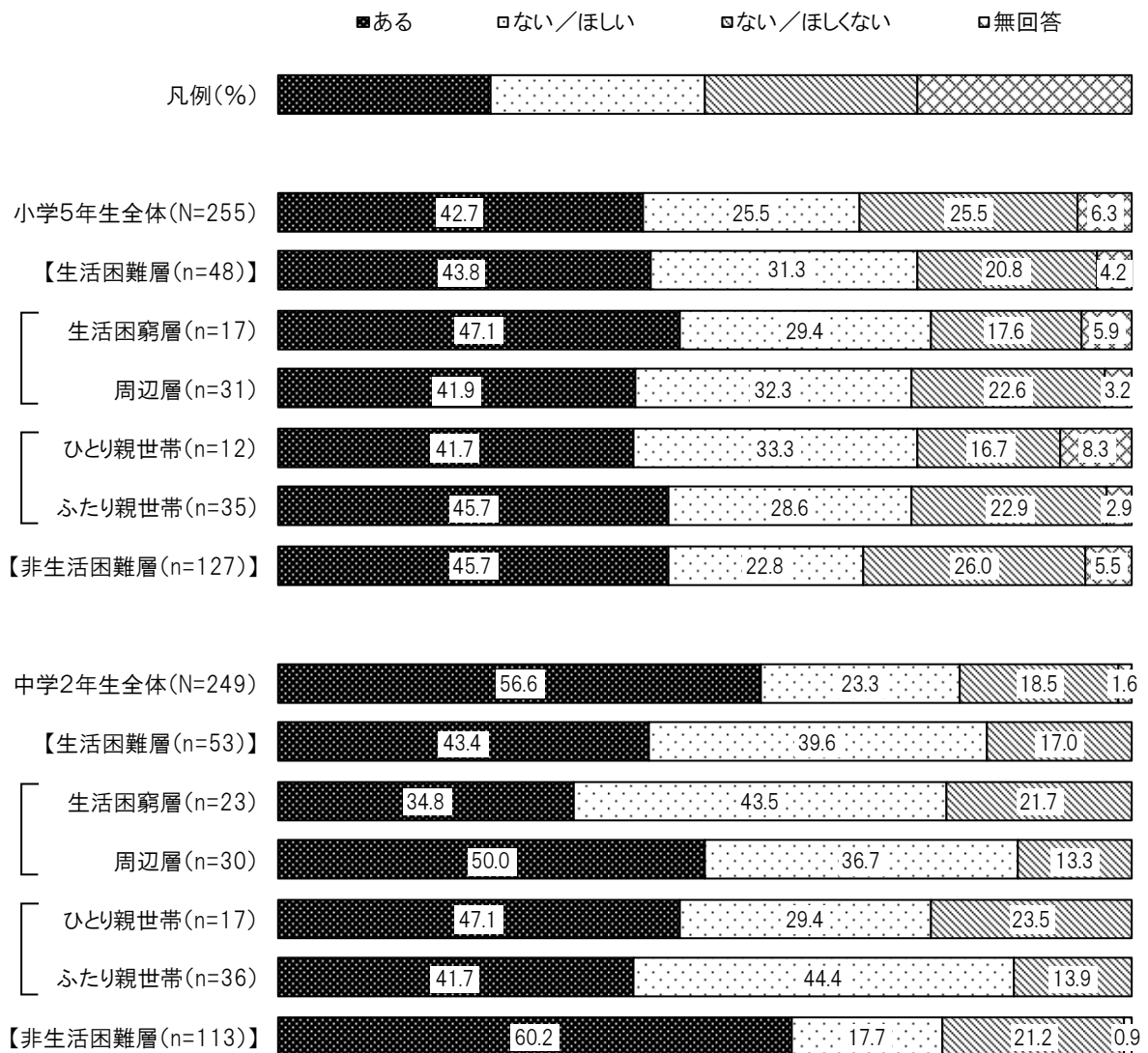
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



C (自宅で) インターネットにつながるパソコン (再掲)

(自宅で) インターネットにつながるパソコンについて「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 29.4%、周辺層で 32.3%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 43.5%、周辺層で 36.7%となっており、生活困窮層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、中学2年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合がひとり親世帯に比べて高くなっている。



D 自宅で宿題をすることができる場所（再掲）

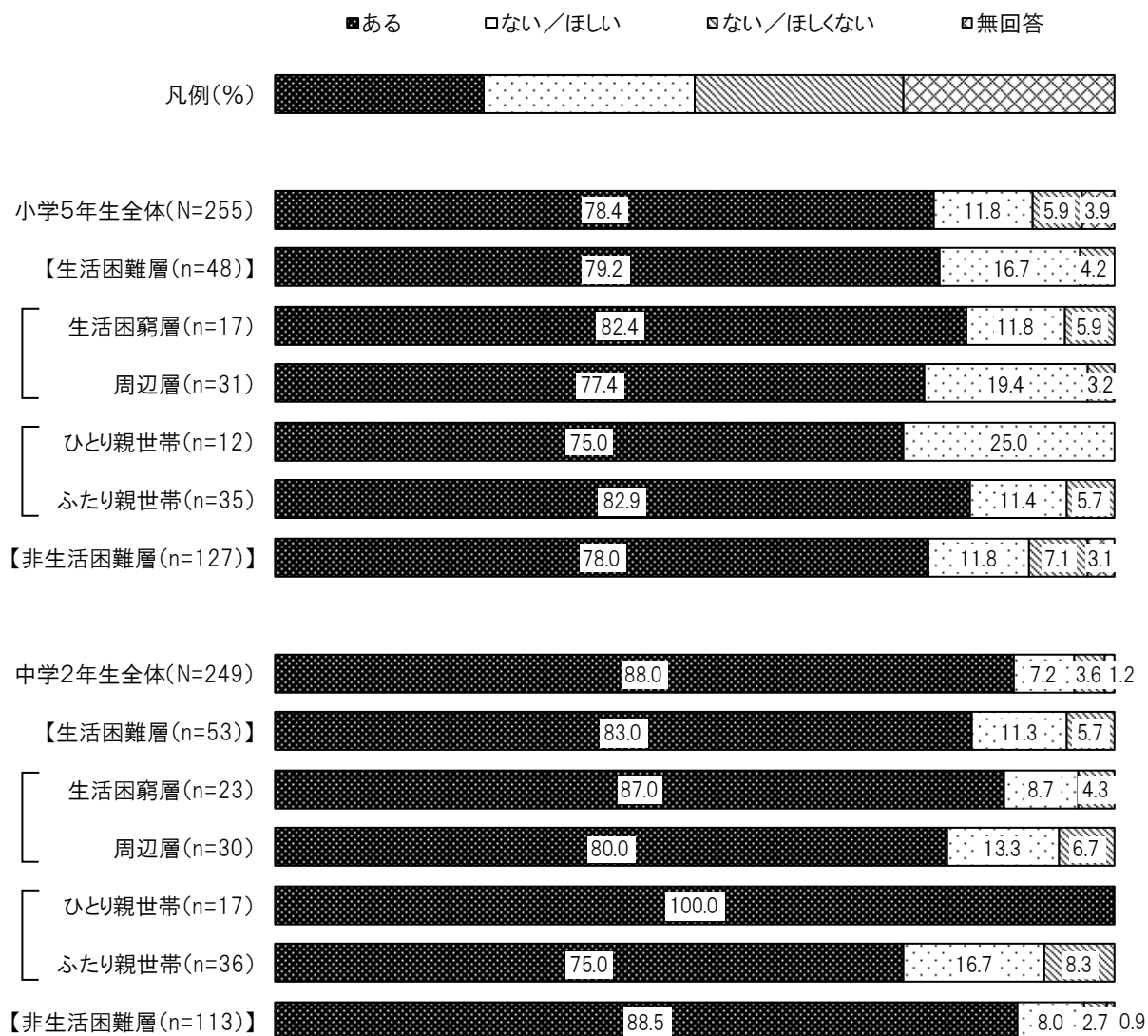
自宅で宿題をすることができる場所について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で5.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で4.3%、周辺層で3.3%となっている。



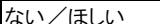
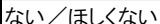
E 自分専用の勉強机（再掲）

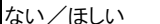
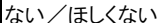
自分専用の勉強机について「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で11.8%、周辺層で19.4%となっており、周辺層で高くなっている。中学2年生では、生活困窮層で8.7%、周辺層で13.3%となっている。

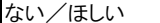
生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯、中学2年生のふたり親世帯で「ない／ほしい」の割合が他の層に比べて高くなっている。

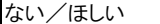
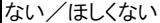


【児童扶養手当受給者調査の結果】（再掲）
（小学生）

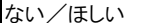
問3 使うことができるもの／A 教科書・マンガ以外の自分だけの本	回答割合(%)	回答件数
ある	 66.7	4
ない／ほしい	 16.7	1
ない／ほしくない	 16.7	1
全体	100.0	6

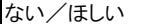
問3 使うことができるもの／C 自宅でインターネットにつながるパソコン	回答割合(%)	回答件数
ある	 16.7	1
ない／ほしい	 66.7	4
ない／ほしくない	 16.7	1
全体	100.0	6

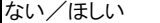
問3 使うことができるもの／D 自宅で宿題をすることができる場所	回答割合(%)	回答件数
ある	 83.3	5
ない／ほしい	 16.7	1
ない／ほしくない	0.0	0
全体	100.0	6

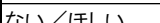
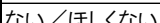
問3 使うことができるもの／E 自分専用の勉強机	回答割合(%)	回答件数
ある	 66.7	4
ない／ほしい	 16.7	1
ない／ほしくない	 16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

問3 使うことができるもの／A 教科書・マンガ以外の自分だけの本	回答割合(%)	回答件数
ある	 90.0	9
ない／ほしい	 10.0	1
ない／ほしくない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問3 使うことができるもの／C 自宅でインターネットにつながるパソコン	回答割合(%)	回答件数
ある	 20.0	2
ない／ほしい	 70.0	7
ない／ほしくない	0.0	0
無回答	 10.0	1
全体	100.0	10

問3 使うことができるもの／D 自宅で宿題をすることができる場所	回答割合(%)	回答件数
ある	 80.0	8
ない／ほしい	 20.0	2
ない／ほしくない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

問3 使うことができるもの／E 自分専用の勉強机	回答割合(%)	回答件数
ある	 60.0	6
ない／ほしい	 30.0	3
ない／ほしくない	 10.0	1
無回答	0.0	0
全体	100.0	10

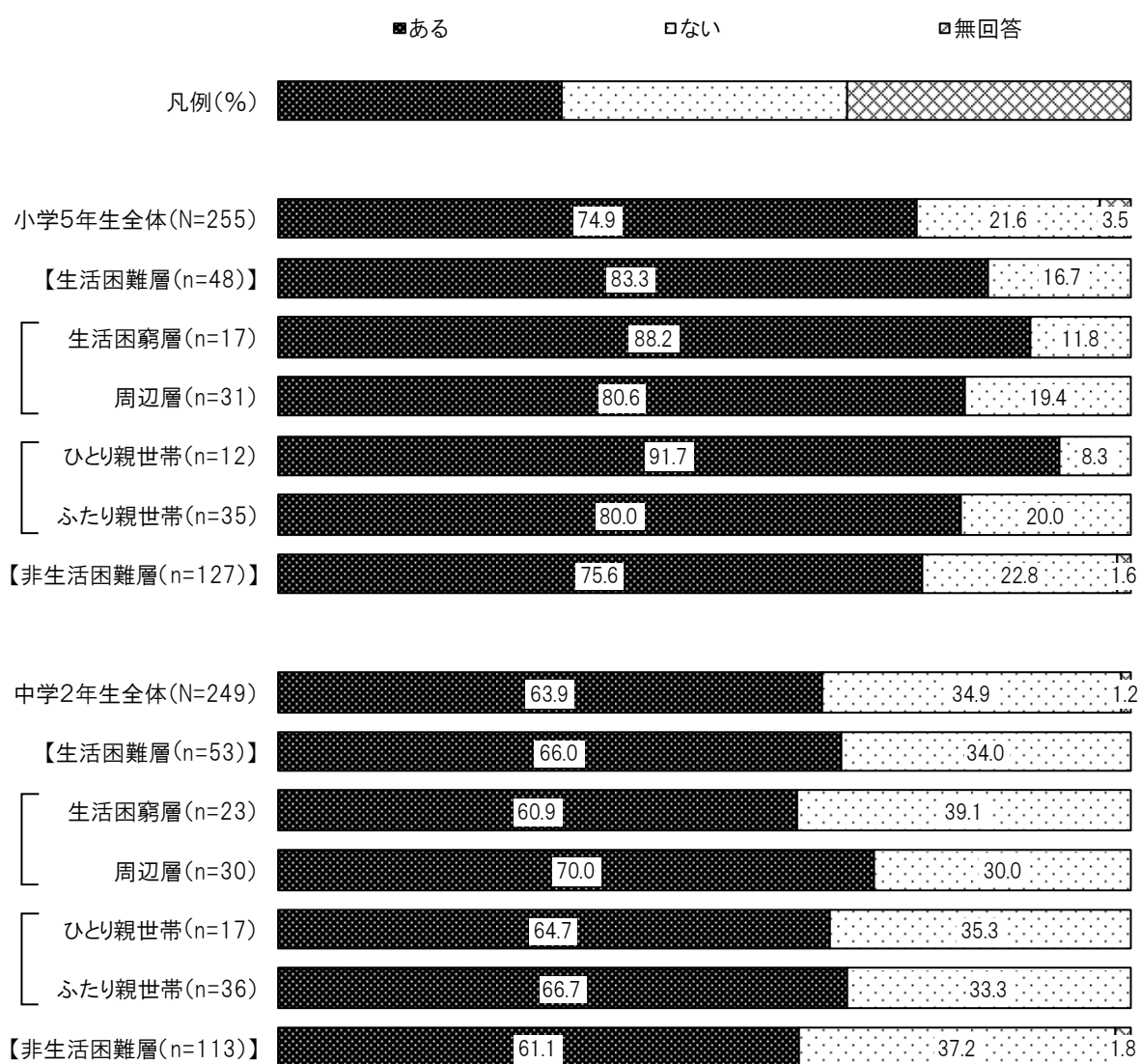
【7】将来の夢

（１）夢の有無と夢がない理由

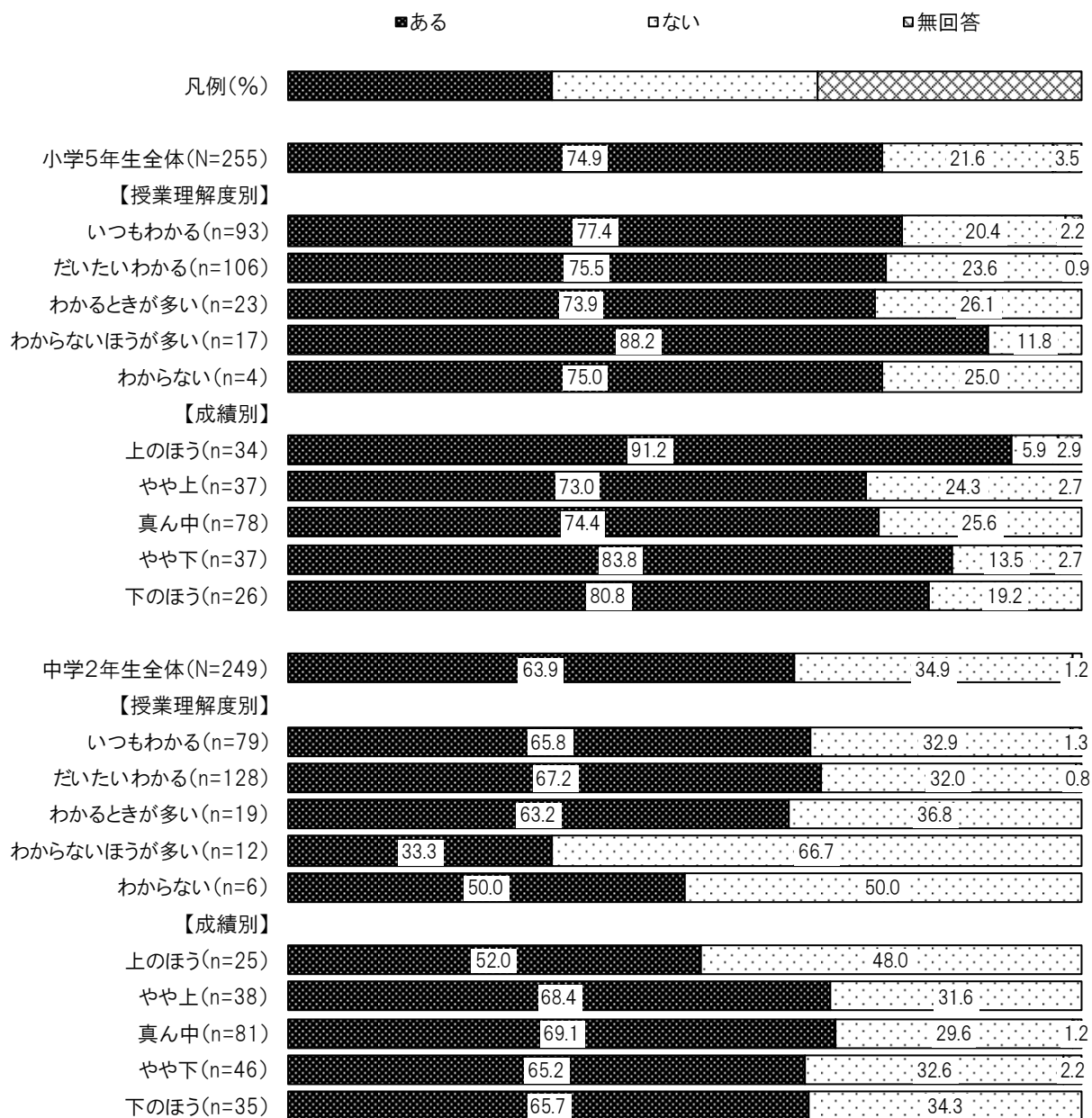
子／問5 あなたには、将来の夢やつきたい職業がありますか。
（あてはまる番号１つに○）

将来の夢やつきたい職業については、小学5年生全体では「ある」が74.9%、中学2年生全体では63.9%となっている。一方、「ない」は、小学5年生全体では21.6%、中学2年生全体では34.9%となっている。

生活困難度別にみた「ない」の割合は、小学5年生の生活困窮層で11.8%、中学2年生で39.1%となっており、中学2年生の生活困窮層で高くなっている。



授業理解度別（問 28）でみると、中学 2 年生の「わからないほうが多い」では「ある」の割合が低くなっており、成績別（問 30）では、小学 5 年生の「上のほう」で「ある」の割合が 9 割以上となっている。



注：件数(n)が 10 未満の項目については、参考値として参照

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者6名中「ある」「ない」が各3名となっている。

問4 将来の夢の有無	回答割合(%)	回答件数
ある	 50.0	3
ない	 50.0	3
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者10名中「ある」が7名、「ない」が3名となっている。

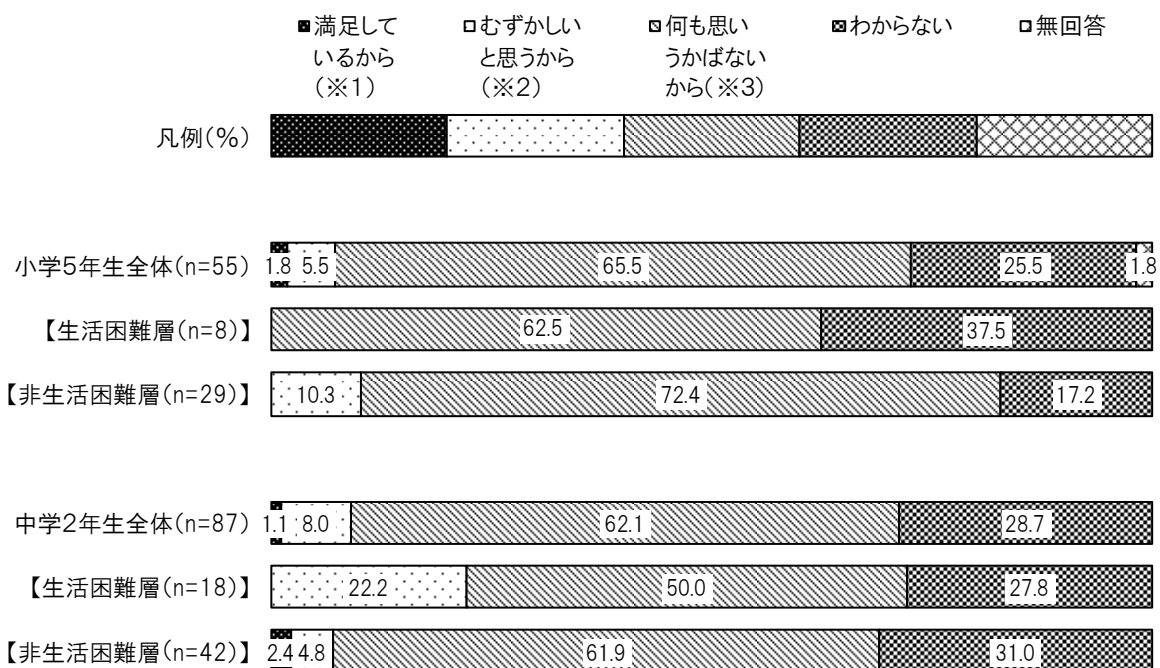
問4 将来の夢の有無	回答割合(%)	回答件数
ある	 70.0	7
ない	 30.0	3
全体	100.0	10

【将来の夢やつきたい職業が「2ない」と答えた人におききします。】

子／問5-2 夢やつきたい職業がない理由は何ですか。（あてはまる番号1つに○）

夢やつきたい職業がない理由については、「具体的に、何も思いうかばないから」が小学5年生全体で65.5%、中学2年生全体で62.1%となっており、「夢をかなえるのはむずかしいと思うから」が小学5年生全体で5.5%、中学2年生全体で8.0%となっている。

生活困難度別にみると、中学2年生の生活困難層で「夢をかなえるのはむずかしいと思うから」の割合が非生活困難層に比べて高くなっている。



※1:もうすべてに満足しているから

※2:夢をかなえるのはむずかしいと思うから

※3:具体的に、何も思いうかばないから

注:小学5年生の生活困難層については、件数(n=)が少ないため参考値として参照

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 3 名中「夢をかなえるのはむずかしいと思うから」「具体的に、何も思いうかばないから」「わからない」が各 1 名となっている。

問4ー2 将来の夢がない理由	回答割合(%)	回答件数
もうすべてに満足しているから	0.0	0
夢をかなえるのはむずかしいと思うから	 33.3	1
具体的に、何も思いうかばないから	 33.3	1
わからない	 33.3	1
全体	100.0	3

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 3 名（全員）が「具体的に、何も思いうかばないから」と回答している。

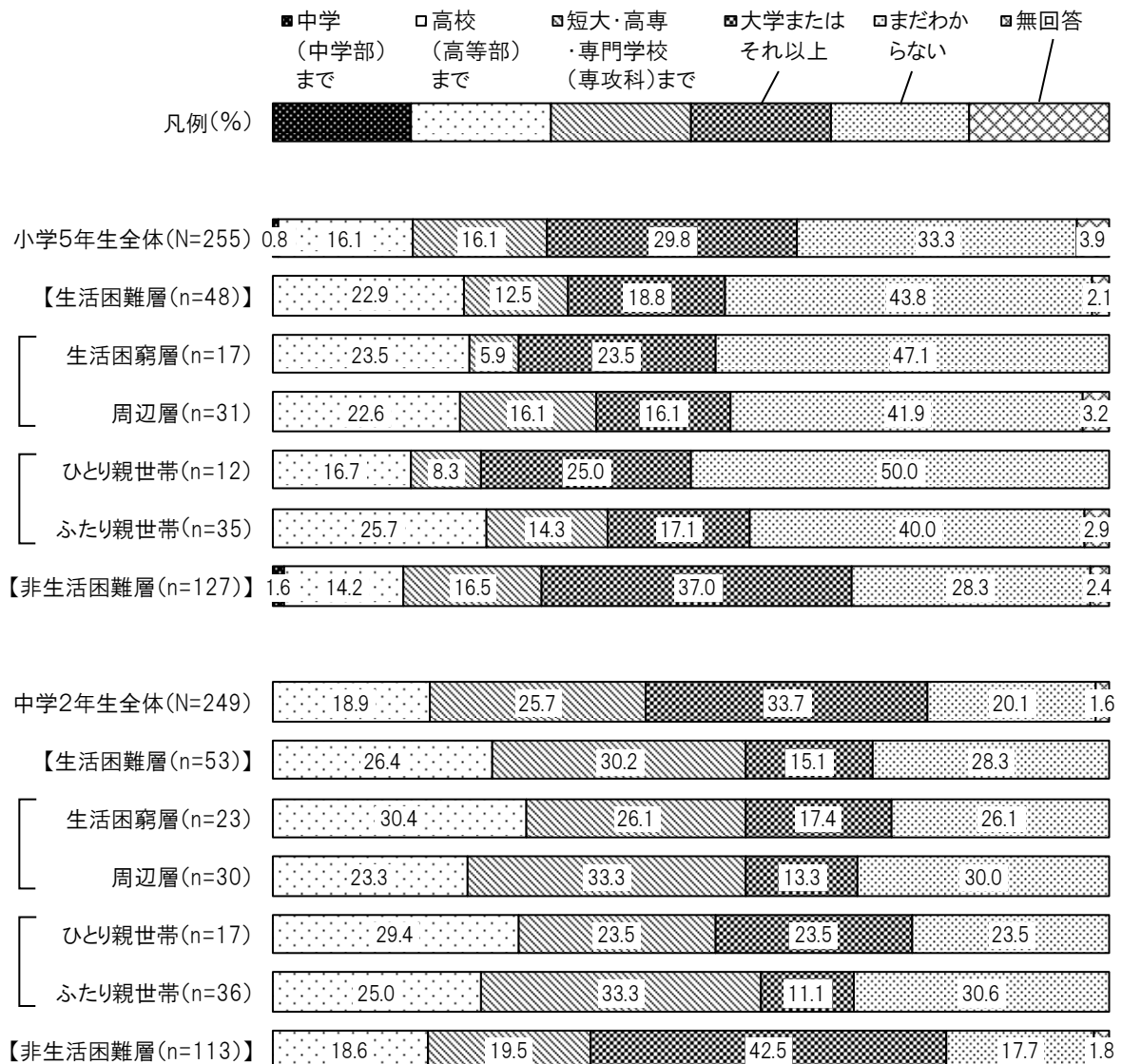
(2) 将来の進学希望

子／問5-3 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。
 あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。
 (あてはまる番号1つに○)

将来の進学希望については、「大学またはそれ以上」が小学5年生全体で29.8%、中学2年生全体で33.7%、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が小学5年生全体で16.1%、中学2年生全体で25.7%、「高校(高等部)まで」が小学5年生全体で16.1%、中学2年生全体で18.9%となっている。

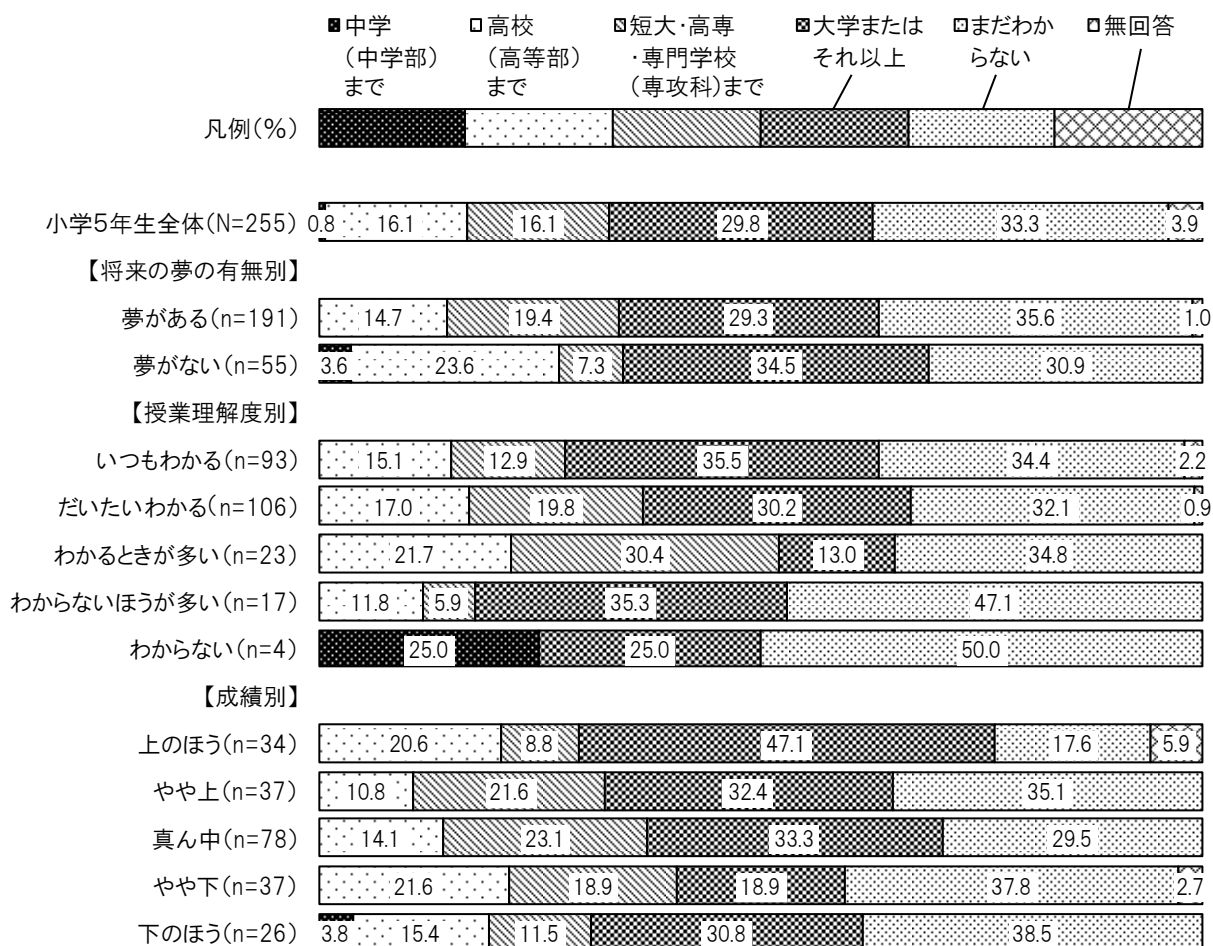
生活困難度別にみた「大学またはそれ以上」の割合は、小学5年生の生活困窮層で23.5%、中学2年生で17.4%となっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生、中学2年生ともに、ひとり親世帯で「大学またはそれ以上」の割合がふたり親世帯に比べて高くなっている。



小学5年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がない層では、夢がある層に比べ「高校（高等部）まで」が高くなっている。

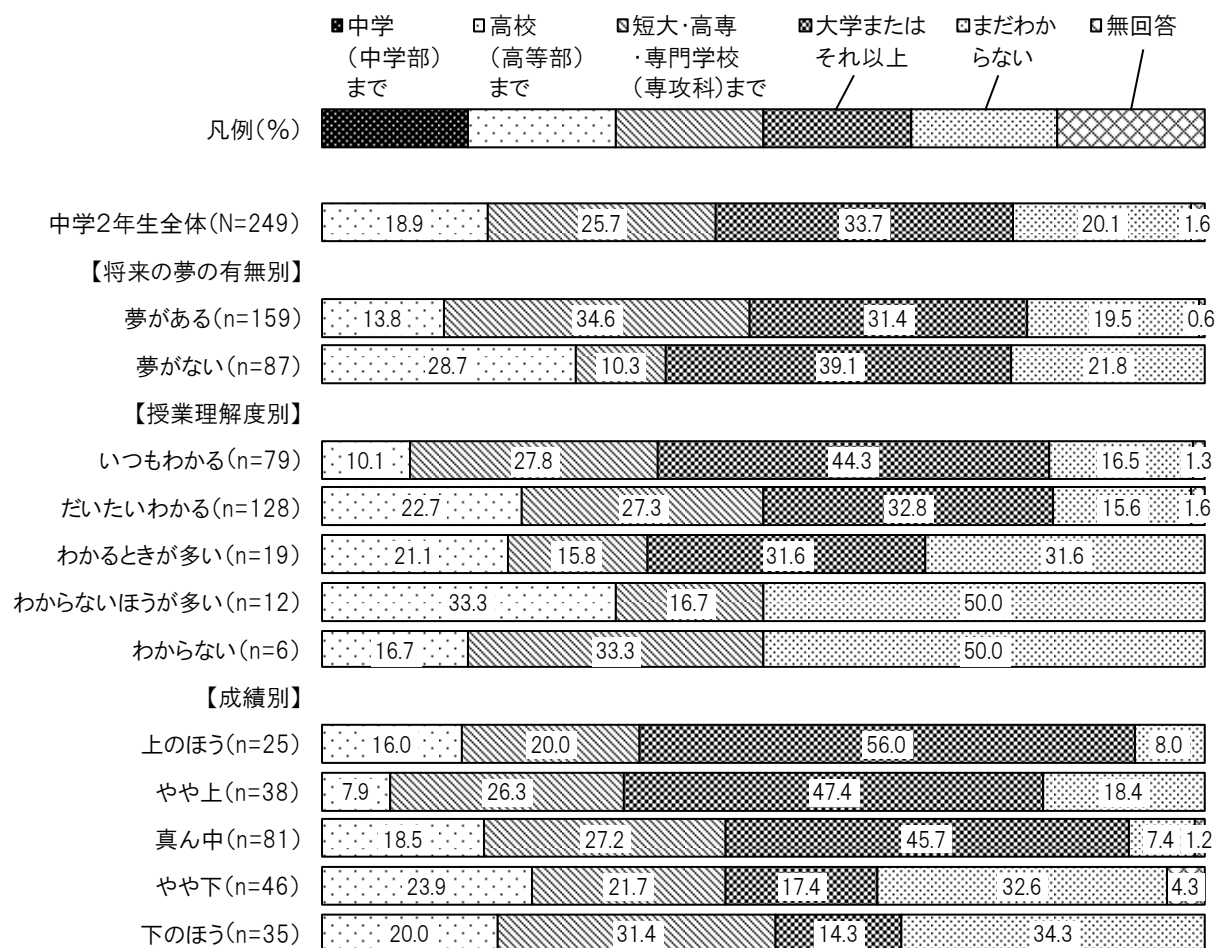
授業理解度別（問28）では、理解度が高い層ほど、成績別（問30）では成績が「上のほう」で「大学またはそれ以上」の割合がそれぞれ高い傾向にある。



注：件数(n)が10未満の項目については、参考値として参照

中学2年生について将来の夢の有無別（問5）でみると、夢がない層では、夢がある層に比べ「高校（高等部）まで」の割合が高くなっている。

授業理解度別（問28）では、理解度が高い層ほど、成績別（問30）では成績が上の層ほど「大学またはそれ以上」の割合がそれぞれ高い傾向にある。



注：件数(n)が10未満の項目については、参考値として参照

【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 6 名中「まだわからない」が 4 名、「高校（高等部）まで」「大学またはそれ以上」が各 1 名となっている。

問4-3 進学したい段階	回答割合(%)	回答件数
中学(中学部)まで	0.0	0
高校(高等部)まで	16.7	1
短大・高専・専門学校(専攻科)まで	0.0	0
大学またはそれ以上	16.7	1
まだわからない	66.7	4
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者においては、回答者 10 名中「まだわからない」が 5 名、「高校（高等部）まで」「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」が各 2 名となっている。

問4-3 進学したい段階	回答割合(%)	回答件数
中学(中学部)まで	0.0	0
高校(高等部)まで	20.0	2
短大・高専・専門学校(専攻科)まで	20.0	2
大学またはそれ以上	10.0	1
まだわからない	50.0	5
全体	100.0	10

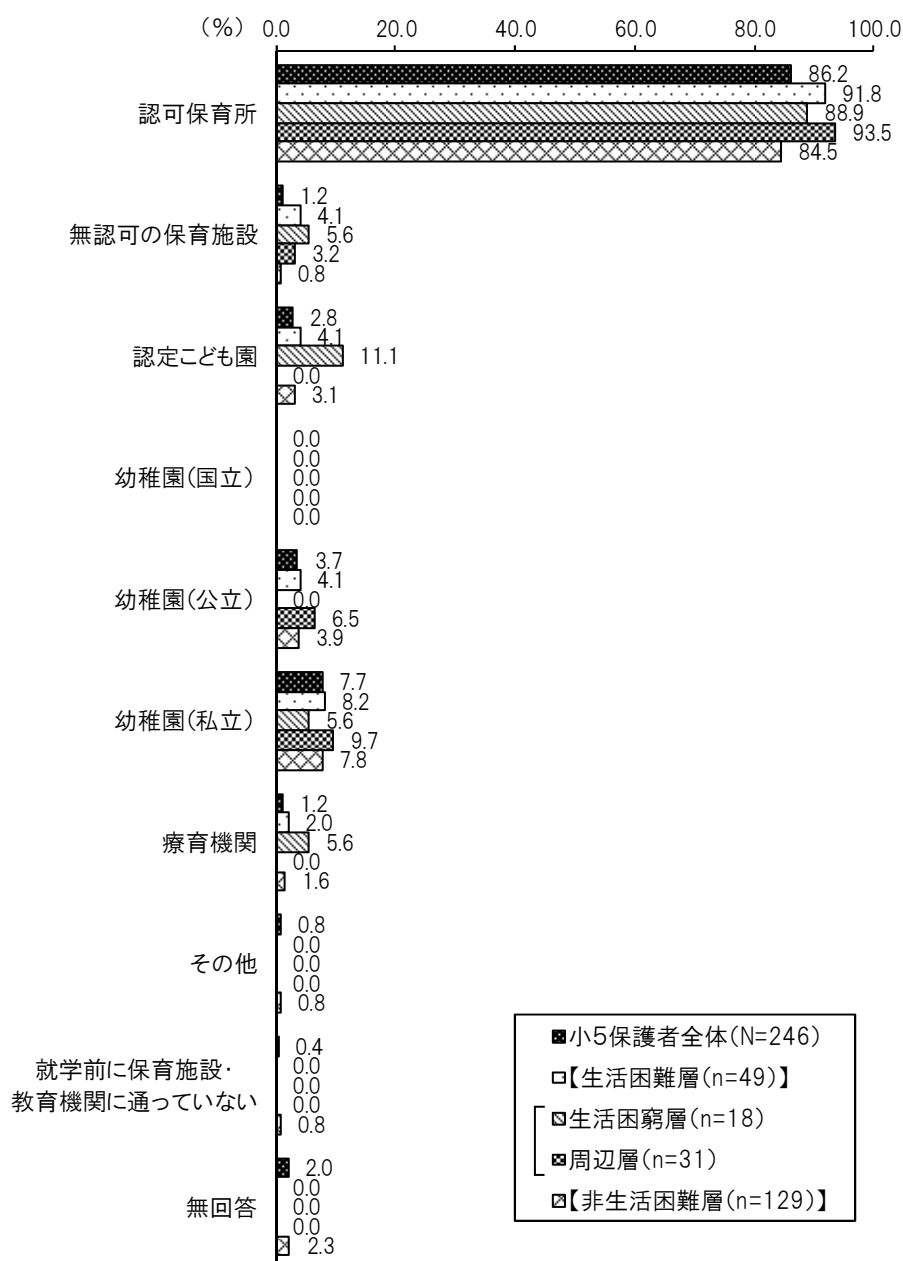
【8】子供の教育

（１）子供がこれまでに通った保育・教育機関

保／問 12 お子さんが就学前に通ったことのある保育施設・教育機関をすべてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

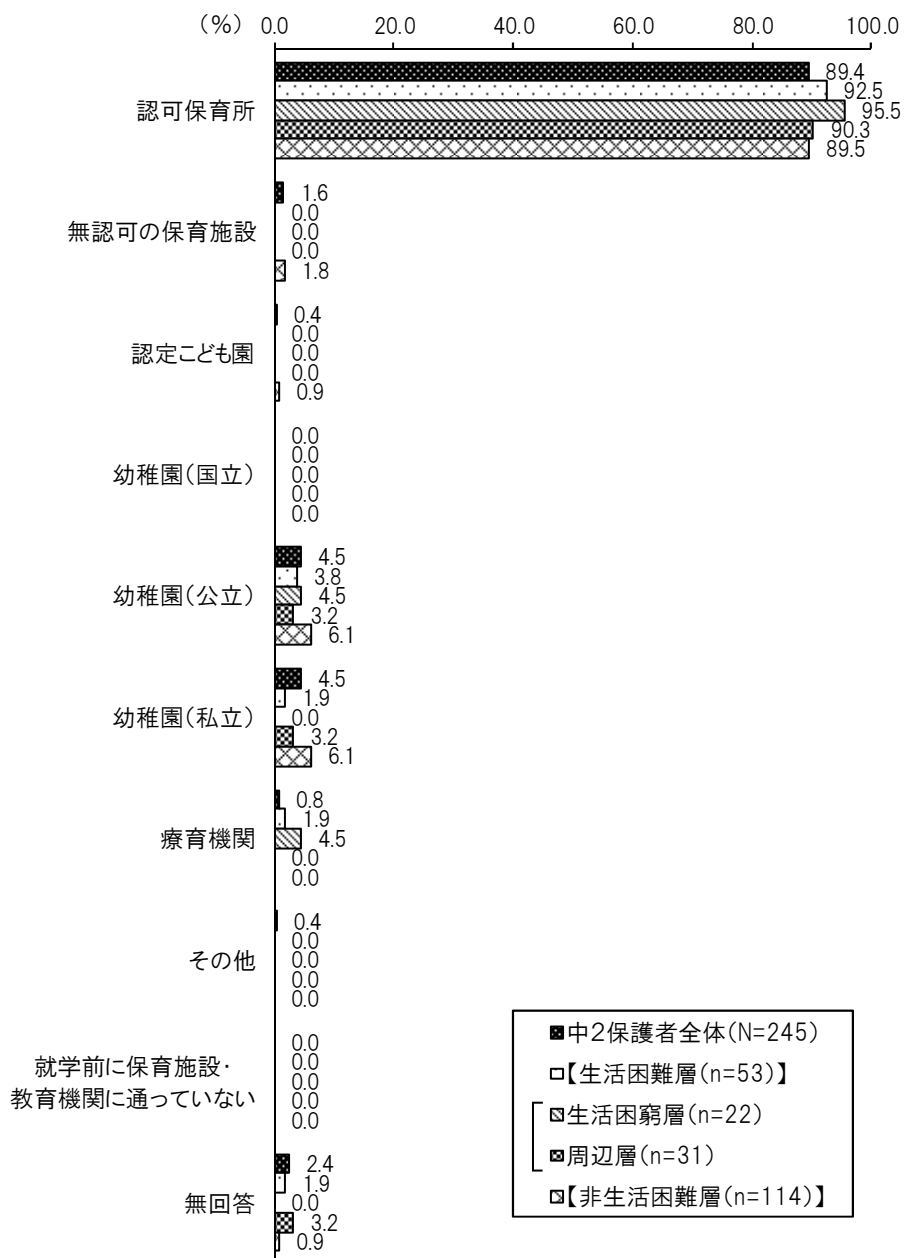
これまでに通った保育・教育機関について、小学5年保護者全体では「認可保育所」が86.2%と最も高く、次いで「幼稚園（私立）」（7.7%）、「幼稚園（公立）」（3.7%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「認定こども園」などの割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「認可保育所」が89.4%と最も高く、次いで「幼稚園（公立）」「幼稚園（私立）」（各4.5%）となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「認可保育所」などの割合がやや高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「認可保育所」が約 9 割を占めている。

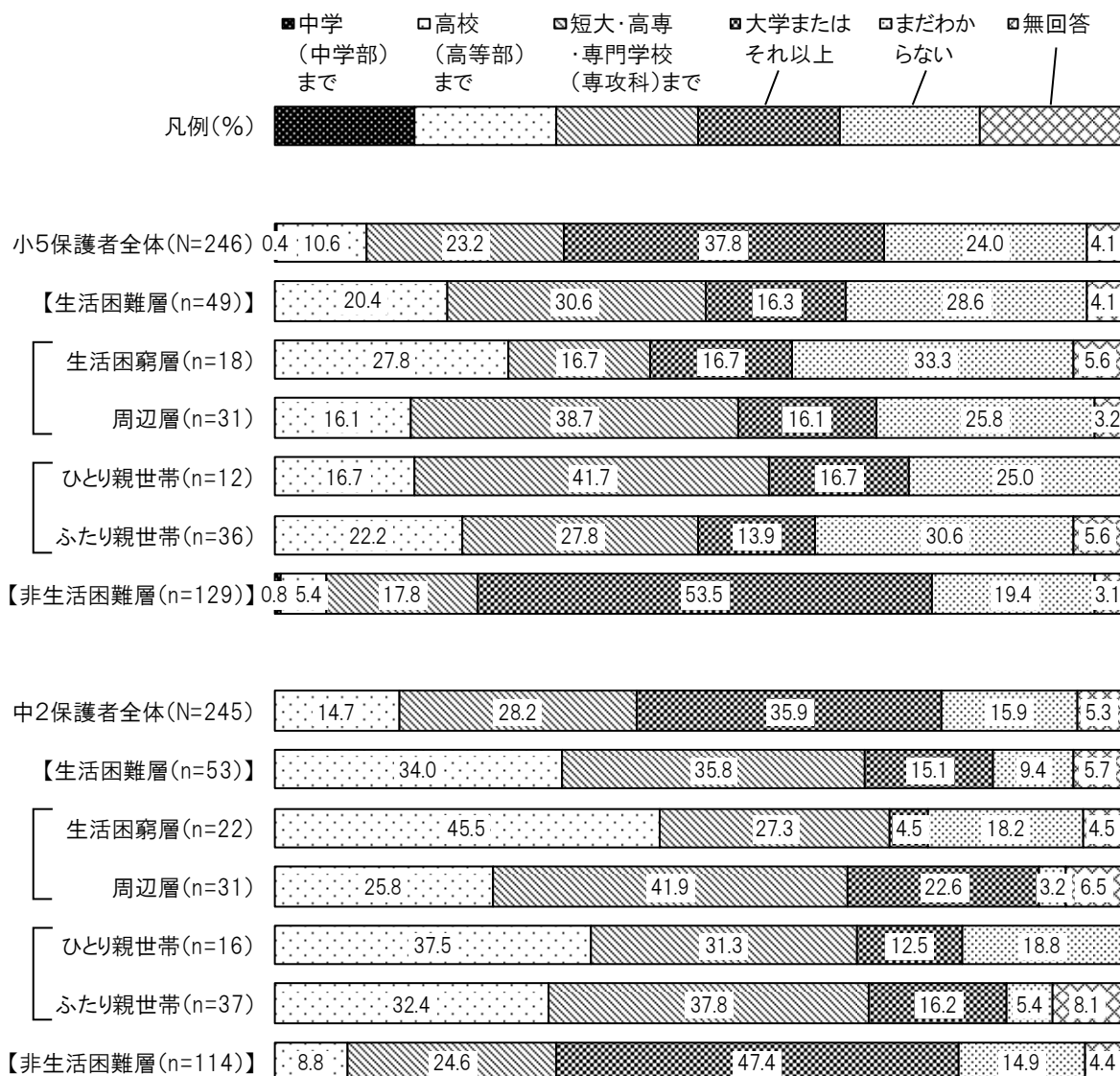
問11 子供が就学前に通ったことのある保育施設・教育機関	回答割合(%)	回答件数
認可保育所	91.8	45
無認可の保育施設	10.2	5
幼稚園(公立)	6.1	3
認定こども園	2.0	1
療育機関	2.0	1
幼稚園(国立)	0.0	0
幼稚園(私立)	0.0	0
その他	2.0	1
就学前に保育施設・教育機関に通っていない	2.0	1
無回答	0.0	0
全体	100.0	49

(2) 子供に受けさせたい教育レベルとその理由

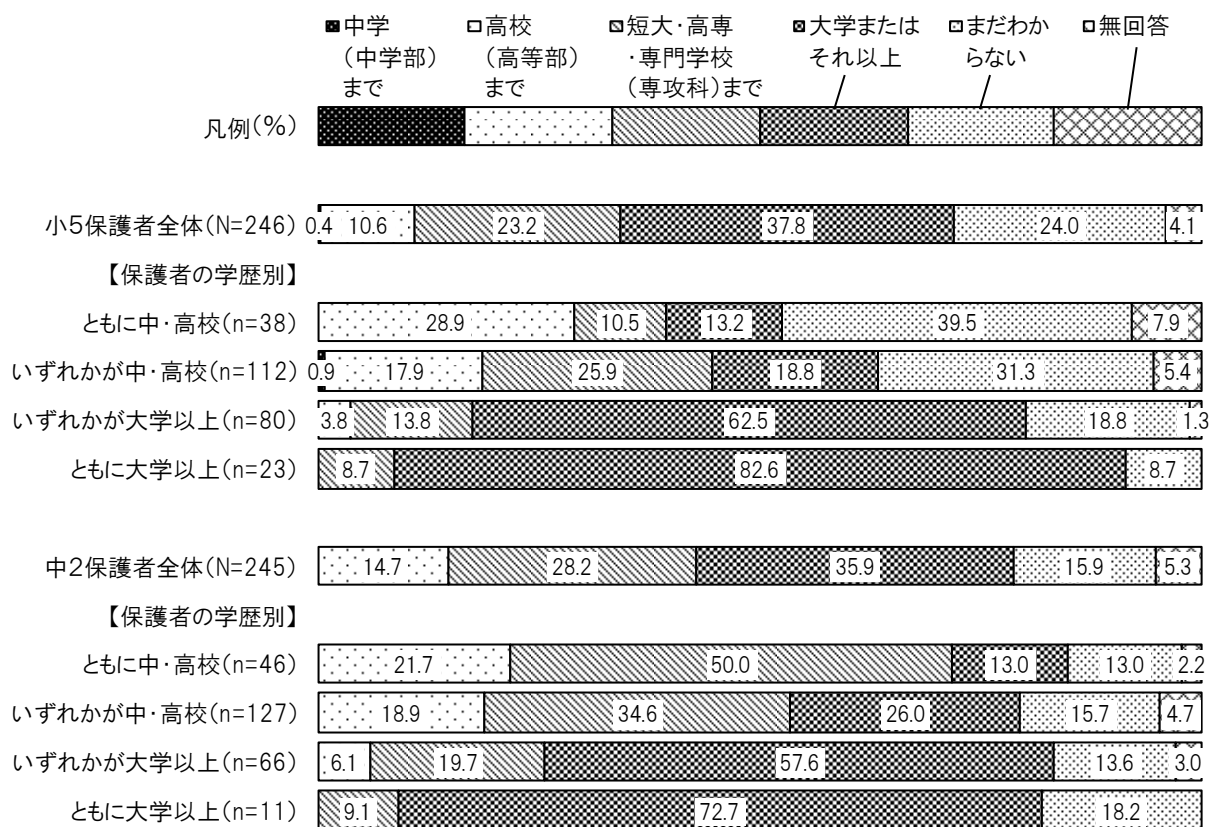
保／問 13 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

子供に受けさせたい教育レベルについては、「大学またはそれ以上」が小学5年保護者全体で37.8%、中学2年保護者全体で35.9%、「短大・高専・専門学校(専攻科)まで」が小学5年保護者全体で23.2%、中学2年保護者全体で28.2%、「高校(高等部)まで」が小学5年保護者全体で10.6%、中学2年保護者全体で14.7%となっている。

生活困難度別にみた「大学またはそれ以上」の割合は、小学5年保護者の生活困窮層で16.7%、中学2年保護者で4.5%となっており、中学2年保護者の生活困窮層で低くなっている。



保護者の学歴別（問 36・問 37）でみると、小学5年保護者、中学2年保護者ともに、「ともに中・高校」「いずれかが中・高校」では他の層に比べ「高校（高等部）まで」「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が高く、「いずれかが大学以上」「ともに大学以上」では「大学またはそれ以上」の割合が高い傾向にある。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「高校（高等部）まで」が3割近くを占めている。

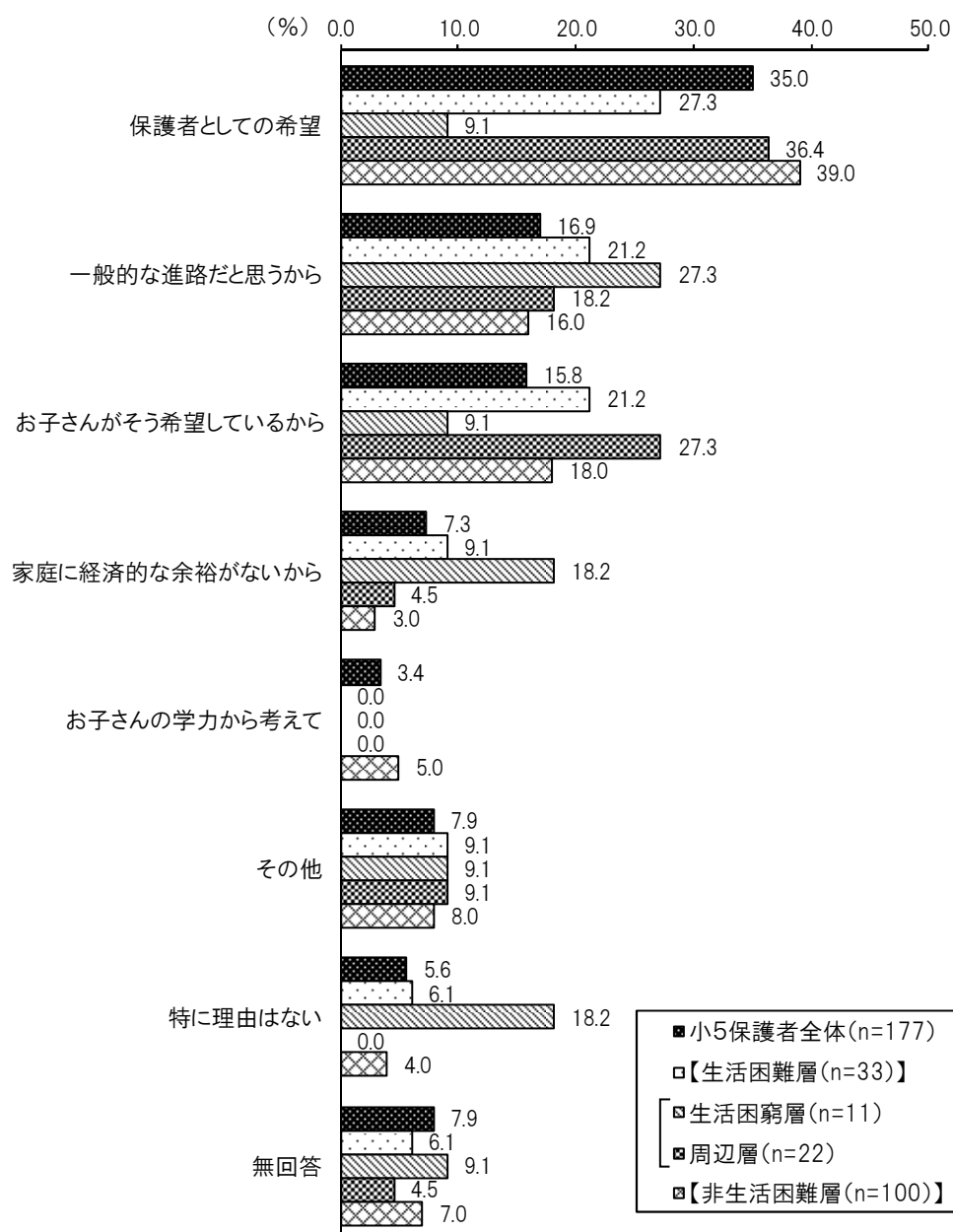
問12 子供に受けさせたい教育段階	回答割合(%)	回答件数
中学(中学部)まで	0.0	0
高校(高等部)まで	28.6	14
短大・高専・専門学校(専攻科)まで	22.4	11
大学またはそれ以上	22.4	11
まだわからない	24.5	12
無回答	2.0	1
全体	100.0	49

【問 13 で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 13-1 その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。
(あてはまる番号1つに○)

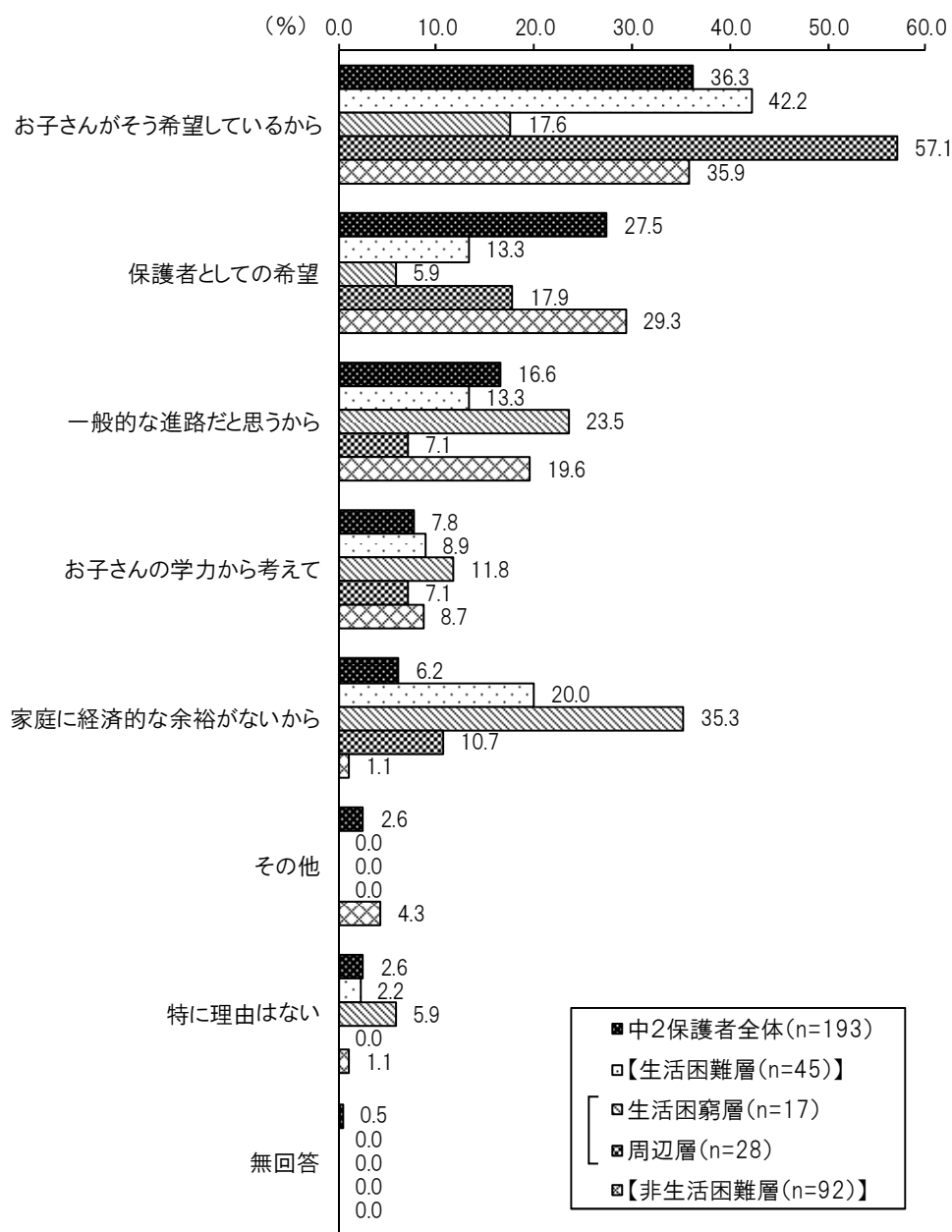
子供に受けさせたい教育レベルについて、小学5年保護者全体では「保護者としての希望」が 35.0%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」(16.9%)、「お子さんがそう希望しているから」(15.8%) の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「保護者としての希望」「お子さんがそう希望しているから」などの割合が低く、「一般的な進路だと思うから」「家庭に経済的な余裕がないから」「特に理由はない」の割合が高くなっている。



中学2年保護者全体では「お子さんがそう希望しているから」が36.3%と最も高く、次いで「保護者としての希望」(27.5%)、「一般的な進路だと思うから」(16.6%)の順となっている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「お子さんがそう希望しているから」「保護者としての希望」の割合が低く、「一般的な進路だと思うから」「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「お子さんがそう希望しているから」が 27.8%と最も高く、次いで「保護者としての希望」「家庭に経済的な余裕がないから」（各 19.4%）となっている。

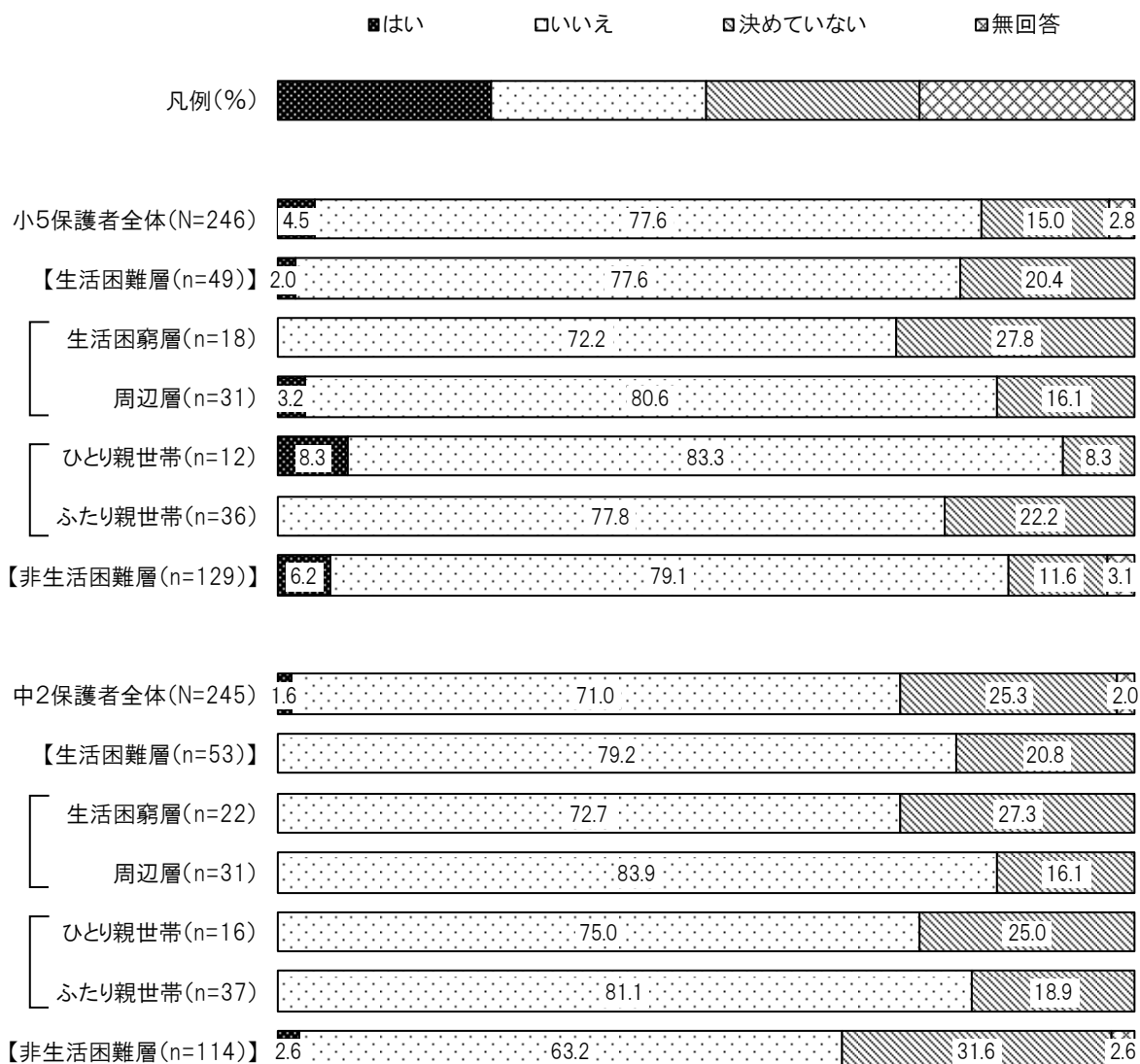
問12-1 子供に受けさせたい教育段階の理由	回答割合(%)	回答件数
お子さんがそう希望しているから	27.8	10
保護者としての希望	19.4	7
家庭に経済的な余裕がないから	19.4	7
一般的な進路だと思うから	11.1	4
お子さんの学力から考えて	8.3	3
その他	2.8	1
特に理由はない	5.6	2
無回答	5.6	2
全体	100.0	36

(3) 私立進学への保護者意向とその理由

保／問 14 お子さんを私立高校※に行かせたいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

※小学生保護者票では「私立中学」

私立進学への保護者意向については、「はい」は小学5年保護者全体で4.5%、中学2年保護者全体で1.6%となっており、「いいえ」は小学5年保護者全体で77.6%、中学2年保護者全体で71.0%となっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

児童扶養手当受給者においては、「いいえ」が約6割を占めており、「はい」は1割程度となっている。

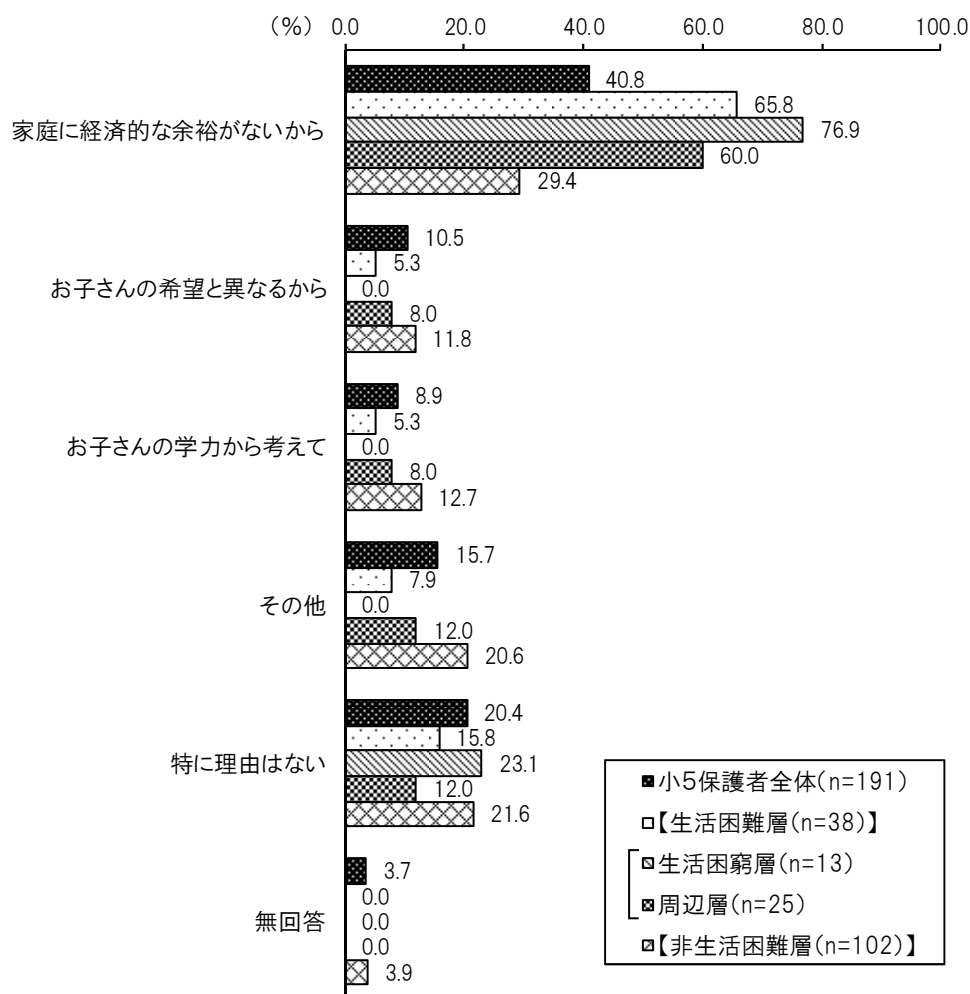
問13 子供の私立中学校又は高等学校への進学希望	回答割合(%)	回答件数
はい	8.2	4
いいえ	61.2	30
決めていない	20.4	10
無回答	10.2	5
全体	100.0	49

【問 14 で「2 いいえ」を選んだ方におうかがいします。】

保／問 14-1 その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。
(あてはまる番号1つに○)

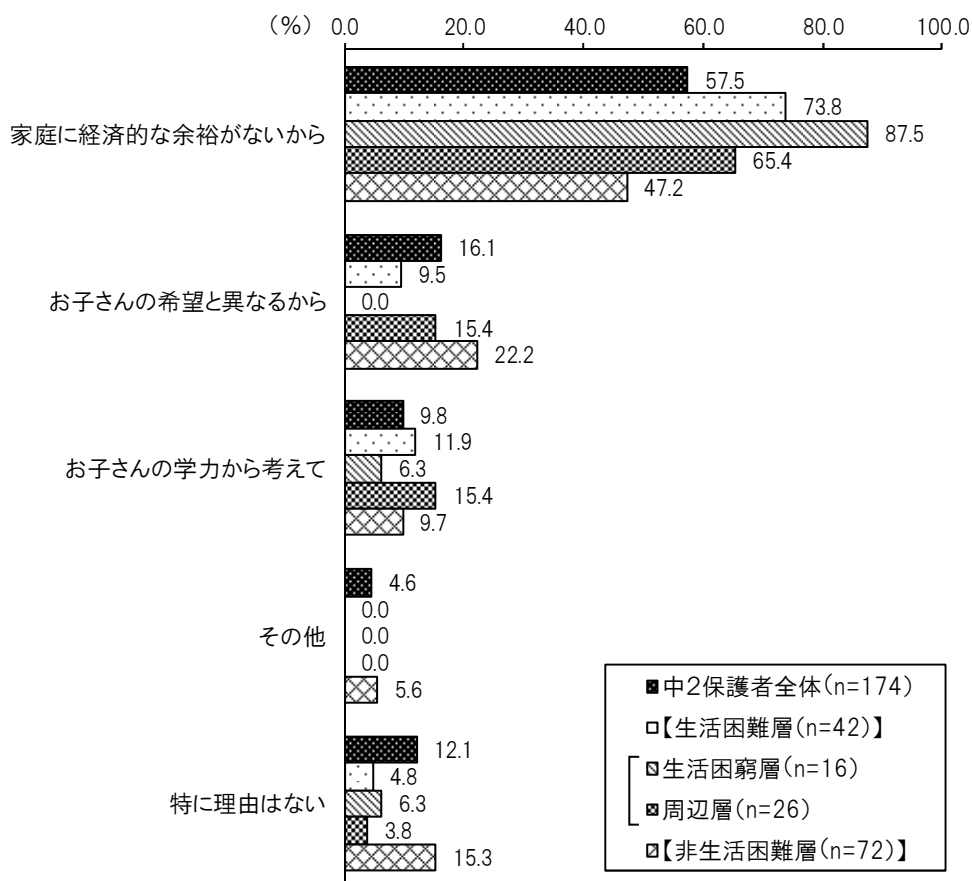
私立進学を希望しない理由について、小学5年保護者全体では「家庭に経済的な余裕がないから」が40.8%と最も高く、次いで「お子さんの希望と異なるから」(10.5%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。



中学2年保護者全体では、「家庭に経済的な余裕がないから」が57.5%と最も高く、次いで「お子さんの希望と異なるから」(16.1%)が続いている。

生活困難度別にみると、生活困窮層は「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が他の層に比べて高くなっている。



【児童扶養手当受給者調査の結果（保護者）】

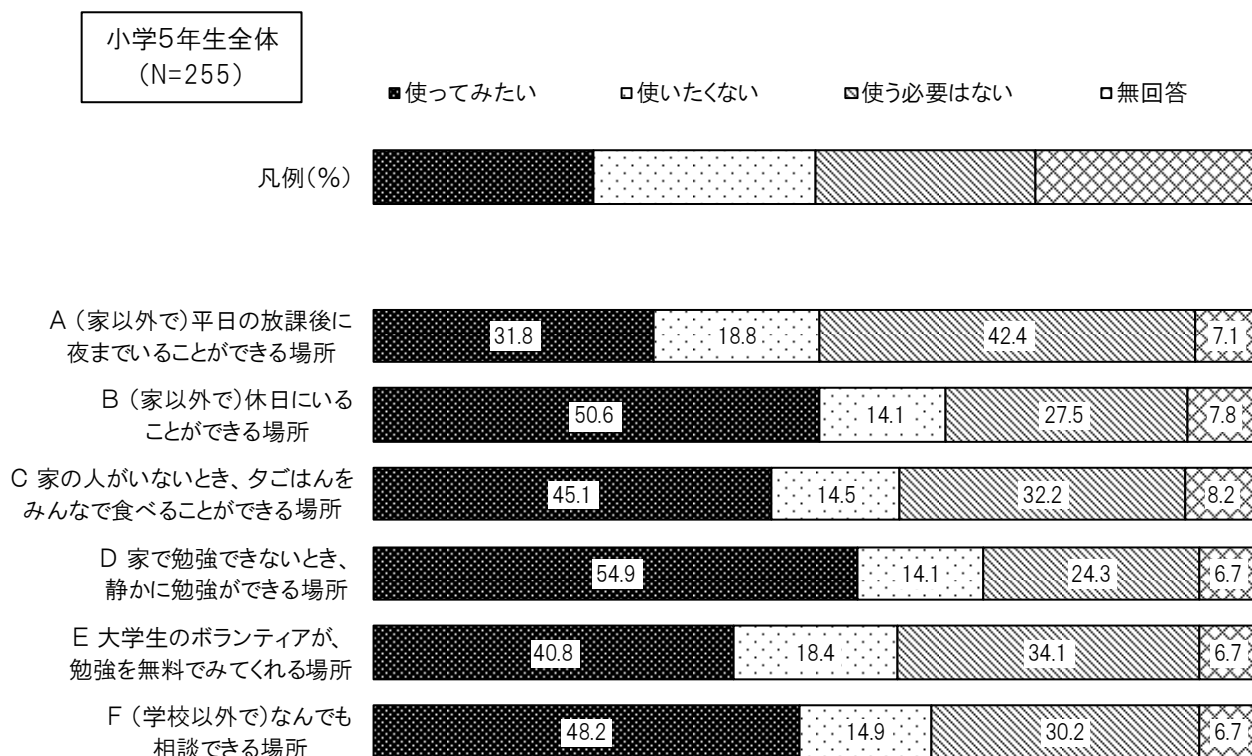
児童扶養手当受給者においては、「家庭に経済的な余裕がないから」が8割を占めている。

問13-1 私立中学校又は高等学校への進学を希望しない理由	回答割合(%)	回答件数
家庭に経済的な余裕がないから	80.0	24
お子さんの希望と異なるから	6.7	2
お子さんの学力から考えて	3.3	1
その他	10.0	3
特に理由はない	0.0	0
無回答	0.0	0
全体	100.0	30

【9】学習関連の支援プログラムの利用意向

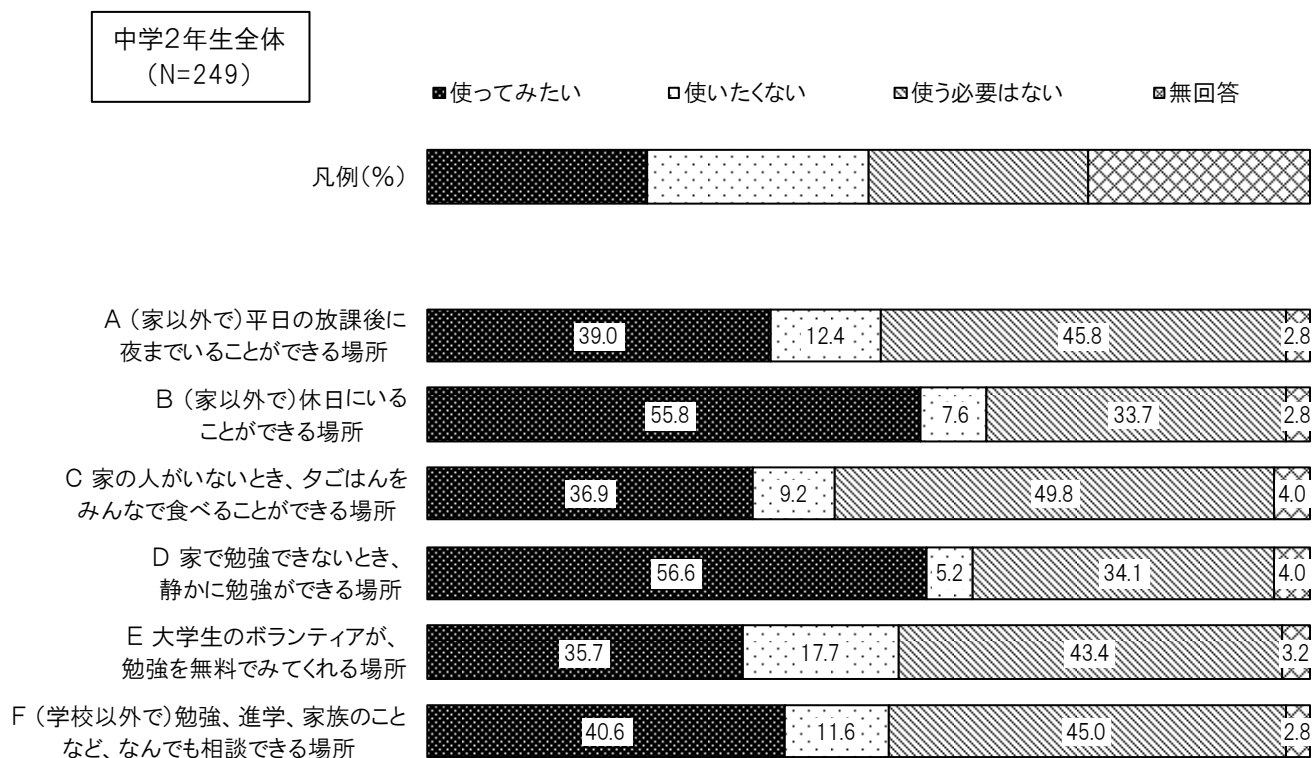
子／問 41 あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。
(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

支援プログラムの利用意向については、小学 5 年生全体では「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(54.9%)、「B (家以外で) 休日にいることができる場所」(50.6%)、「F (学校以外で) なんでも相談できる場所」(48.2%) となっている。



注：A、B、C、Fの個別結果については、第4章 7居場所関連等の支援プログラムの利用意向に掲載

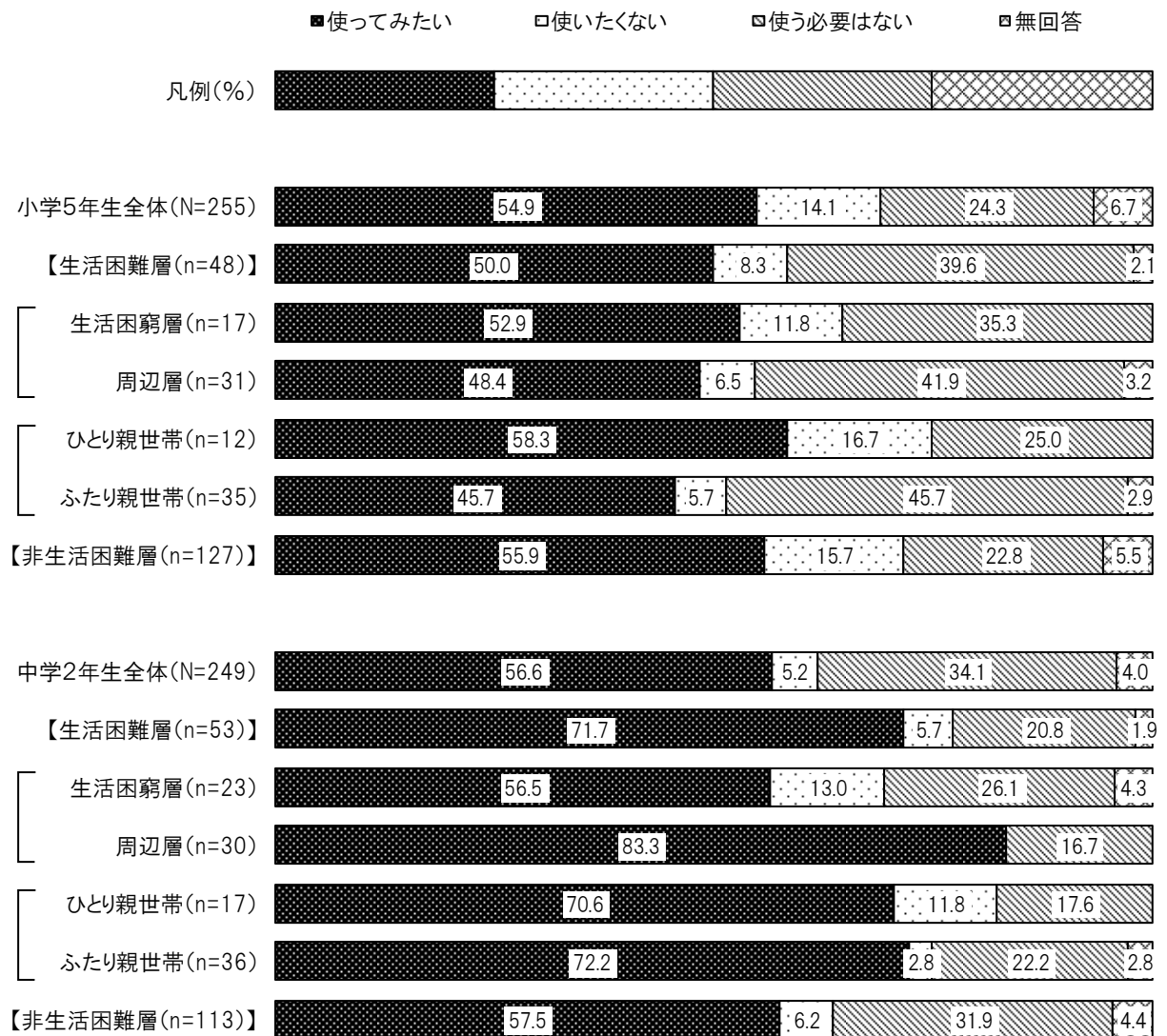
中学2年生全体では、「使ってみたい」の割合が高い順に「D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」(56.6%)、「B (家以外で) 休日にいることができる場所」(55.8%)、「F (学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど、なんでも相談できる場所」(40.6%)となっている。



注：A、B、C、Fの個別結果については、第4章 7居場所関連等の支援プログラムの利用意向に掲載

D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

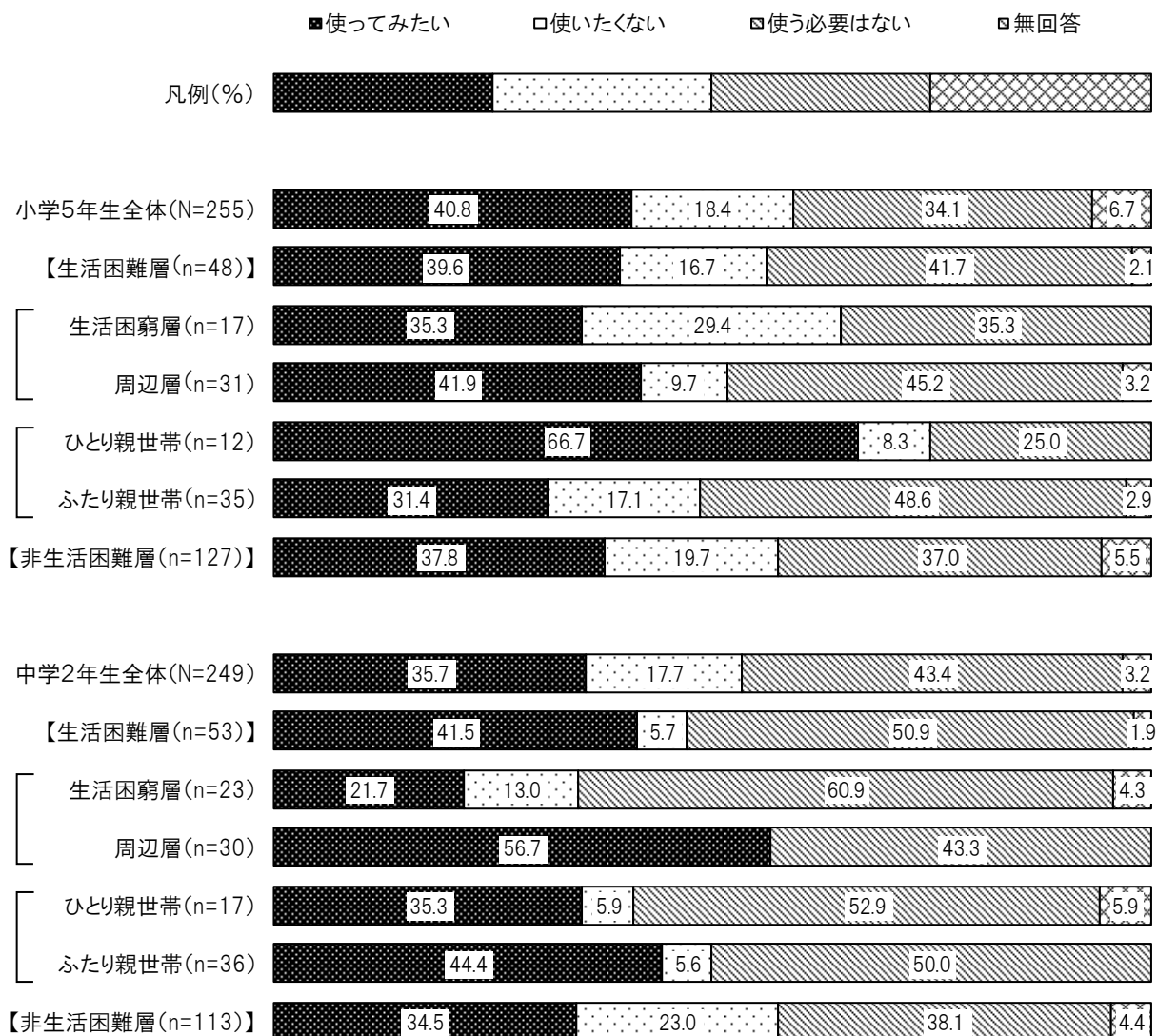
家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 52.9%、周辺層で 48.4%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 56.5%、周辺層で 83.3%となっており、周辺層で高くなっている。



E 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所について「使ってみたい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で 35.3%、周辺層で 41.9%となっている。中学2年生では、生活困窮層で 21.7%、周辺層で 56.7%となっており、周辺層で高くなっている。

生活困難層世帯タイプ別では、小学5年生のひとり親世帯で「使ってみたい」の割合がふたり親世帯を大きく上回っている。



【児童扶養手当受給者調査の結果】

（小学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 6 名中「使ってみたい」は、「D 家で勉強できないときに静かに勉強ができる場所」が 2 名、「E 大学生のお兄さんやお姉さんが勉強を無料でみてくれる場所」が 3 名となっている。

問40 利用希望／D 家で勉強できないときに静かに勉強ができる場所	回答割合(%)	回答件数
使ってみたい	 33.3	2
使いたくない	 33.3	2
使う必要はない	 33.3	2
全体	100.0	6

問40 利用希望／E 大学生のお兄さんやお姉さんが勉強を無料でみてくれる場所	回答割合(%)	回答件数
使ってみたい	 50.0	3
使いたくない	 33.3	2
使う必要はない	 16.7	1
全体	100.0	6

（中学生）

児童扶養手当受給者において、回答者 10 名中「使ってみたい」は、「D 家で勉強できないときに静かに勉強ができる場所」が 5 名、「E 大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所」が 5 名となっている。

問40 利用希望／D 家で勉強できないときに静かに勉強ができる場所	回答割合(%)	回答件数
使ってみたい	 50.0	5
使いたくない	 10.0	1
使う必要はない	 40.0	4
全体	100.0	10

問40 利用希望／E 大学生のボランティアが勉強を無料でみてくれる場所	回答割合(%)	回答件数
使ってみたい	 50.0	5
使いたくない	 10.0	1
使う必要はない	 40.0	4
全体	100.0	10